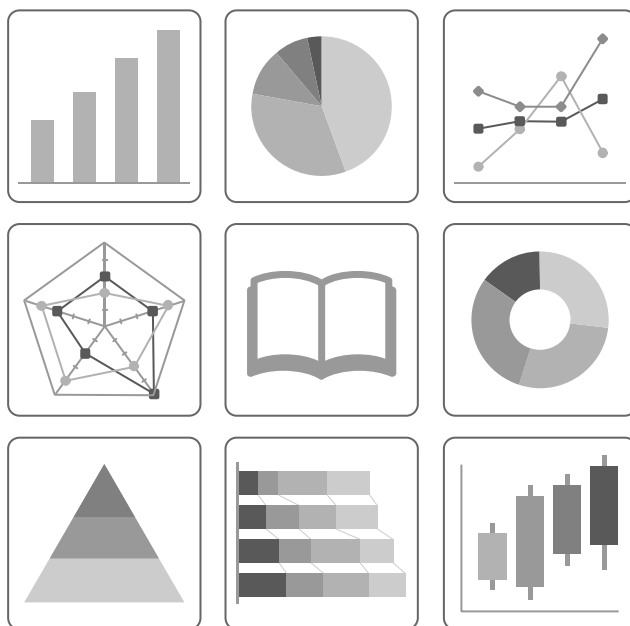


加賀市 子ども・子育て支援ニーズ調査 調査結果報告書



平成 31 年 3 月

加 賀 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
7	調査項目	2
	(1) 就学前児童	2
	(2) 小学生	3
II	調査結果	4
1	就学前児童の保護者	4
	(1) 子どもと家族の状況	4
	(2) 子どもの育ちをめぐる環境	11
	(3) 保護者の就労状況	14
	(4) 平日の定期的な保育・教育事業の利用状況	22
	(5) 地域子育て支援事業の利用状況	35
	(6) 土曜・休日や長期休暇の「定期的」な保育・教育事業の利用希望	51
	(7) 子どもの病気の際の対応	53
	(8) 不定期の保育・教育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	61
	(9) 放課後の過ごし方	66
	(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	74
	(11) 子育てに関する意識等	85
2	小学生の保護者	88
	(1) 子どもと家族の状況	88
	(2) 子どもの育ちをめぐる環境	95
	(3) 保護者の就労状況	98
	(4) 地域の子育て支援事業の利用状況	107

(5) 子どもの病気の際の対応.....	119
(6) 一時預かりの利用.....	126
(7) 放課後の過ごし方.....	131
(8) 子育てに関する意識等.....	141
3 自由意見.....	144
[1] 就学前の保護者.....	144
【分類別の主な意見】.....	144
(1) 幼稚園・保育園・認定こども園について.....	144
(2) 小学校就学後の生活について.....	145
(3) 子育て支援全般について.....	145
(4) 子育て環境について.....	146
(5) 子育て中の保護者の状況について.....	146
[2] 小学生の保護者.....	147
【分類別の主な意見】.....	147
(1) 幼稚園・保育園・認定こども園について.....	147
(2) 小学校就学後の生活について.....	147
(3) 子育て支援全般について.....	147
(4) 子育て環境について.....	148
(5) 子育て中の保護者の状況について.....	148
(6) その他.....	148

I 調査の概要

1 調査の目的

「第二期 加賀市子ども・子育て支援事業計画（2020年度～2024年度）」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

加賀市在住の就学前児童及び小学生の保護者

3 調査期間

平成30年12月17日から平成31年1月8日

4 調査方法

未就園児童の保護者：郵送による調査

就園児童の保護者：保育園、認定こども園を通じて調査

小学生の保護者：小学校を通じて調査

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	2,078通	1,600通	77.0%
小学生の保護者	1,534通	1,249通	81.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7 調査項目

(1) 就学前児童

●…必須項目 ○…任意項目 ★…独自項目 ■…小学生用の項目

通し番号	問番号	調査項目	国標準項目	独自項目	小学生項目	備考
1. お子さんご家族の状況(属性)						
1	問1	住居地(小学校区)	●		■	
2	問2	子どもの年齢	●		■	
3	問3	子どもの人数	○		■	
4	問4	世帯構成		★	■	
5	問5	回答者の属性	●		■	
6	問6	回答者の配偶者の有無	●		■	
7	問7	主たる子育て者	●		■	
2. 子育て環境について						
8	問8	子育てに影響する環境	○		■(追加)	
9	問9	子どもを預かってもらえる親族や友人・知人の有無	○		■(追加)	
10	問10	育児相談者の有無及び相談先	○		■(追加)	子育て応援ステーション、こども育成相談センターを追加
3. 保護者の就労状況						
11	問11	母親の就労状況と時間	●		■	
12	問11-1	フルタイム就労への転換希望	●		■	
13	問11-2	未就労者の就労希望	●		■	
14	問12	父親の就労状況及び時間	●		■	【関連する給付・事業】 ・施設型給付 ・地域型保育給付 ・延長保育事業
15	問12-1	フルタイム就労への転換希望	●		■	
16	問12-2	未就労者の就労希望	●		■	
4. 平日の保育・教育事業利用状況						
17	問13	保育・教育事業の利用の有無	●			
18	問13-1	利用している事業	●			認定こども園を追加
19	問13-2	事業の利用状況	●			
20	問13-3	利用している事業の所在地	○			【関連する給付・事業】 ・施設型給付 ・地域型保育給付 ・延長保育事業
21	問13-4	送迎方法		★		
22	問13-5	送迎所要・送迎許容時間		★		
23	問13-6	保育・教育事業利用の理由	○			
24	問13-7	利用施設を選んだ理由		★		
25	問13-8	保育・教育事業を利用していない理由	○			
26	問14	利用希望の保育・教育事業	●			幼児教育無償化の説明を記載 小規模な保育施設を追加
27	問14-1	幼稚園の利用希望	●(追加)			共働き家庭の子どもの幼稚園利用ニーズの把握のため
28	問15	4・5歳児の希望同年齢児童数		★		
29	問16	保育・教育事業施設に求めるもの		★		
5. 地域子育て支援事業の利用状況						
30	問17	地域の子育て支援事業の利用有無及び利用回数	●			【関連する給付・事業】 ・地域子育て支援拠点事業 ・地域子育て支援事業
31	問18	地域の子育て支援事業の利用希望回数	●			
32	問19	地域の子育て支援事業利用希望の有無や利用状況	○		■	子育て応援ステーション、こども育成相談センターを追加
6. 休日等の保育・教育事業利用希望						
33	問20	休日の保育・教育事業利用希望の有無・希望時間	●			
34	問20-1	利用希望理由	○			【関連する給付・事業】 ・施設型給付 ・地域型保育給付
35	問21	長期休暇中の保育・教育事業利用希望の有無・希望時間	●			
36	問21-1	週数日利用希望の利用	○			
7. 病児・病後児保育						
37	問22	子どもの病気時の対処方法及び日数	●		■	
38	問22-1	病児・病後児保育利用希望の有無及び利用希望日数口	●		■	【関連する給付・事業】 ・病児・病後児保育事業 ・ファミリー・サポート・センター事業
39	問22-2	保護者の欠勤希望の有無、日数及び理由	○		■	
8. 宿泊を伴う一時預かり						
40	問23	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預り事業	●		■	
41	問24	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預り事業の利用日数及び希望日数	●		■	【関連する給付・事業】 ・一時預かり事業 ・子育て短期支援事業 ・ファミリー・サポート・センター事業
42	問25	泊りがけで家族以外に見てもらった経験、対処法及び日数	●		■	
43	問25-1	親族・知人に泊りがけで子どもを預ける際の困難度	○		■	
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方						
44	問26	小学生(1～3年)の放課後の希望場所及び利用希望日数	●		■	
45	問27	小学生(4～6年)の放課後の希望場所及び利用希望日数	●		■	【関連する給付・事業】 ・放課後児童健全育成事業等
46	問28	休日の放課後クラブの利用希望の有無及び時間帯	○		■	
10. 職場の両立支援制度						
47	問29	育児休業の取得状況及び取得していない理由	●			前回任意 ○歳児保育の量の見込みを推計するために必須化
48	問29-1	育児休業給付・保険料免除の知識の有無	○			
49	問29-2	育児休業取得後の職場復帰	○			【関連する給付・事業】 ・施設型給付 ・地域型保育給付
50	問29-3	職場復帰した時期	○			
51	問29-4	職場復帰時及び希望復帰時の子どもの年齢	●			前回任意 ○歳児保育の量の見込みを推計するために必須化
52	問29-5	3年間育児取得が可能な場合希望復帰時の子どもの年齢	●			前回任意 ○歳児保育の量の見込みを推計するために必須化
53	問29-6	短時間勤務制度の利用の有無	○			
54	問29-7	実際の復帰と希望が異なった理由	○			
55	問29-8	満1歳までの育休の意向	●(追加)			前回任意 ○歳児保育の量の見込みを推計するために必須化
11. 子育てに関する意識等について						
56	問30	子育てに関する情報の入手先		★(追加)	■(追加)	
57	問31	子育てに関する悩み・不安		★(追加)	■(追加)	
58	問32	子育て環境や支援の満足度	○		■	
59	問33	子育て環境や支援に対する意見	○		■	

(2)小学生

※ 小学生の調査は任意。就学前児童用の項目の中から、小学生の現状・ニーズ把握に必要な設問を抽出し調査を実施。

通し 番号	問番号	調査項目	関連する給付・事業	備考
1. お子さんご家族の状況(属性)				
1	問1	住居地(小学校区)		
2	問2	子どもの年齢		
3	問3	子どもの人数		
4	問4	世帯構成		
5	問5	回答者の属性		
6	問6	回答者の配偶者の有無		
7	問7	主たる子育て者		
2. 子育て環境について				
8	問8	子育てに影響する環境		追加
9	問9	子どもを預かってもらえる親族や友人・知人の有無		追加
10	問10	育児相談者の有無及び相談先		追加
3. 保護者の就労状況				
11	問11	母親の就労状況と時間		
12	問11-1	フルタイム就労への転換希望		
13	問11-2	未就労者の就労希望		
14	問12	父親の就労状況及び時間	放課後児童健全育成事業	
15	問12-1	フルタイム就労への転換希望		
16	問12-2	未就労者の就労希望		
4. 地域子育て支援事業の利用状況				
17	問13	地域の子育て支援事業利用希望の有無や利用状況	地域子育て支援事業	子育て応援ステーション、こども育成相談センターを追加
5. 病児・病後児保育				
18	問14	子どもの病気時の対処方法と日数		
19	問14-1	病児・病後児保育利用希望の有無及び利用希望日数口	病児・病後児保育事業 ファミリー・サポート・センター事業	
20	問14-2	保護者の欠勤希望の有無、日数及び理由		
6. 一時預かり				
21	問15	不定期の一時預り事業利用の有無や利用日数		
22	問16	不定期の一時預り事業の利用理由及び希望日数	子育て短期支援事業 ファミリー・サポート・センター事業	
23	問17	泊りがけで家族以外に見てもらった経験、対処法及び日数		
24	問17-1	親族・知人に泊りがけで子どもを預ける際の困難度		
7. 小学校就学後の放課後の過ごし方				
25	問18	放課後を過ごす場所及び日数		
26	問19	高学年(4~6年)時に放課後を過ごす場所及び日数の希望	放課後児童健全育成事業 ファミリー・サポート・センター事	
27	問20	休日の放課後クラブの利用希望の有無及び時間帯		
8. 子育てに関する意識等について				
28	問21	子育てに関する情報の入手元		追加
29	問22	子育てに関する悩み・不安		追加
30	問23	子育て環境や支援の満足度		
31	問24	子育て環境や支援に対する意見		

II 調査結果

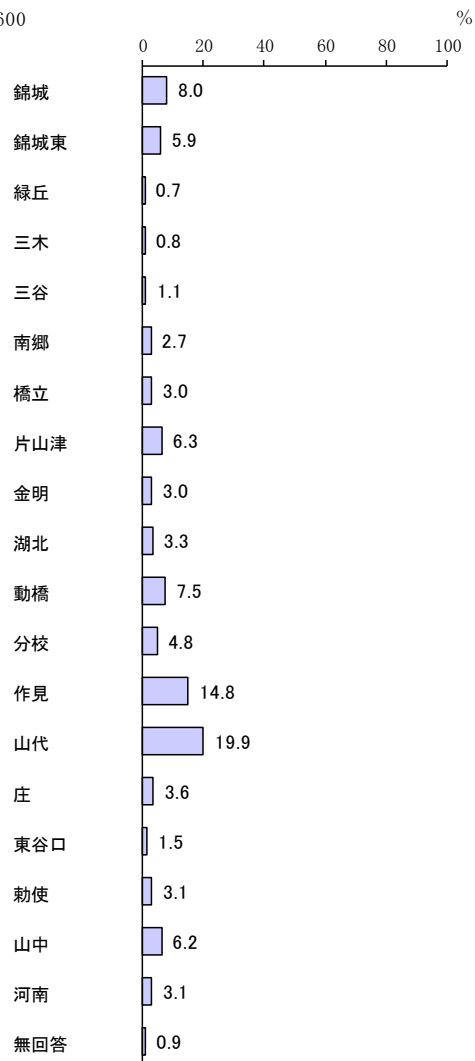
1 就学前児童の保護者

(1) 子どもと家族の状況

問1 お住まいの小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

「山代」の割合が19.9%と最も高く、次いで「作見」の割合が14.8%となっています。

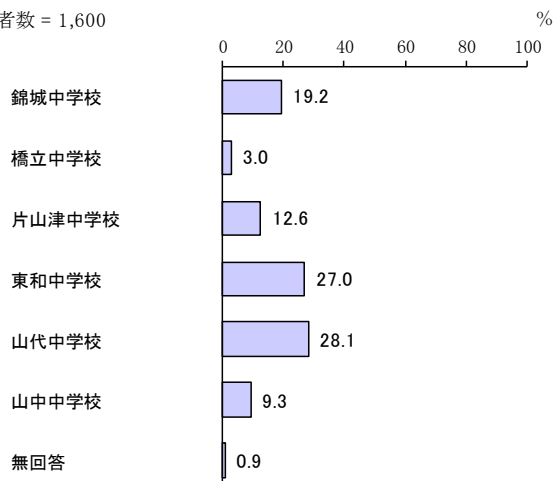
回答者数 = 1,600



回答者数 = 1,600

圏域（中学校区別）

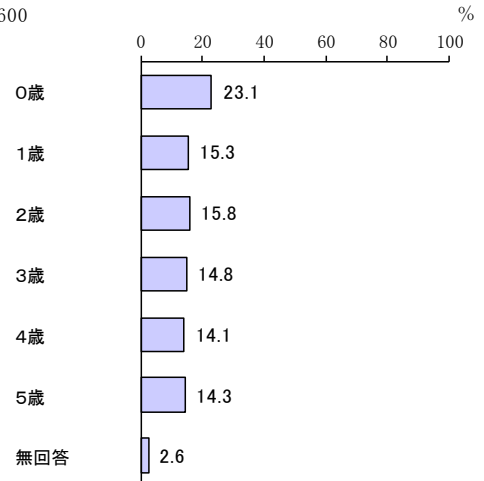
圏域については、「山代中学校」の割合が28.1%と最も高く、次いで「東和中学校」の割合が27.0%、「錦城中学校」の割合が19.2%となっています。



問2 宛名のお子さんの生年月を口内に数字（1枠に1字）で記入してください。

「0歳」の割合が23.1%と最も高く、次いで「2歳」の割合が15.8%、「1歳」の割合が15.3%となっています。

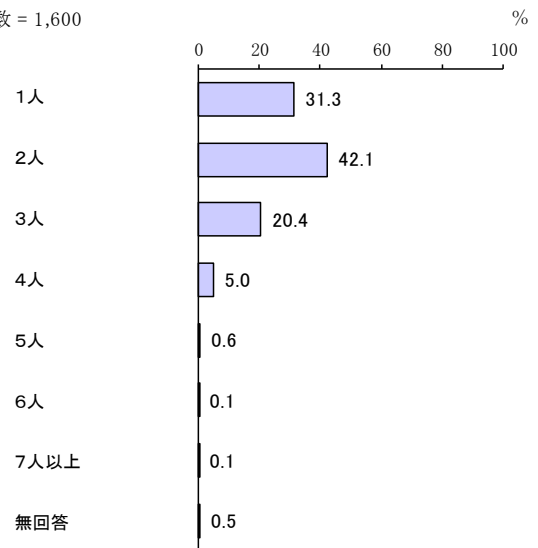
回答者数 = 1,600



問3 宛名のお子さんを含めて、あなたのお子さんは何人いらっしゃいますか。それぞれのお子さんの生年月も合わせて口内に数字（1枠に1字）で記入してください。

「2人」の割合が42.1%と最も高く、次いで「1人」の割合が31.3%、「3人」の割合が20.4%となっています。

回答者数 = 1,600



ア. 1番上の子

「5歳」の割合が9.8%と最も高くなっています。

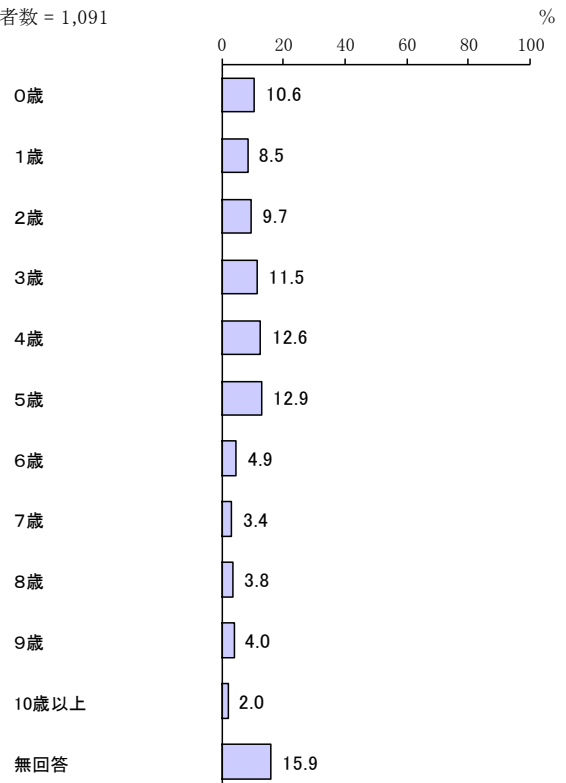
回答者数 = 1,600



イ. 上から2番目の子

「5歳」の割合が12.9%と最も高く、次いで「4歳」の割合が12.6%、「3歳」の割合が11.5%となっています。

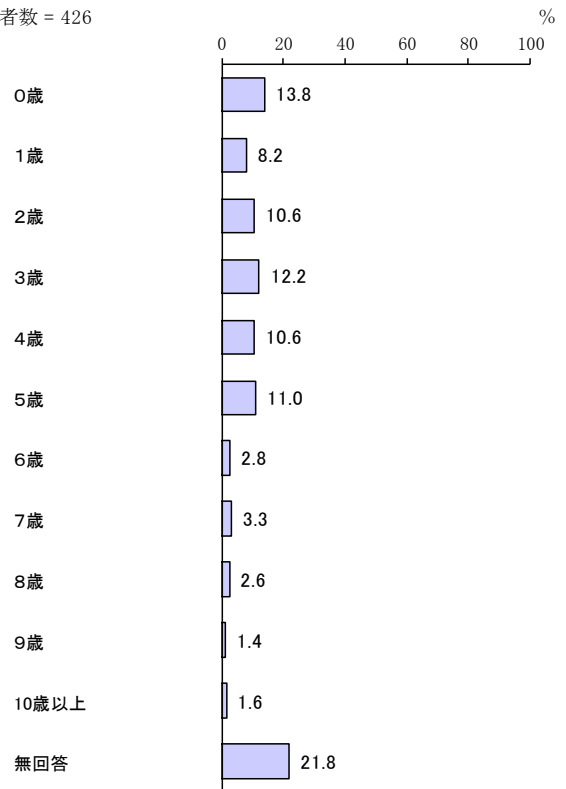
回答者数 = 1,091



ウ. 上から3番目の子

「0歳」の割合が13.8%と最も高く、次いで「3歳」の割合が12.2%、「5歳」の割合が11.0%となっています。

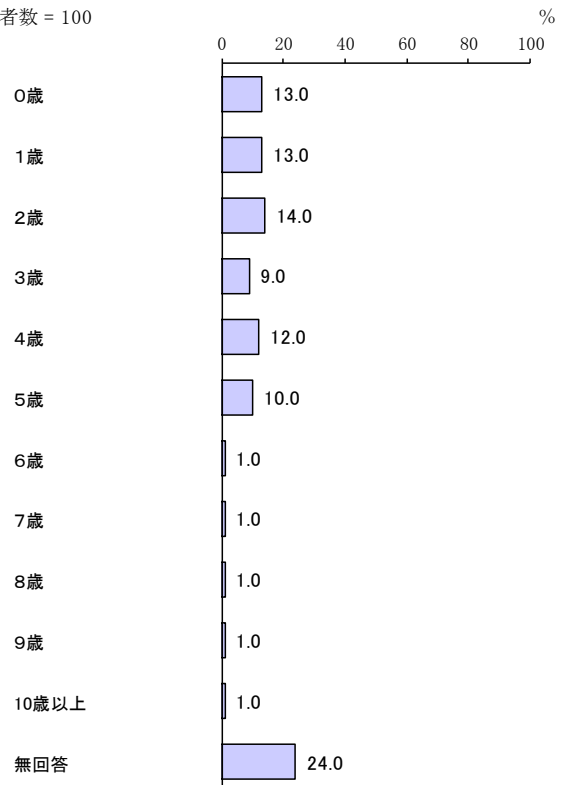
回答者数 = 426



エ. 上から4番目の子

「2歳」の割合が14.0%と最も高く、次いで「0歳」、「1歳」の割合が13.0%となっています。

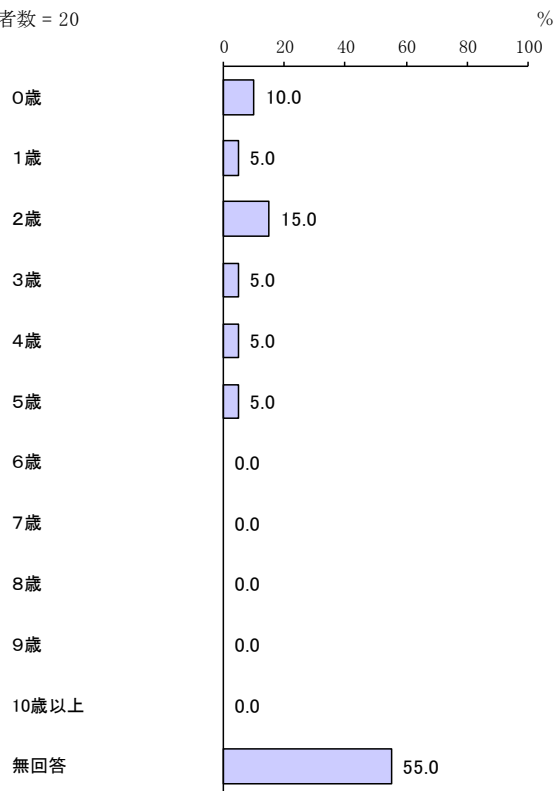
回答者数 = 100



オ. 上から5番目の子

「2歳」の割合が15.0%と最も高く、次いで「0歳」の割合が10.0%となっています。

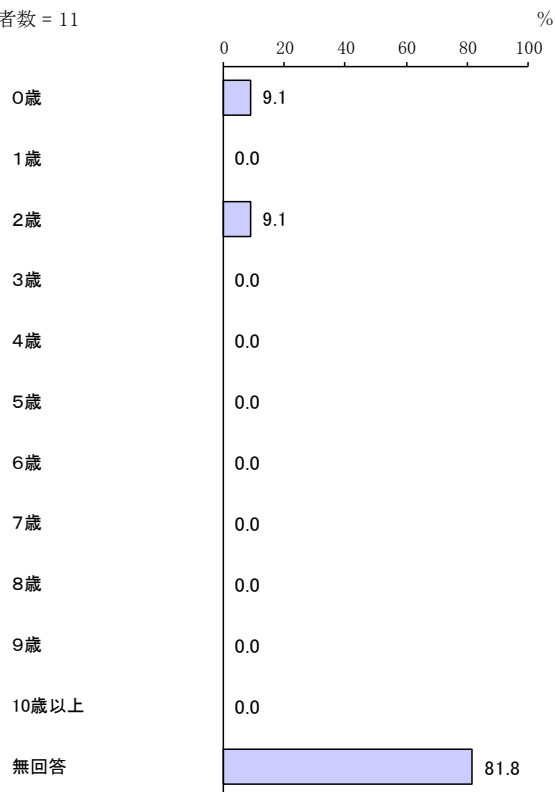
回答者数 = 20



カ. 上から6番目の子

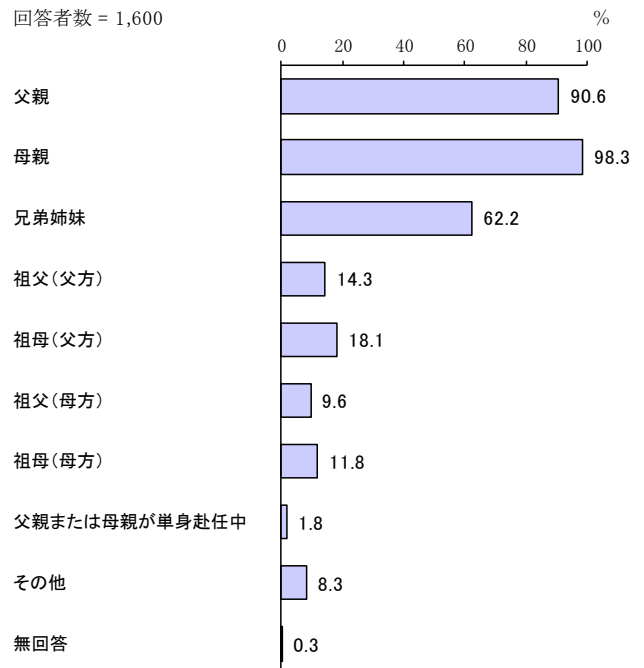
「0歳」、「2歳」の割合が9.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 11



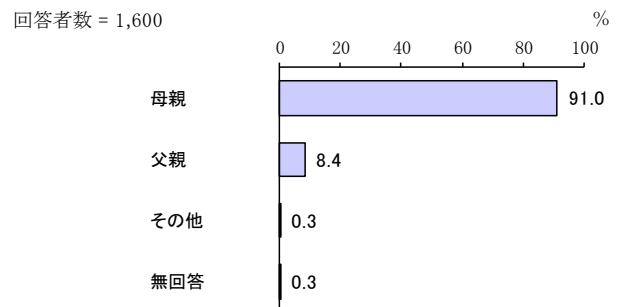
問4 宛名のお子さんからみた世帯構成について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「母親」の割合が 98.3%と最も高く、次いで「父親」の割合が 90.6%、「兄弟姉妹」の割合が 62.2%となっています。



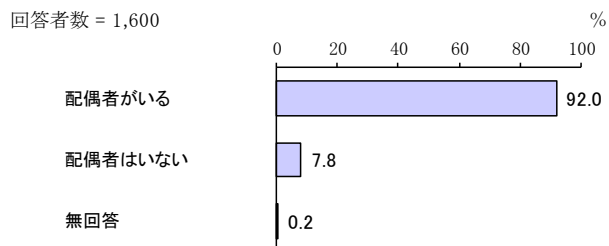
問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が 91.0%、「父親」の割合が 8.4%となっています。



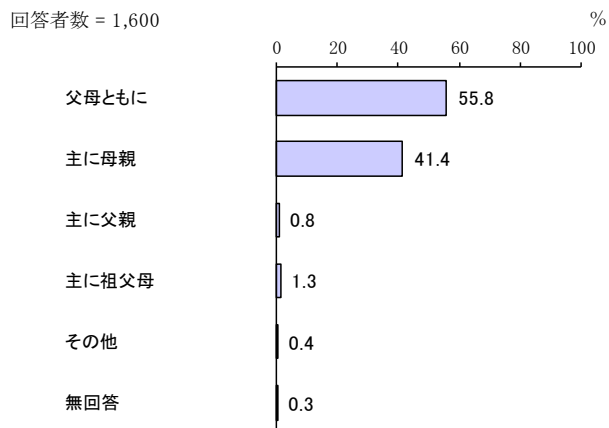
問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が92.0%、「配偶者がいない」の割合が7.8%となっています。



問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

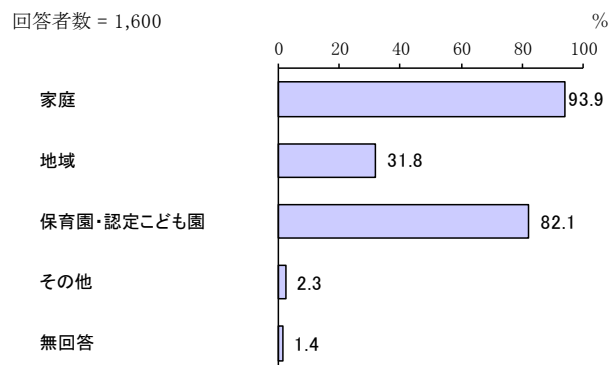
「父母ともに」の割合が55.8%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が41.4%となっています。



(2) 子どもの育ちをめぐる環境

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が93.9%と最も高く、次いで「保育園・認定こども園」の割合が82.1%、「地域」の割合が31.8%となっています。

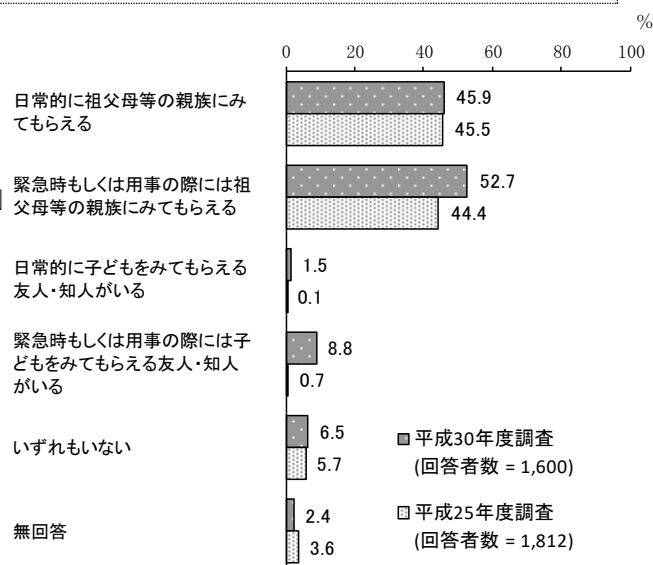


問9 両親以外で、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「1」～「4」を選んだ方は、預かってもらうことに関する負担の状況について当てはまる記号すべてに○をつけてください。

預かってもらえる人の有無

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が52.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が45.9%となっています。

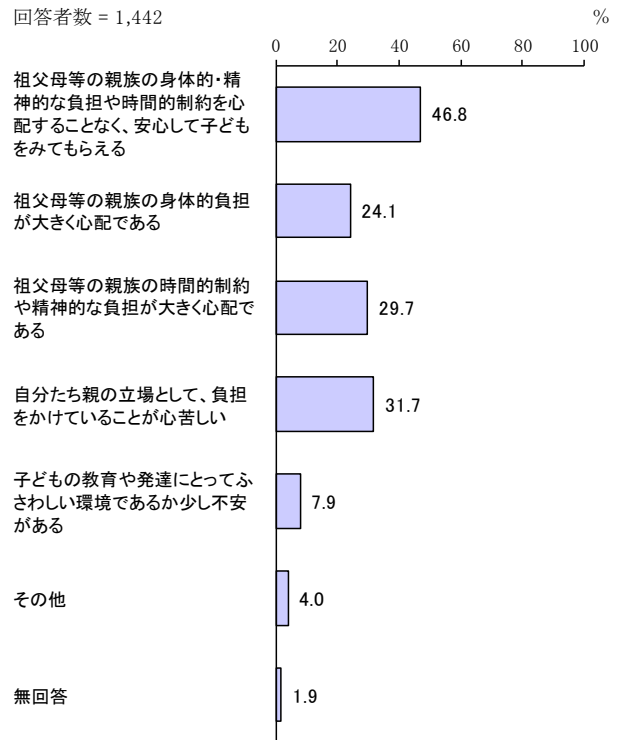
平成25年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が増加しています。



ア. 預かってもらうことに関する負担の状況【複数選択可】

(「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した人)

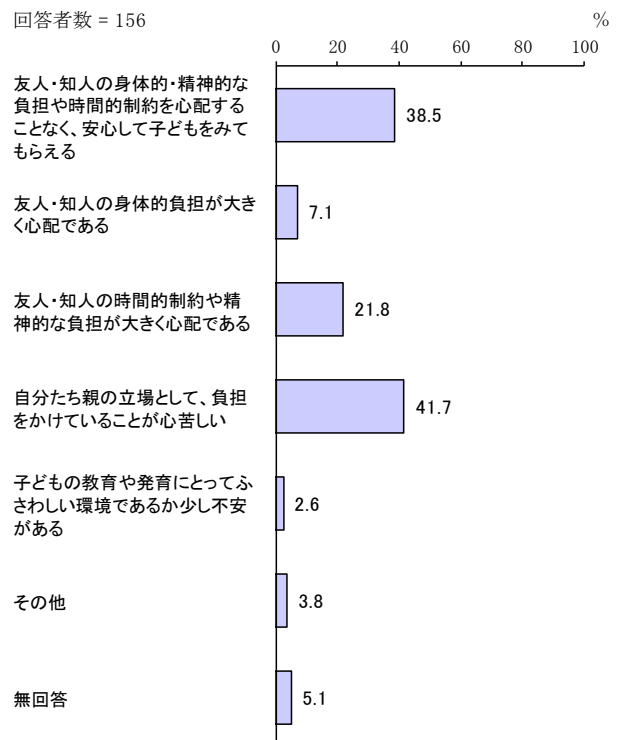
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が46.8%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が31.7%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が29.7%となっています。



イ. 預かってもらうことに関する負担の状況【複数選択可】

(「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」、「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した人)

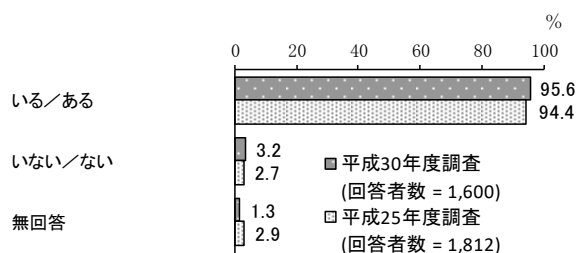
「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が41.7%と最も高く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が38.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が21.8%となっています。



問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が95.6%、「いない／ない」の割合が3.2%となっています。

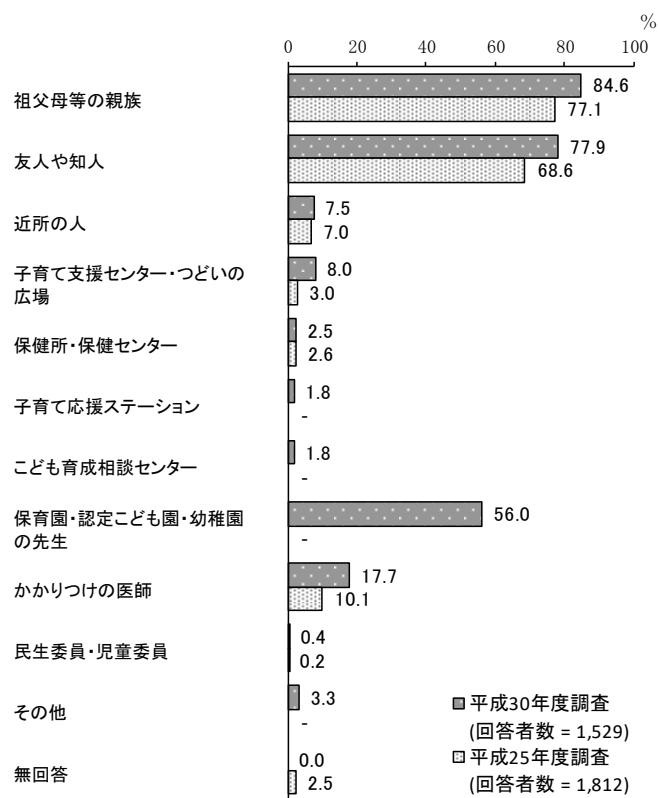
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



相談相手（場所）【複数選択可】

「祖父母等の親族」の割合が84.6%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が77.9%、「保育園・認定こども園・幼稚園の先生」の割合が56.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「祖父母等の親族」「友人や知人」「かかりつけの医師」の割合が増加しています。



※「子育て応援ステーション」「こども育成相談センター」「その他」は平成30年度調査で新たに追加した。また、「保育園・認定こども園・幼稚園の先生」は平成25年度調査では「保育士」「幼稚園教諭」と分けて集計している。

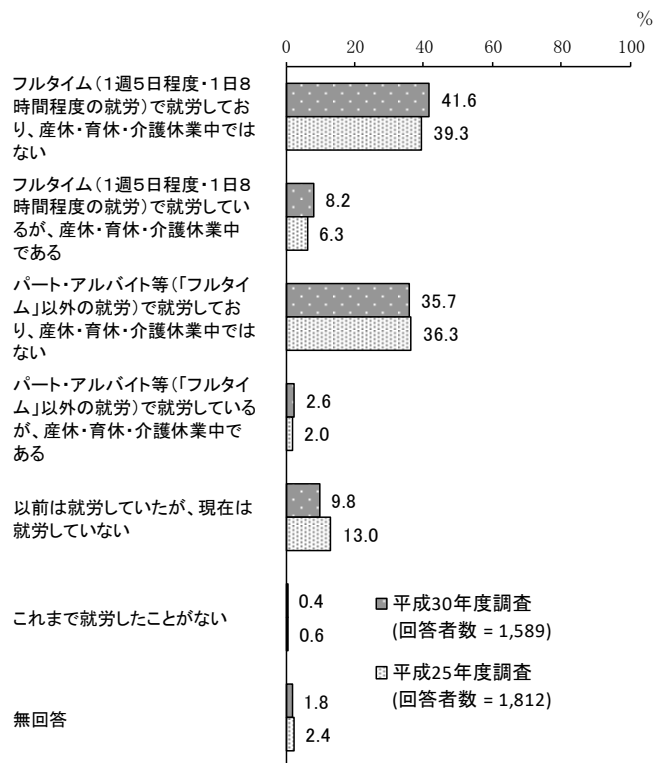
(3) 保護者の就労状況

問 11 母親の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。時間は、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制で□内に数字 (1 枠に 1 字) を記入してください。

母親の就労状況【1つ選択】

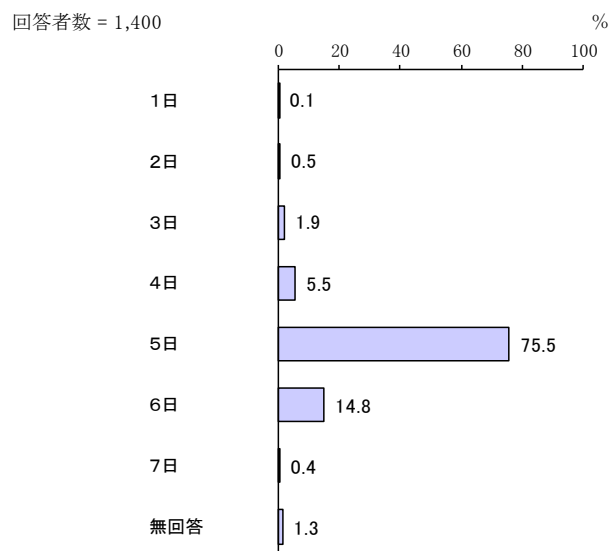
「フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 41.6% と最も高く、次いで「パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 35.7% となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



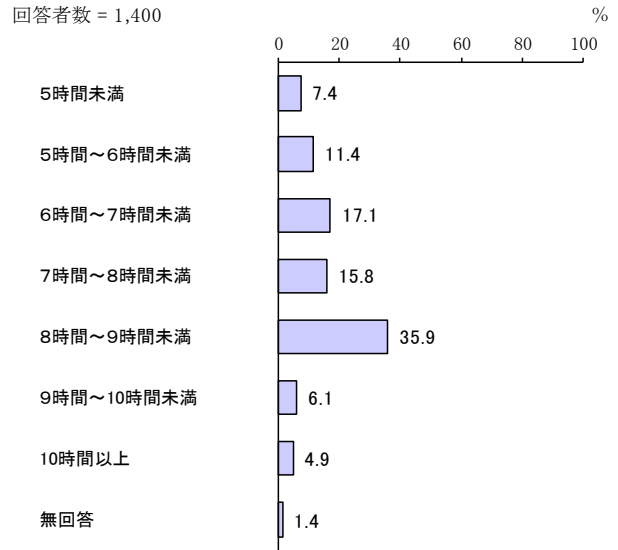
ア. 1 週当たり就労日数

「5 日」の割合が 75.5% と最も高く、次いで「6 日」の割合が 14.8% となっています。



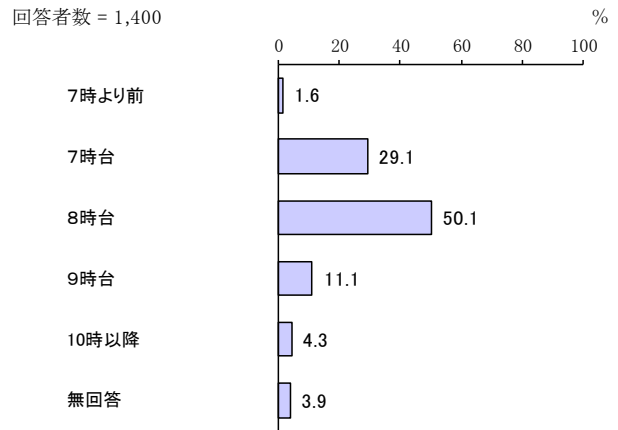
イ. 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が35.9%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が17.1%、「7時間～8時間未満」の割合が15.8%となっています。



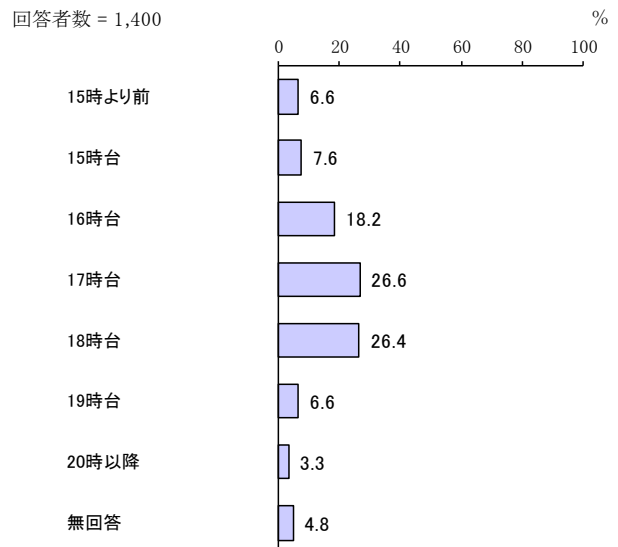
ウ. 家を出る時間

「8時台」の割合が50.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が29.1%、「9時台」の割合が11.1%となっています。



エ. 帰宅時間

「17時台」の割合が26.6%と最も高く、次いで「18時台」の割合が26.4%、「16時台」の割合が18.2%となっています。

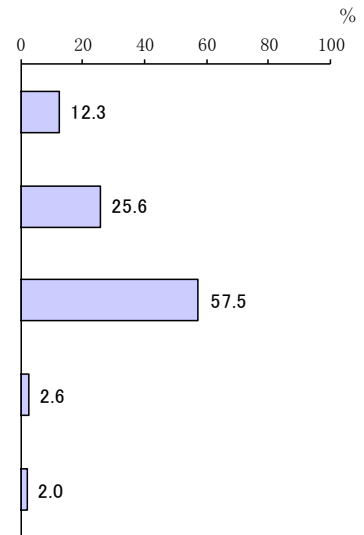


問 11-1 問 11 で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労している。）に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 25.6%、「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 12.3%となっています。

回答者数 = 609

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
無回答

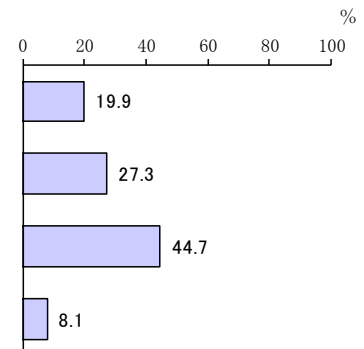


問 11-2 問 11 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する□内に数字（1 枠に 1 字）を記入してください。

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい」の割合が 27.3%、「就労の予定はない」の割合が 19.9%となっています。

回答者数 = 161

就労の予定はない
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
無回答

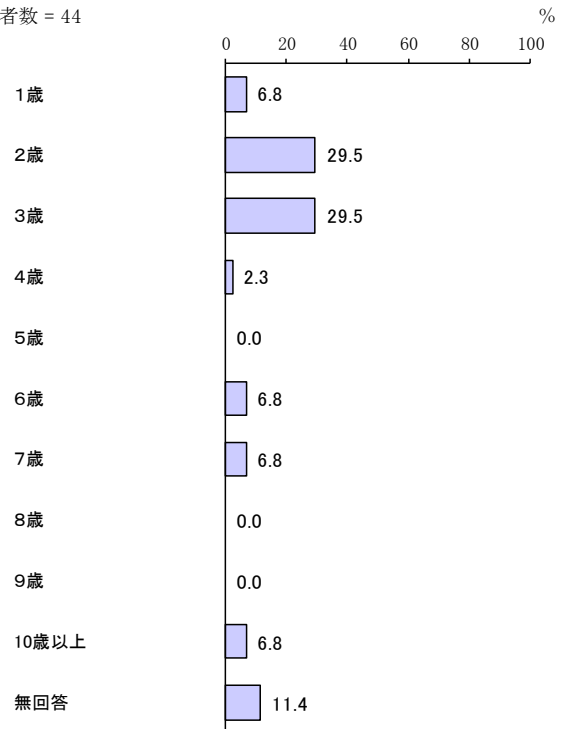


就労したいときの子どもの年齢

(「1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい」と回答した人)

「2歳」、「3歳」の割合が29.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 44

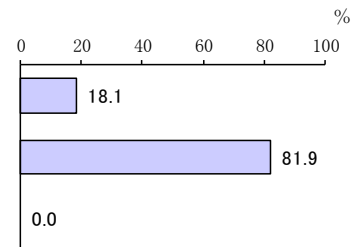


希望する就労形態

「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が18.1%、「パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)」の割合が81.9%となっています。

回答者数 = 72

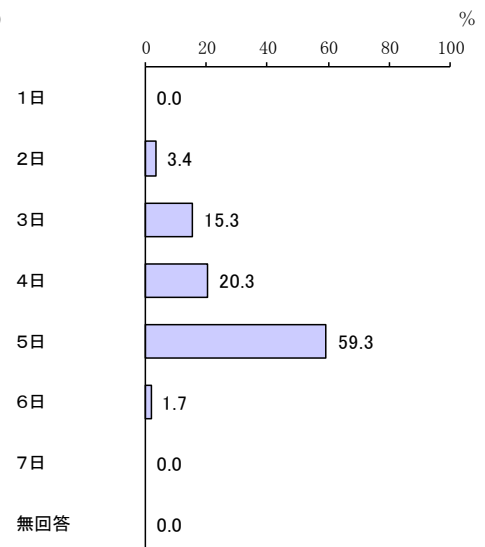
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
パートタイム、アルバイト等(フルタイム以外)
無回答



ア. 1週当たり希望就労日数

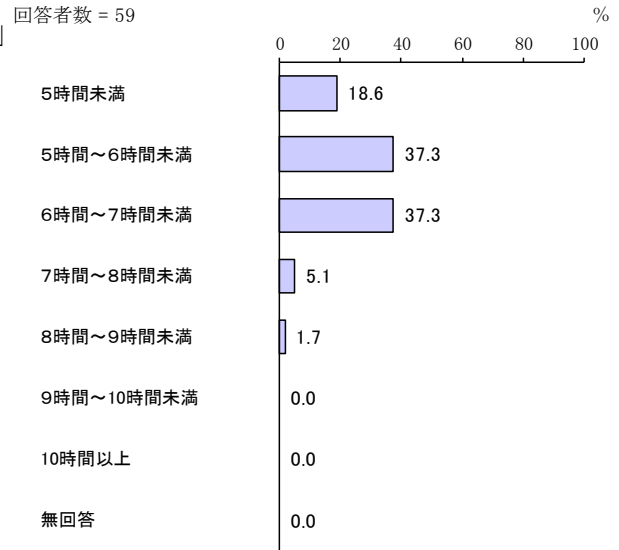
「5日」の割合が59.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.3%、「3日」の割合が15.3%となっています。

回答者数 = 59



イ. 1日当たり希望就労時間

「5時間～6時間未満」、「6時間～7時間未満」の割合が37.3%と最も高く、次いで「5時間未満」の割合が18.6%となっています。

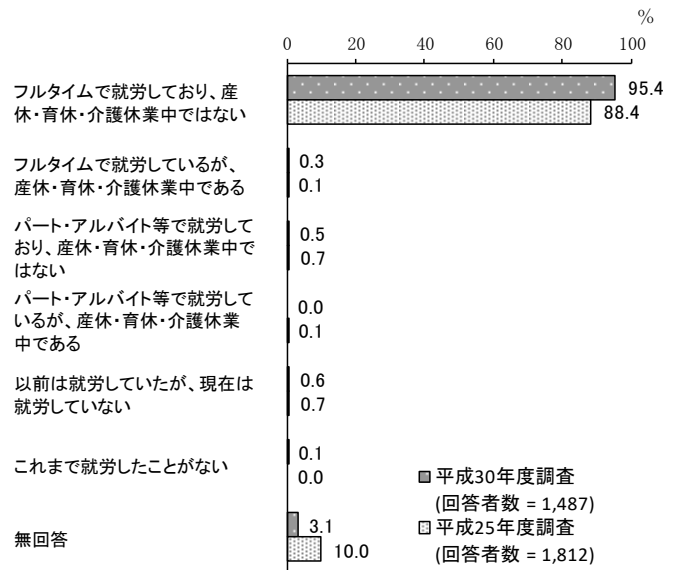


問 12 父親の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。時間は、(例) 09時～18時のように24時間制で口内に数字(1枠に1字)を記入してください。

父親の就労状況【1つ選択】

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が95.4%と最も高くなっています。

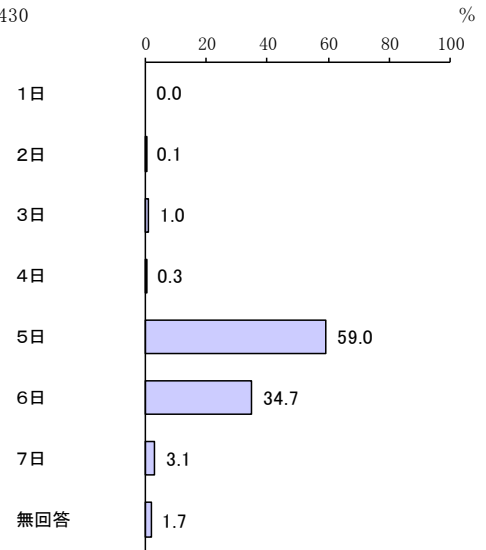
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



ア. 1週当たり就労日数

「5日」の割合が59.0%と最も高く、次いで「6日」の割合が34.7%となっています。

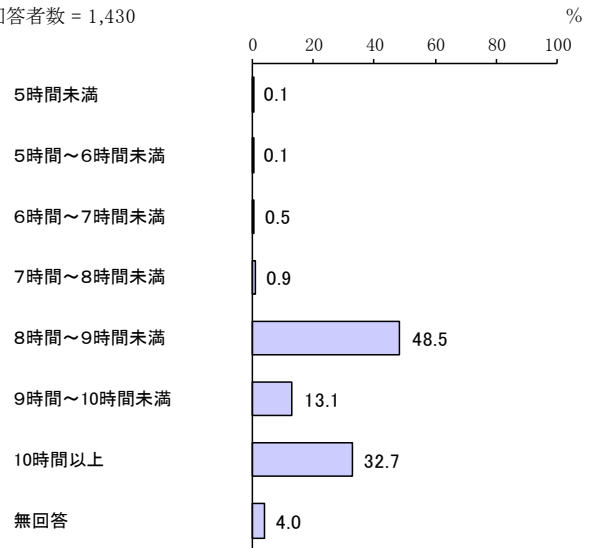
回答者数 = 1,430



イ. 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が48.5%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が32.7%、「9時間～10時間未満」の割合が13.1%となっています。

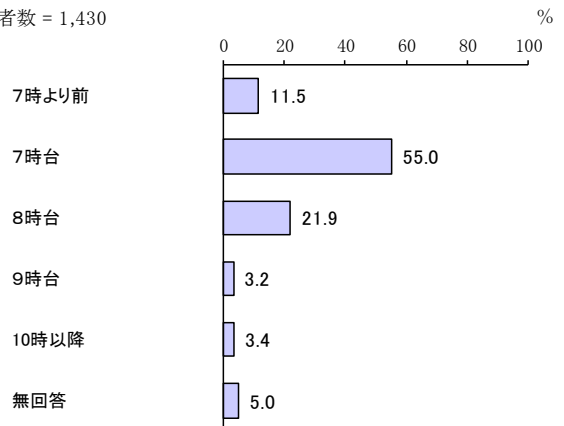
回答者数 = 1,430



ウ. 家を出る時間

「7時台」の割合が55.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.9%、「7時より前」の割合が11.5%となっています。

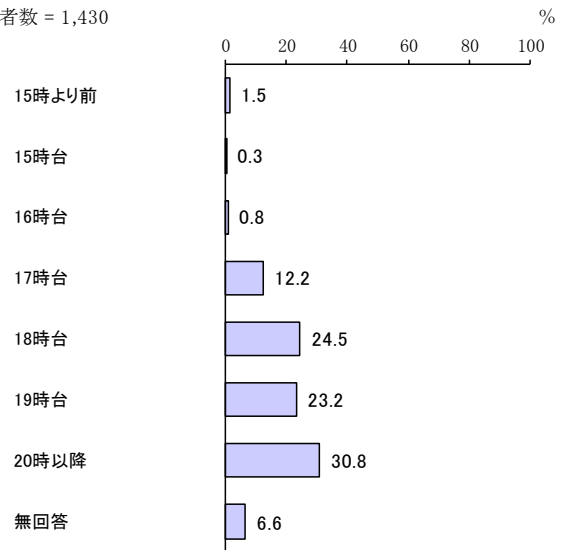
回答者数 = 1,430



エ. 帰宅時間

「20時以降」の割合が30.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が24.5%、「19時台」の割合が23.2%となっています。

回答者数 = 1,430



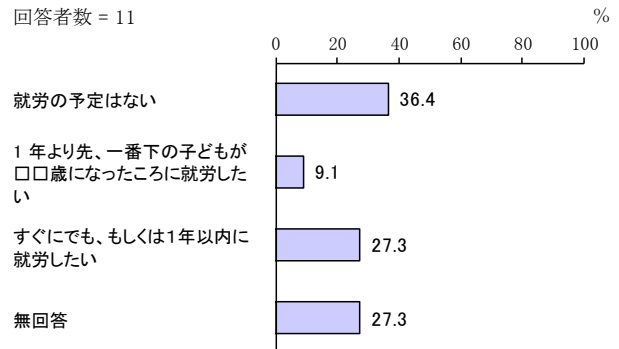
問12-1 問12で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が4件、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件となっています。

問12-2 問12で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内に数字（1枠に1字）を記入してください。

「就労の予定はない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が27.3%となっています。

回答者数 = 11



就労したいときの子どもの年齢

(「1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい」と回答した人)
「7歳」が1件となっています。

希望する就労形態

「フルタイム」が3件となっています。

ア. 1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

イ. 1日当たり希望就労時間

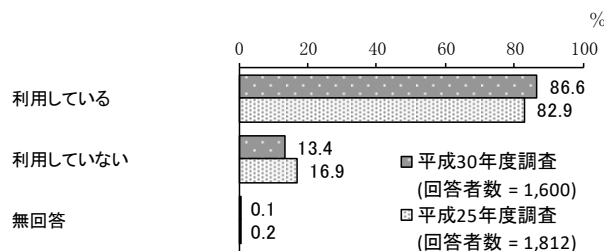
有効回答がありませんでした。

(4) 平日の定期的な保育・教育事業の利用状況

問13 宛名のお子さんは現在、保育園、認定こども園、幼稚園など（問13-1に示した事業）を月単位で定期的に利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が86.6%、「利用していない」の割合が13.4%となっています。

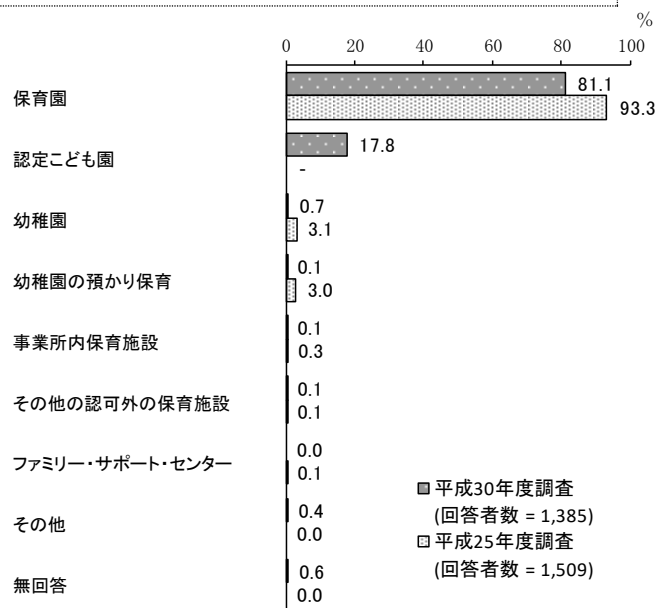
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問13-1 問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような保育・教育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育園」の割合が81.1%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が17.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「保育園」の割合が減少しています。



※「認定こども園」は平成30年度調査で新たに追加した。また、「幼稚園の預かり保育」は平成25年度調査では、「認可保育園・幼稚園の預かり保育」。

【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校、橋立中学校、山中中学校で「保育園」の割合が高く、9割を超えています。また、片山津中学校で「認定こども園」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	保育園	認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	ファミリー・サポート・ センター	その他	無回答
錦城中学校	268	91.0	7.8	—	0.4	—	0.4	—	0.4	0.7
橋立中学校	45	97.8	—	2.2	—	—	—	—	—	—
片山津中学校	177	44.1	53.7	2.3	—	—	—	—	1.1	0.6
東和中学校	371	76.5	22.9	0.8	0.3	0.3	—	—	0.3	—
山代中学校	387	89.1	10.1	0.3	—	—	—	—	0.3	1.3
山中中学校	128	94.5	3.9	0.8	—	—	—	—	0.8	0.8

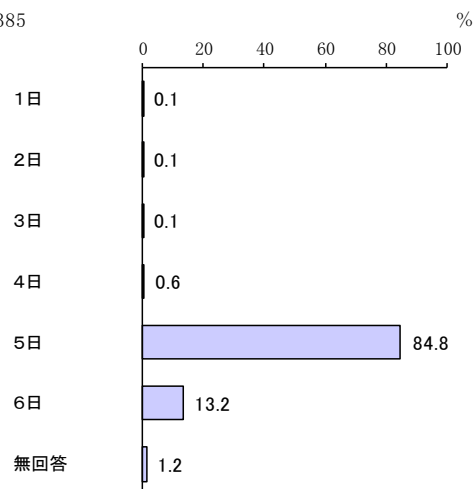
問 13-2 平日に定期的に利用している保育・教育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に数字（1枠に1字）で記入してください。時間は、（例）09時～18時のように24時間制で記入してください。

ア. 現在

（ア）1週当たり利用日数

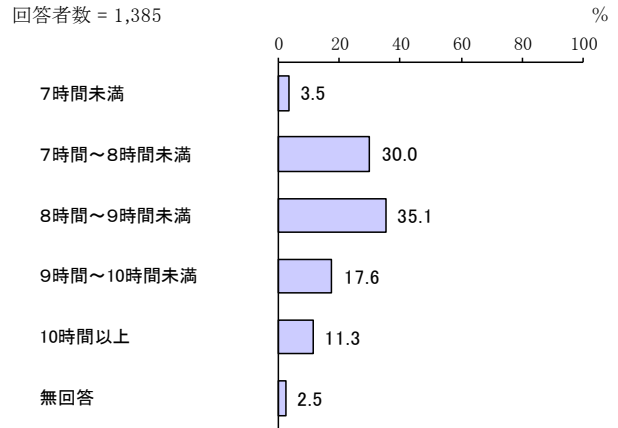
「5日」の割合が84.8%と最も高く、次いで「6日」の割合が13.2%となっています。

回答者数 = 1,385



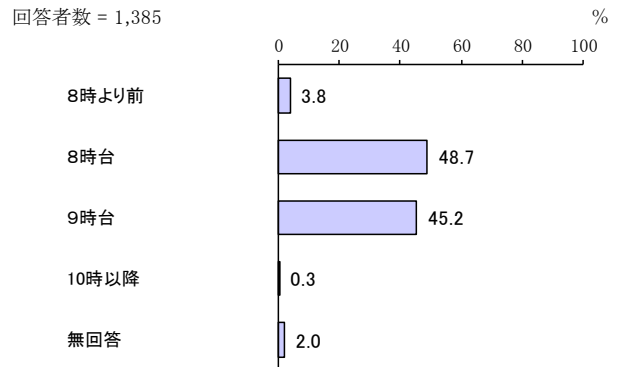
(イ) 1日当たり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が35.1%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が30.0%、「9時間～10時間未満」の割合が17.6%となっています。



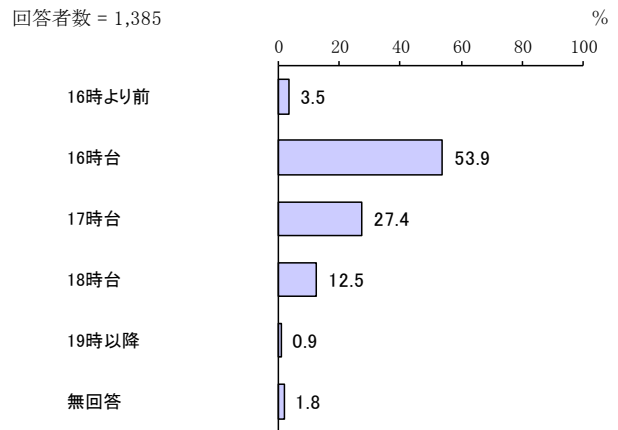
(ウ) 利用開始時刻

「8時台」の割合が48.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が45.2%となっています。



(エ) 利用終了時刻

「16時台」の割合が53.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が27.4%、「18時台」の割合が12.5%となっています。

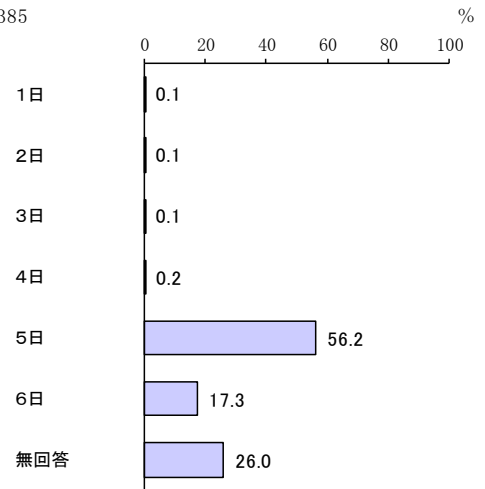


イ. 希望

(ア) 1週当たり利用日数

「5日」の割合が56.2%と最も高く、次いで「6日」の割合が17.3%となっています。

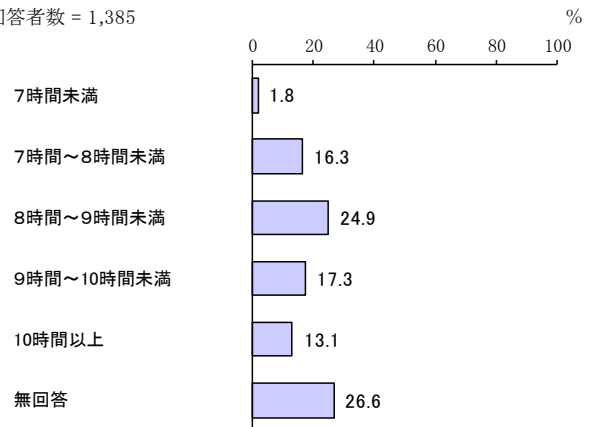
回答者数 = 1,385



(イ) 1日当たり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が24.9%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が17.3%、「7時間～8時間未満」の割合が16.3%となっています。

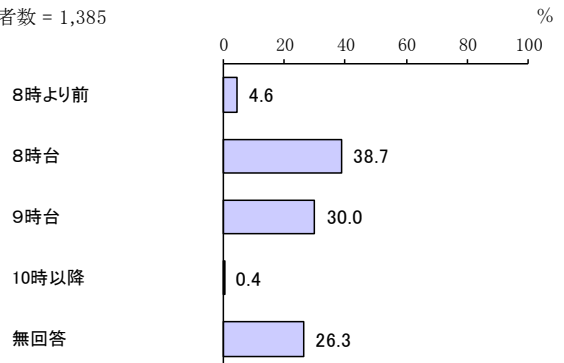
回答者数 = 1,385



(ウ) 利用開始時刻

「8時台」の割合が38.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が30.0%となっています。

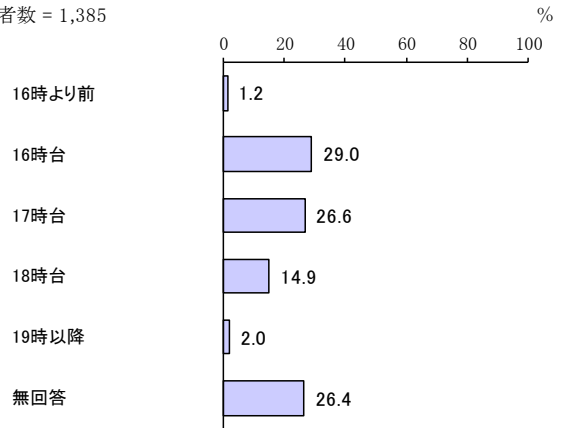
回答者数 = 1,385



(エ) 利用終了時刻

「16 時台」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.6%、「18 時台」の割合が 14.9%となっています。

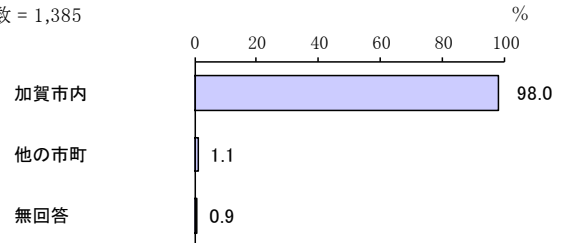
回答者数 = 1,385



問 13-3 現在、利用している保育・教育の事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「加賀市内」の割合が 98.0%、「他の市町」の割合が 1.1%となっています。

回答者数 = 1,385



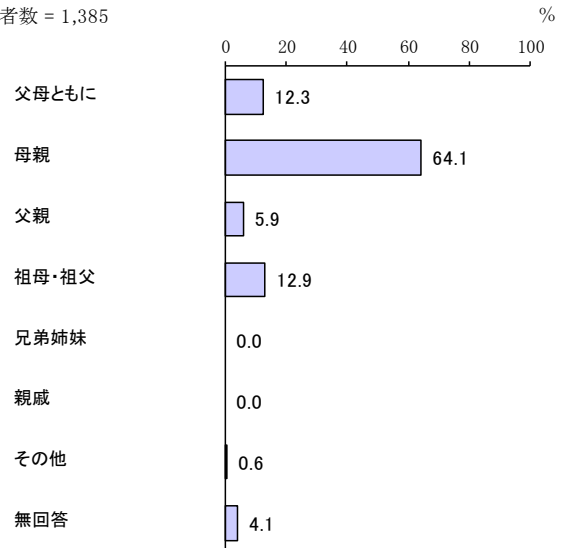
問 13-4 あなたのお子さんを、保育・教育の事業施設に送迎をしている方は主にどなたですか。また、その移動方法は何ですか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

ア. 送り

(ア) 誰が（宛名のお子さんからみた関係）

「母親」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「祖母・祖父」の割合が 12.9%、「父母ともに」の割合が 12.3%となっています。

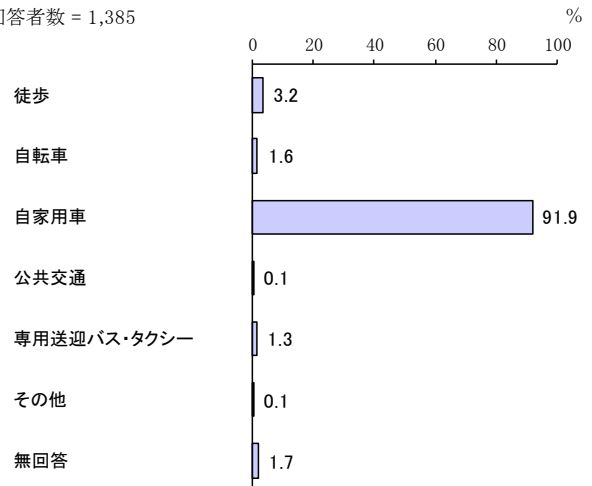
回答者数 = 1,385



(イ) 移動方法

「自家用車」の割合が 91.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,385

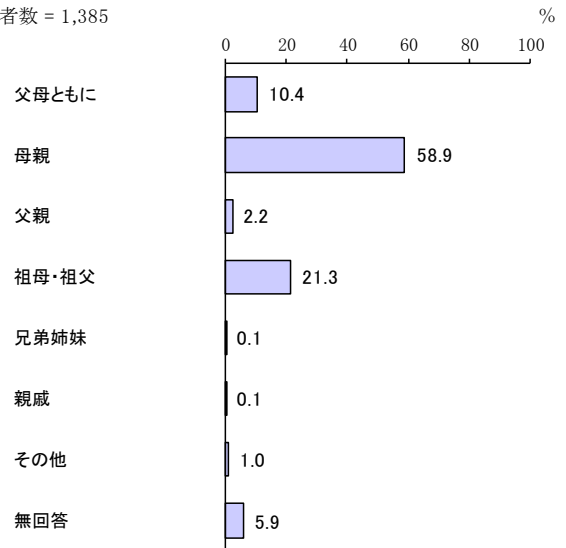


イ. 迎え

(ア) 誰が（宛名のお子さんからみた関係）

「母親」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「祖母・祖父」の割合が 21.3%、「父母ともに」の割合が 10.4%となっています。

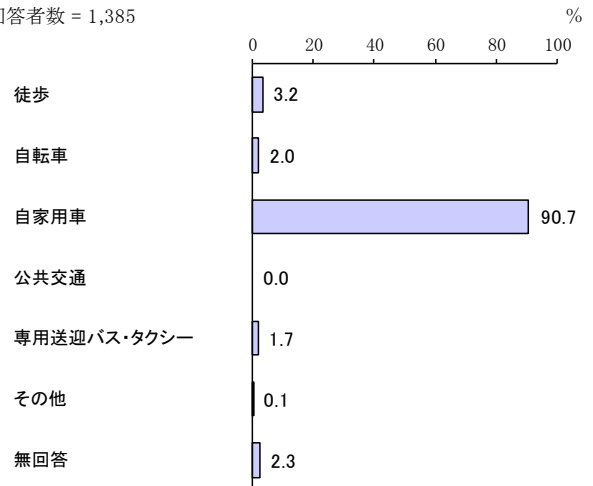
回答者数 = 1,385



(イ) 移動方法

「自家用車」の割合が 90.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,385

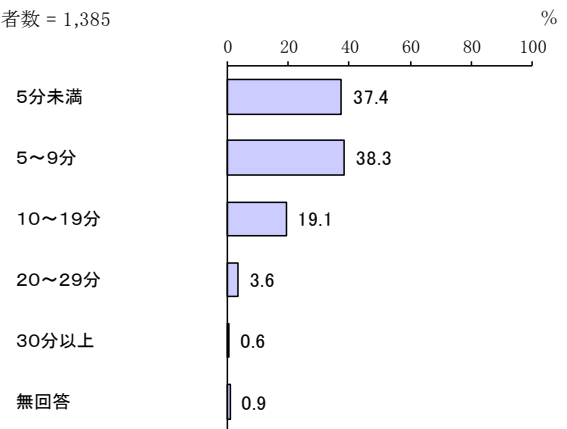


問 13-5 お子さんの送迎の所要時間は、およそ何分ですか。また、許容できる時間は何分ぐらいですか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。※現在行っている送迎方法でお考えください。

ア. 現在の送迎の所要時間

「5～9分」の割合が38.3%と最も高く、次いで「5分未満」の割合が37.4%、「10～19分」の割合が19.1%となっています。

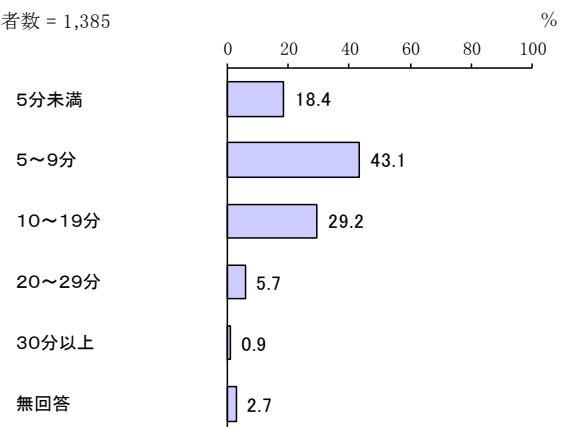
回答者数 = 1,385



イ. 送迎の許容時間

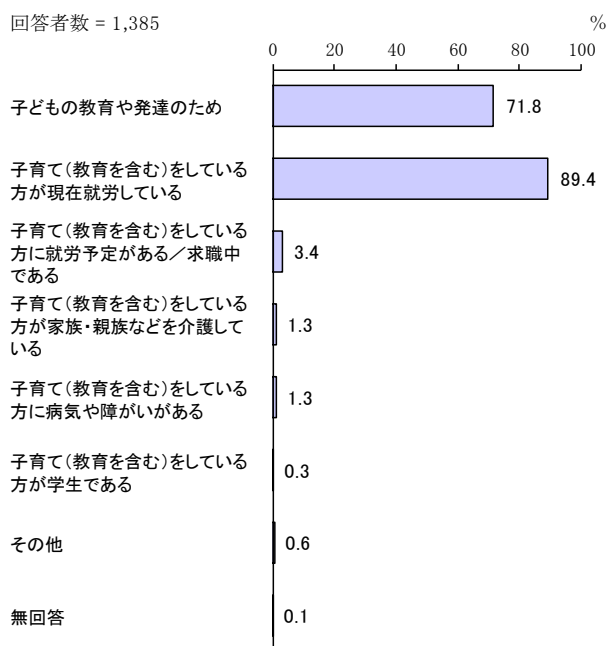
「5～9分」の割合が43.1%と最も高く、次いで「10～19分」の割合が29.2%、「5分未満」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 1,385



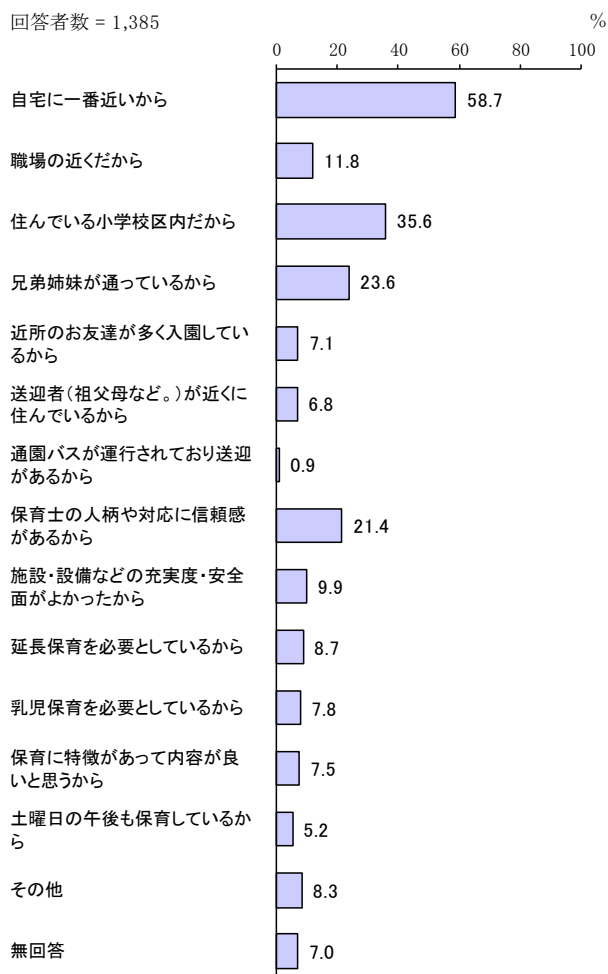
問 13-6 平日に定期的に保育・教育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が 89.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 71.8%となっています。



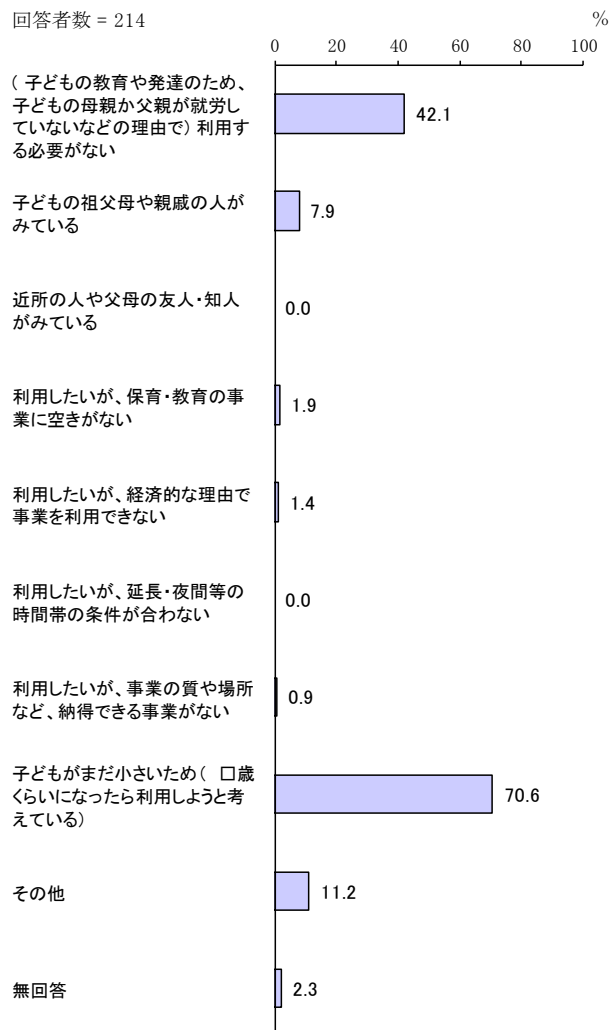
問 13-7 現在の保育・教育の事業施設を選んだ理由について、当てはまる番号に3つまで○をつけてください。

「自宅が一番近いから」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「住んでいる小学校区内だから」の割合が 35.6%、「兄弟姉妹が通っているから」の割合が 23.6%となっています。



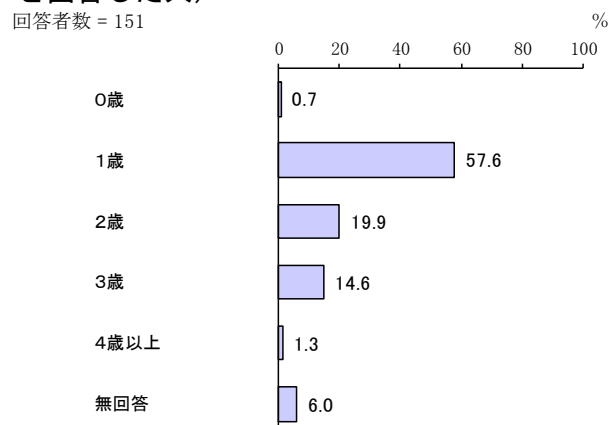
問 13-8 問 13 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が 70.6%と最も高く、次いで「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」の割合が 42.1%となっています。



利用を開始したい年齢（「子どもがまだ小さいため」と回答した人）

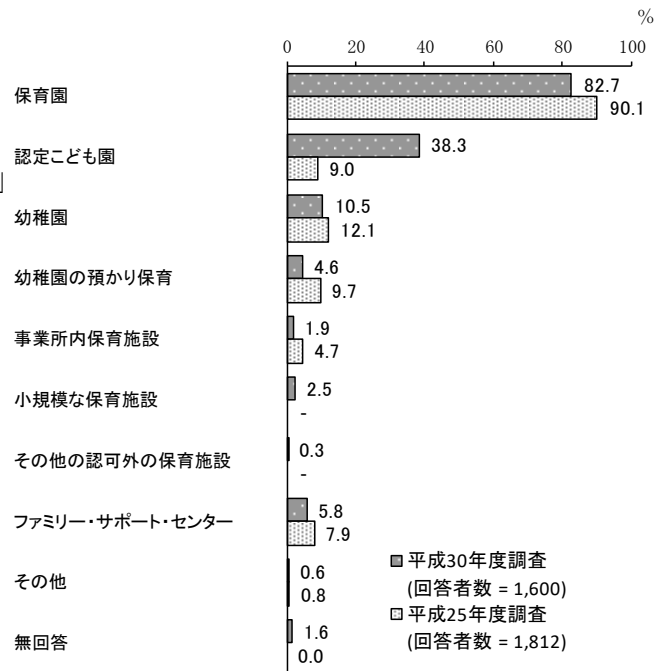
「1歳」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「2歳」の割合が 19.9%、「3歳」の割合が 14.6%となっています。



問 14 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の保育・教育の事業として、「定期的に」利用したいと考えるものについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育園」の割合が82.7%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が38.3%、「幼稚園」の割合が10.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「保育園」「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



※「幼稚園の預かり保育」は平成25年度調査では「認可保育園・幼稚園の預かり保育」。また、「小規模な保育施設」「その他の認可外の保育施設」は平成30年度調査で新たに追加した。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、いずれも「保育園」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	保育園	認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	事業所内保育施設	小規模な保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	370	81.1	42.7	13.5	6.2	2.7	3.8	0.8	10.0	0.5	1.1
1歳	244	83.2	41.0	9.4	3.7	1.2	1.6	—	4.5	1.2	—
2歳	253	82.2	36.0	8.3	3.6	1.6	1.6	0.4	5.5	—	1.6
3歳	237	82.7	40.1	9.3	5.9	1.7	2.5	—	3.4	—	1.3
4歳	226	85.8	33.6	10.6	3.1	2.2	1.8	—	4.9	0.4	2.2
5歳	228	83.8	34.2	10.5	3.5	2.2	3.5	—	4.8	1.3	3.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「認定こども園」の割合が高くなっています。また、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	保育園	認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	事業所内保育施設	小規模な保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	661	82.9	38.9	7.3	4.5	1.4	1.8	0.2	4.1	0.8	1.8
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	130	80.0	45.4	9.2	3.1	2.3	3.8	0.8	11.5	0.8	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	568	84.3	35.0	10.7	4.2	1.8	1.9	0.2	5.3	0.5	1.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	41	80.5	51.2	14.6	2.4	2.4	—	—	9.8	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	155	76.8	38.7	20.6	6.5	4.5	7.1	0.6	9.7	0.6	1.9
これまで就労したことがない	6	66.7	50.0	50.0	—	—	—	—	16.7	—	—

【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校、山中中学校で「保育園」の割合が高くなっています。また、片山津中学校で「認定こども園」の割合が高くなっています。

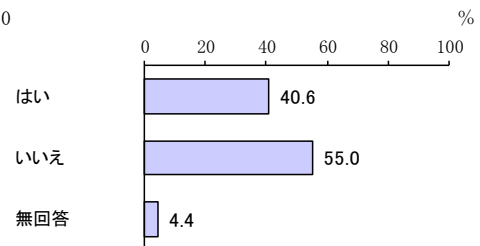
単位：％

区分	有効回答数(件)	保育園	認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	事業所内保育施設	小規模な保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
錦城中学校	307	87.6	31.3	13.7	7.2	2.3	3.3	0.3	5.2	—	2.0
橋立中学校	48	93.8	20.8	8.3	4.2	4.2	4.2	2.1	6.3	—	—
片山津中学校	201	60.7	67.2	12.9	6.5	3.0	1.0	—	3.5	2.0	—
東和中学校	432	81.5	37.0	10.2	3.2	1.9	1.9	0.2	4.6	0.2	2.5
山代中学校	450	86.0	37.3	8.7	3.8	0.7	3.1	0.2	6.7	0.9	1.3
山中中学校	148	92.6	27.0	8.1	4.1	3.4	2.7	—	10.8	0.7	2.0

問 14-1 問 14 で幼稚園に○をつけ、かつ、その他の事業にも○をつけた方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「はい」の割合が 40.6%、「いいえ」の割合が 55.0%となっています。

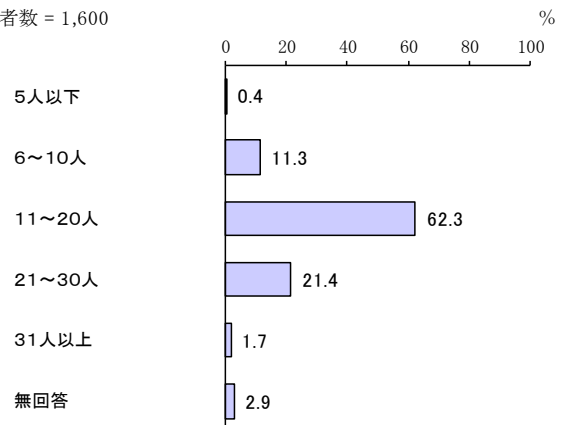
回答者数 = 180



問 15 すべての方にうかがいます。子どもの健やかな育ちにとって、同年齢や異なる年齢の友達と主体的に関わることが大切です。集団生活は人との関わりが深まり、主体性や社会性の芽生えを促します。現在、利用している、利用していないにかかわらず、4・5歳児の保育園や幼稚園等の同年齢児童数について、何人が適当だと思えますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

「11～20人」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「21～30人」の割合が 21.4%、「6～10人」の割合が 11.3%となっています。

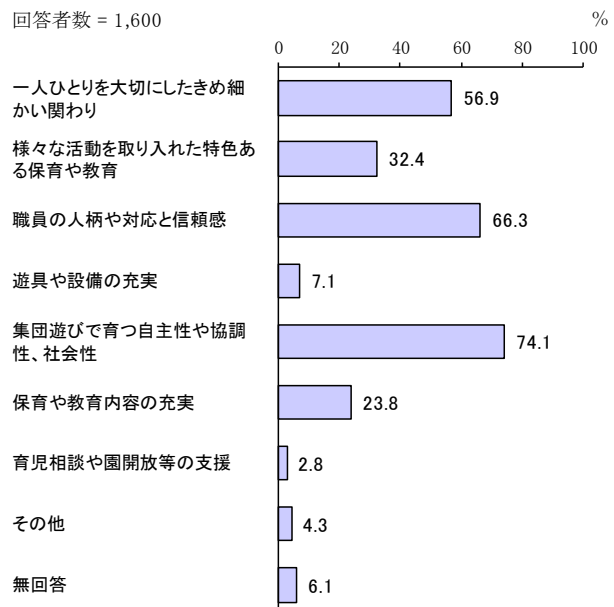
回答者数 = 1,600



問 16 保育・教育の事業に何を求めますか。当てはまるものに3つまで○をつけてください。

「集団遊びで育つ自主性や協調性、社会性」の割合が 74.1%と最も高く、次いで「職員の人柄や対応と信頼感」の割合が 66.3%、「一人ひとりを大切にしたいきめ細かい関わり」の割合が 56.9%となっています。

回答者数 = 1,600

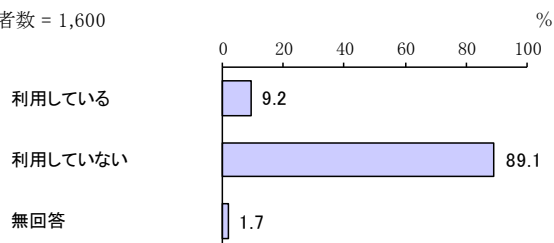


(5) 地域子育て支援事業の利用状況

問 17 宛名のお子さんは、現在、「つどいの広場」や「子育て支援センター」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、子育て情報を受けたりする場）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字（1枠に1字）で記入してください。

「利用している」の割合が9.2%、「利用していない」の割合が89.1%となっています。

回答者数 = 1,600



【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、大きな差異はみられません。

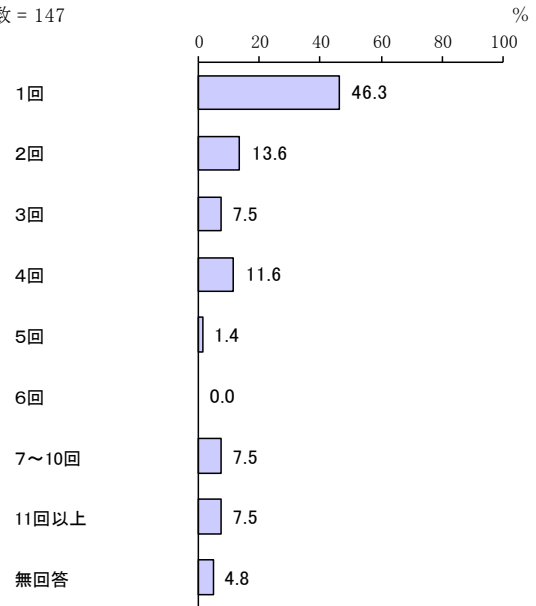
単位：%

区分	有効回答数（件）	利用している	利用していない	無回答
錦城中学校	307	9.1	89.6	1.3
橋立中学校	48	10.4	83.3	6.3
片山津中学校	201	7.0	91.5	1.5
東和中学校	432	8.1	90.5	1.4
山代中学校	450	10.7	87.8	1.6
山中中学校	148	10.1	87.2	2.7

ア. 1か月当たりの利用回数

「1回」の割合が46.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が13.6%、「4回」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 147

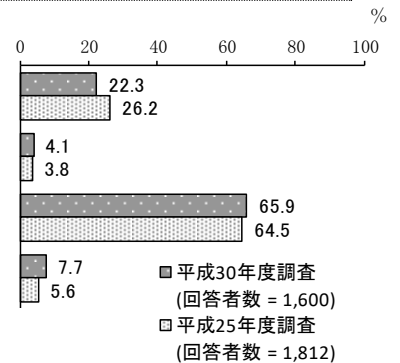


問18 問17の事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字（1枠に1字）で記入してください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が65.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が22.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

利用していないが、今後利用したい
 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
 無回答



【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校で「利用していないが、今後利用したい」の割合が低くなっています。

単位：％

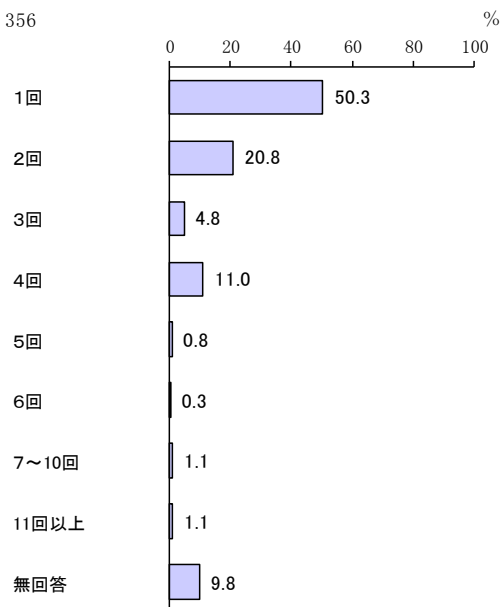
区分	有効回答数 (件)	利用していないが、 今後利用したい	すでに利用している が、今後利用日数を 増やしたい	新たに利用したり、 利用日数を増やしたい とは思わない	無回答
錦城中学校	307	23.1	3.3	66.1	7.5
橋立中学校	48	16.7	6.3	60.4	16.7
片山津中学校	201	21.4	3.0	69.2	6.5
東和中学校	432	22.9	4.4	66.4	6.3
山代中学校	450	22.2	4.4	64.9	8.4
山中中学校	148	20.9	5.4	66.2	7.4

ア. 利用していないが、今後利用したい

(ア) 1か月当たりでの利用回数

「1回」の割合が50.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が20.8%、「4回」の割合が11.0%となっています。

回答者数 = 356

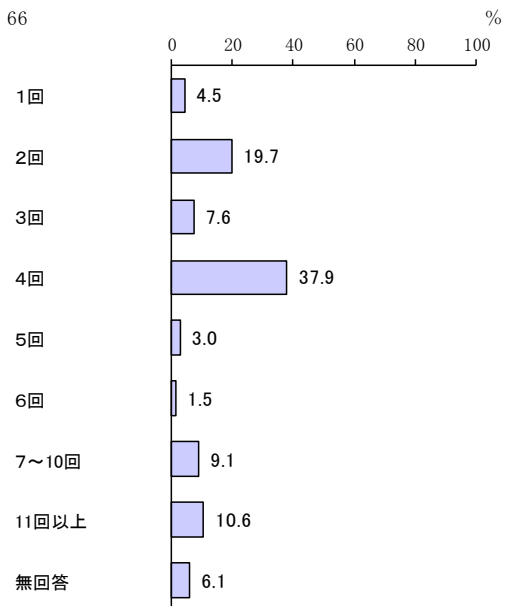


イ. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

(ア) 1か月当たりでの増やしたい利用回数

「4回」の割合が37.9%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.7%、「11回以上」の割合が10.6%となっています。

回答者数 = 66



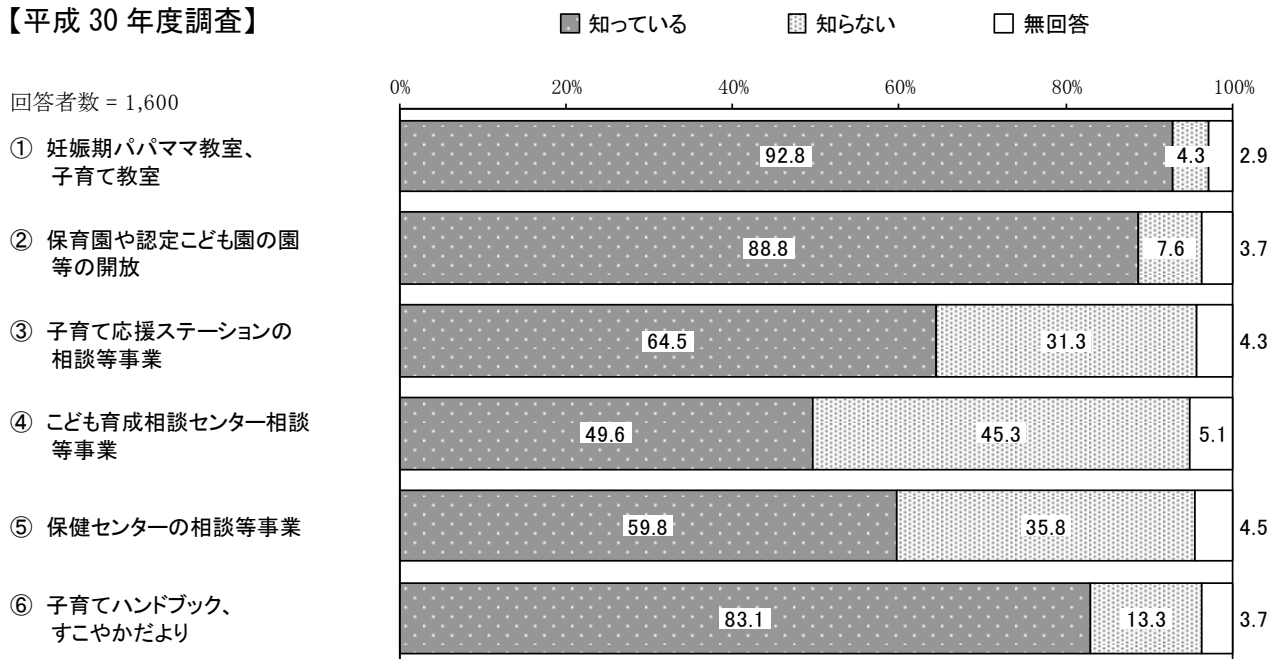
問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

ア. 認知度

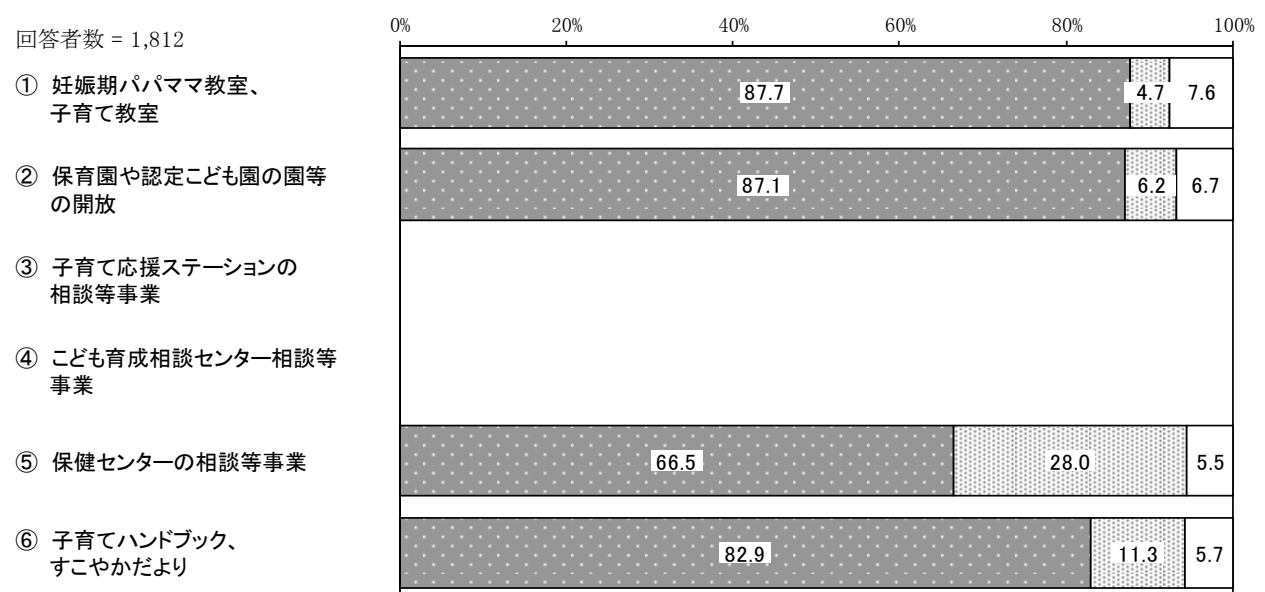
『①妊娠期パパママ教室、子育て教室』『②保育園や認定こども園の園等の開放』で「知っている」の割合が高くなっています。また、『④こども育成相談センター相談等事業』で「知らない」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、『①妊娠期パパママ教室、子育て教室』で「知っている」の割合が増加しています。また、『⑤保健センターの相談等事業』で「知らない」の割合が増加しています。

【平成 30 年度調査】



【平成 25 年度調査】



※『③ 子育て応援ステーションの相談等事業』『④ こども育成相談センター相談等事業』は平成 30 年度調査で新たに追加した。

【圏域（中学校区）別】

① 妊娠期パパママ教室、子育て教室

圏域（中学校区）別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	307	94.8	2.9	2.3
橋立中学校	48	91.7	2.1	6.3
片山津中学校	201	91.5	5.5	3.0
東和中学校	432	93.3	4.6	2.1
山代中学校	450	91.6	4.9	3.6
山中中学校	148	93.2	3.4	3.4

② 保育園や認定こども園の園等の開放

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	307	87.6	9.4	2.9
橋立中学校	48	89.6	4.2	6.3
片山津中学校	201	94.0	2.5	3.5
東和中学校	432	89.6	6.9	3.5
山代中学校	450	86.9	9.3	3.8
山中中学校	148	87.2	8.1	4.7

③ 子育て応援ステーションの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、山代中学校で「知っている」の割合が高くなっています。また、橋立中学校で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	307	64.2	31.6	4.2
橋立中学校	48	52.1	39.6	8.3
片山津中学校	201	62.2	34.3	3.5
東和中学校	432	62.7	33.6	3.7
山代中学校	450	68.4	27.6	4.0
山中中学校	148	63.5	30.4	6.1

④ こども育成相談センター相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	307	50.2	45.6	4.2
橋立中学校	48	47.9	39.6	12.5
片山津中学校	201	44.3	51.2	4.5
東和中学校	432	49.1	46.1	4.9
山代中学校	450	50.9	44.0	5.1
山中中学校	148	50.7	43.2	6.1

⑤ 保健センターの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	307	59.9	36.2	3.9
橋立中学校	48	56.3	31.3	12.5
片山津中学校	201	54.2	42.3	3.5
東和中学校	432	60.9	35.2	3.9
山代中学校	450	61.8	33.6	4.7
山中中学校	148	56.8	37.8	5.4

⑥ 子育てハンドブック、すこやかだより

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校、山中中学校で「知っている」の割合が低くなっています。

単位：％

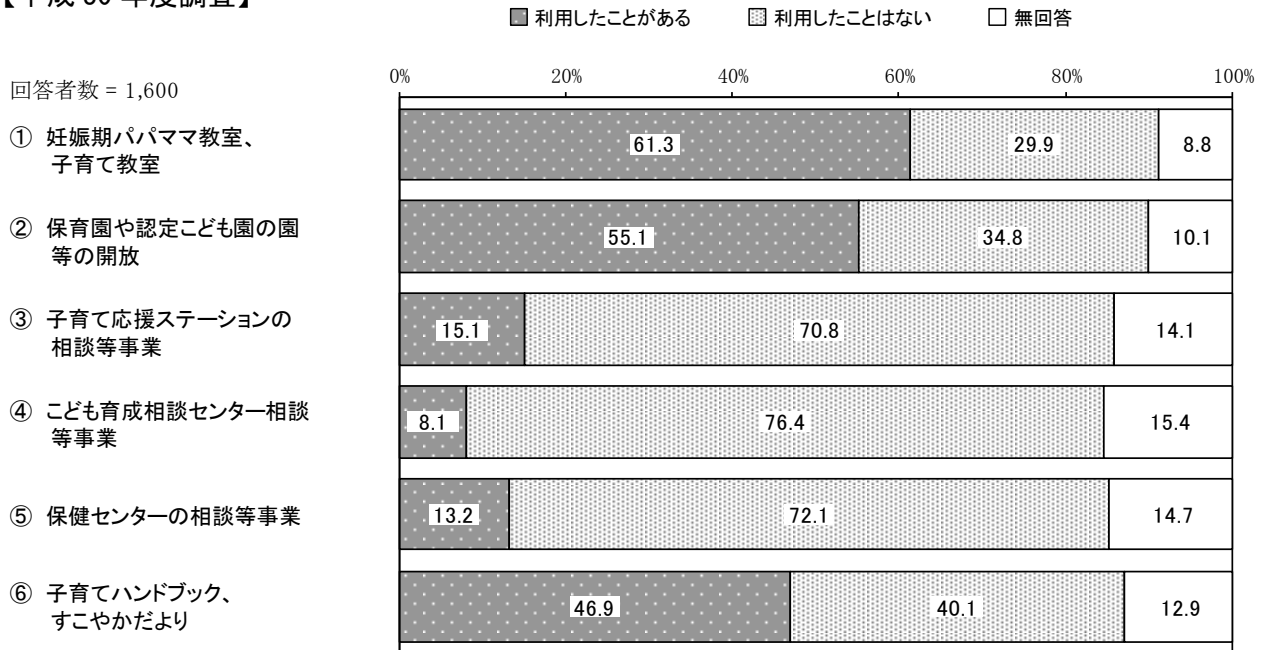
区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	307	84.4	12.7	2.9
橋立中学校	48	85.4	10.4	4.2
片山津中学校	201	80.1	15.4	4.5
東和中学校	432	85.9	11.1	3.0
山代中学校	450	82.7	13.6	3.8
山中中学校	148	78.4	16.2	5.4

イ. 利用状況

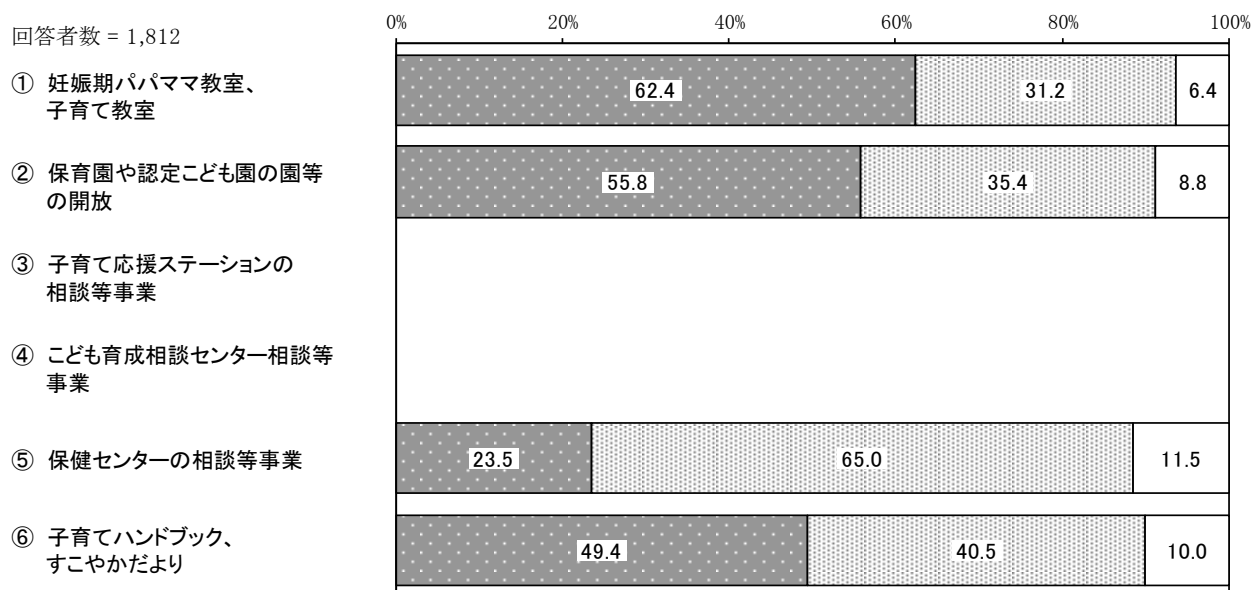
『①妊娠期パパママ教室、子育て教室』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。また、『④こども育成相談センター相談等事業』で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、『⑤保健センターの相談等事業』で「利用したことがある」の割合が減少しています。

【平成30年度調査】



【平成25年度調査】



※『③ 子育て応援ステーションの相談等事業』『④ こども育成相談センター相談等事業』は平成30年度調査で新たに追加した。

【圏域（中学校区）別】

① 妊娠期パパママ教室、子育て教室

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校で「利用したことがある」の割合が高くなっています。また、片山津中学校、山代中学校で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	ある 利用したことが	ない 利用したことは	無回答
錦城中学校	307	68.1	25.1	6.8
橋立中学校	48	64.6	25.0	10.4
片山津中学校	201	55.7	35.8	8.5
東和中学校	432	63.0	28.7	8.3
山代中学校	450	56.9	33.1	10.0
山中中学校	148	63.5	27.0	9.5

② 保育園や認定こども園の園等の開放

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「利用したことがある」の割合が高くなっています。また、東和中学校、山代中学校で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	ある 利用したことが	ない 利用したことは	無回答
錦城中学校	307	55.7	35.5	8.8
橋立中学校	48	58.3	25.0	16.7
片山津中学校	201	63.7	26.9	9.5
東和中学校	432	52.5	37.7	9.7
山代中学校	450	52.2	37.3	10.4
山中中学校	148	57.4	31.8	10.8

③ 子育て応援ステーションの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ある 利用したことが	ない 利用したことは	無回答
錦城中学校	307	19.2	67.1	13.7
橋立中学校	48	14.6	64.6	20.8
片山津中学校	201	13.9	73.6	12.4
東和中学校	432	13.7	72.7	13.7
山代中学校	450	15.3	70.9	13.8
山中中学校	148	12.8	70.3	16.9

④ こども育成相談センター相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校で「利用したことがある」の割合が高くなっています。また、片山津中学校、東和中学校、山代中学校で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ある 利用したことが	ない 利用したことは	無回答
錦城中学校	307	13.0	72.0	15.0
橋立中学校	48	6.3	70.8	22.9
片山津中学校	201	9.5	77.1	13.4
東和中学校	432	5.1	79.6	15.3
山代中学校	450	7.1	77.8	15.1
山中中学校	148	9.5	73.0	17.6

⑤ 保健センターの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ある 利用したことが	ない 利用したことは	無回答
錦城中学校	307	16.6	69.4	14.0
橋立中学校	48	14.6	64.6	20.8
片山津中学校	201	7.5	79.1	13.4
東和中学校	432	11.3	74.1	14.6
山代中学校	450	14.2	71.3	14.4
山中中学校	148	15.5	68.2	16.2

⑥ 子育てハンドブック、すこやかだより

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ある 利用したことが	ない 利用したことは	無回答
錦城中学校	307	52.1	37.1	10.7
橋立中学校	48	45.8	35.4	18.8
片山津中学校	201	46.8	42.3	10.9
東和中学校	432	46.5	40.5	13.0
山代中学校	450	45.3	41.3	13.3
山中中学校	148	46.6	37.2	16.2

ウ. 今後の利用意向

『⑥子育てハンドブック、すこやかだより』で「利用したい」の割合が高くなっています。

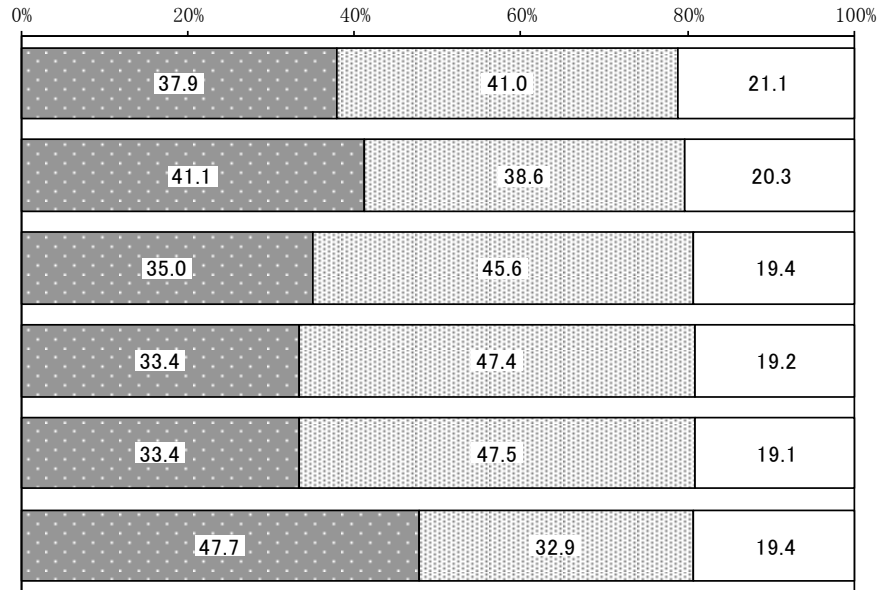
平成 25 年度調査と比較すると、『⑤保健センターの相談等事業』で「利用したい」の割合が減少しています。

【平成 30 年度調査】

■ 利用したい ▨ 利用したくない □ 無回答

回答者数 = 1,600

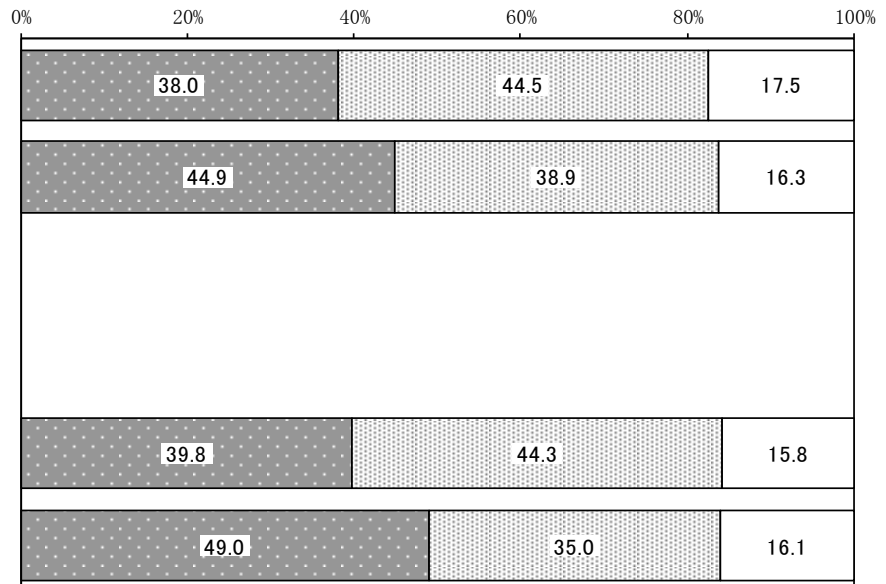
- ① 妊娠期パパママ教室、子育て教室
- ② 保育園や認定こども園の園等の開放
- ③ 子育て応援ステーションの相談等事業
- ④ こども育成相談センター相談等事業
- ⑤ 保健センターの相談等事業
- ⑥ 子育てハンドブック、すこやかだより



【平成 25 年度調査】

回答者数 = 1,812

- ① 妊娠期パパママ教室、子育て教室
- ② 保育園や認定こども園の園等の開放
- ③ 子育て応援ステーションの相談等事業
- ④ こども育成相談センター相談等事業
- ⑤ 保健センターの相談等事業
- ⑥ 子育てハンドブック、すこやかだより



※『③ 子育て応援ステーションの相談等事業』『④ こども育成相談センター相談等事業』は平成 30 年度調査で新たに追加した。

【圏域（中学校区）別】

① 妊娠期パパママ教室、子育て教室

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校で「利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	307	42.0	36.2	21.8
橋立中学校	48	27.1	43.8	29.2
片山津中学校	201	35.3	46.8	17.9
東和中学校	432	39.6	39.6	20.8
山代中学校	450	35.8	44.0	20.2
山中中学校	148	39.2	37.2	23.6

② 保育園や認定こども園の園等の開放

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	307	43.0	36.5	20.5
橋立中学校	48	33.3	39.6	27.1
片山津中学校	201	46.3	36.3	17.4
東和中学校	432	39.8	39.6	20.6
山代中学校	450	39.6	41.6	18.9
山中中学校	148	39.9	35.8	24.3

③ 子育て応援ステーションの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校、山代中学校で「利用したい」の割合が高くなっています。また、片山津中学校で「利用したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	307	38.8	41.7	19.5
橋立中学校	48	25.0	45.8	29.2
片山津中学校	201	31.8	51.7	16.4
東和中学校	432	33.6	46.8	19.7
山代中学校	450	36.4	45.1	18.4
山中中学校	148	33.8	44.6	21.6

④ こども育成相談センター相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校で「利用したい」の割合が高くなっています。また、片山津中学校で「利用したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	307	37.8	42.0	20.2
橋立中学校	48	33.3	41.7	25.0
片山津中学校	201	29.4	54.2	16.4
東和中学校	432	31.3	50.2	18.5
山代中学校	450	33.8	47.8	18.4
山中中学校	148	32.4	45.3	22.3

⑤ 保健センターの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校、山代中学校で「利用したい」の割合が高くなっています。また、片山津中学校で「利用したくない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	307	36.8	43.6	19.5
橋立中学校	48	31.3	41.7	27.1
片山津中学校	201	28.9	55.2	15.9
東和中学校	432	32.4	48.6	19.0
山代中学校	450	34.9	46.9	18.2
山中中学校	148	30.4	48.0	21.6

⑥ 子育てハンドブック、すこやかだより

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校で「利用したい」の割合が高くなっています。また、橋立中学校で「利用したい」の割合が低くなっています。

単位：%

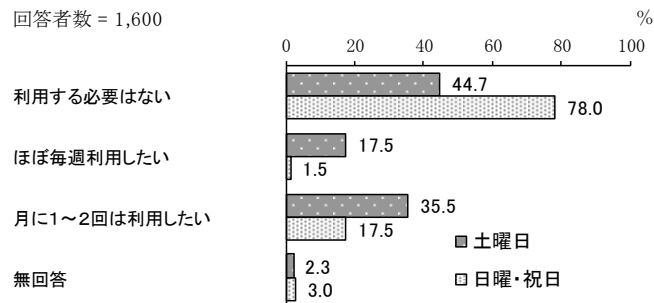
区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	307	52.8	27.7	19.5
橋立中学校	48	39.6	29.2	31.3
片山津中学校	201	47.3	36.3	16.4
東和中学校	432	46.5	34.3	19.2
山代中学校	450	48.4	33.1	18.4
山中中学校	148	43.2	35.8	20.9

(6) 土曜・休日や長期休暇の「定期的」な保育・教育事業の利用希望

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な保育・教育の事業の利用を希望しますか。(一時的な利用は除きます。) 当てはまる番号1つに○をつけてください。利用を希望する(「2」または「3」の)場合は、利用したい時間帯を、(例)09時~18時のように24時間制で□内に数字(1枠に1字)で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が35.5%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が17.5%となっています。

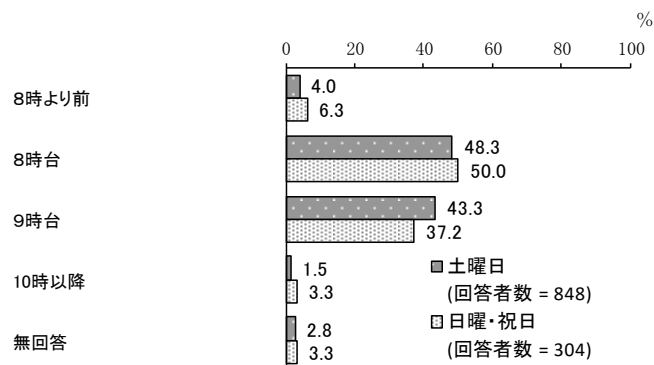
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が78.0%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が17.5%となっています。



ア 利用開始時刻

土曜日では、「8時台」の割合が48.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が43.3%となっています。

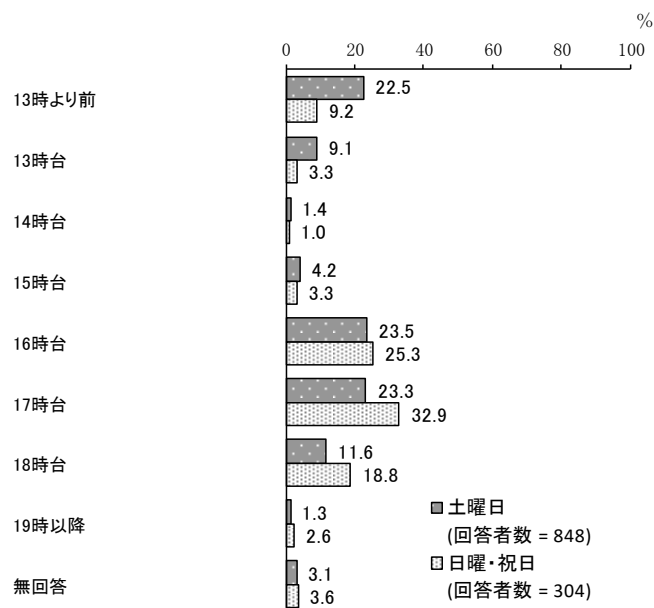
日曜・祝日では、「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が37.2%となっています。



イ 利用終了時刻

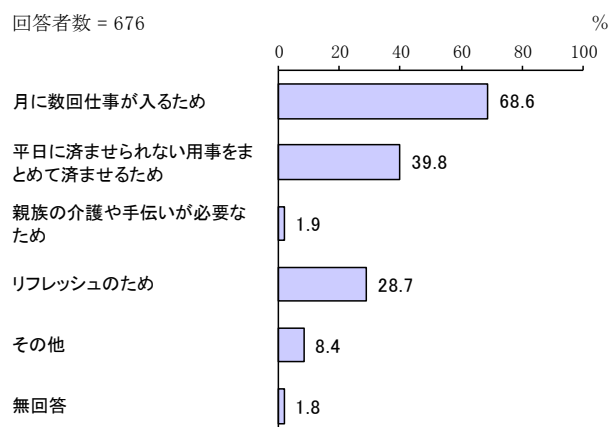
土曜日では、「16時台」の割合が23.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が23.3%、「13時より前」の割合が22.5%となっています。

日曜・祝日では、「17時台」の割合が32.9%と最も高く、次いで「16時台」の割合が25.3%、「18時台」の割合が18.8%となっています。



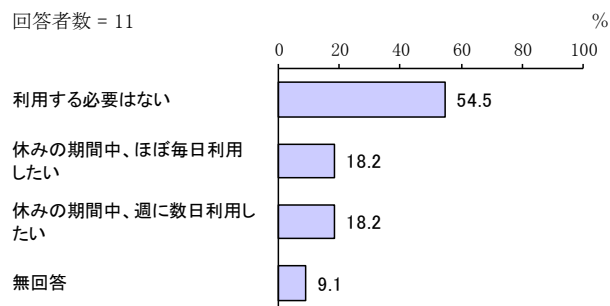
問 20-1 問 20 の (1) または (2) で、「3. 月に 1~2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 39.8%、「リフレッシュのため」の割合が 28.7%となっています。



問 21 幼稚園を利用されている方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の保育・教育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。利用を希望する（「2」または「3」）の場合は、利用したい時間帯を、(例)09 時~18 時のように 24 時間制で口内に数字（1 枠に 1 字）で記入してください。

「利用する必要はない」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 18.2%となっています。



ア. 利用開始時刻

「8 時台」が 2 件となっています。「9 時台」が 1 件となっています。

イ. 利用終了時刻

「13 時より前」、「15 時台」、「17 時台」が 1 件となっています。

問 21-1 問 21 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」、「リフレッシュのため」が 1 件となっています。

(7) 子どもの病気の際の対応

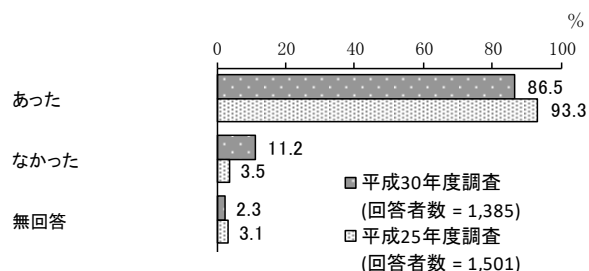
問 22 問 13 で「1. (平日の定期的な保育・教育の事業を) 利用している」と回答した方にうかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで平日の定期的な保育・教育の事業が利用できなかったことはありますか。あった場合、どうされましたか。当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を口内に数字(1枠に1字)で記入してください。

事業を利用できなかったこと【1つ選択】

「あった」の割合が86.5%、「なかった」の割合が11.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加し、「あった」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、5歳で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あった	なかった	無回答
0歳	183	85.8	11.5	2.7
1歳	225	91.1	7.1	1.8
2歳	248	88.7	8.5	2.8
3歳	237	89.9	8.4	1.7
4歳	226	87.2	11.1	1.8
5歳	227	78.4	19.8	1.8

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「あった」の割合が高くなっています。また、フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	656	87.2	11.4	1.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	33	72.7	24.2	3.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	559	87.8	9.5	2.7
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	20	80.0	10.0	10.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	80	82.5	13.8	3.8
これまで就労したことがない	2	50.0	—	50.0

【圏域（中学校区）別】

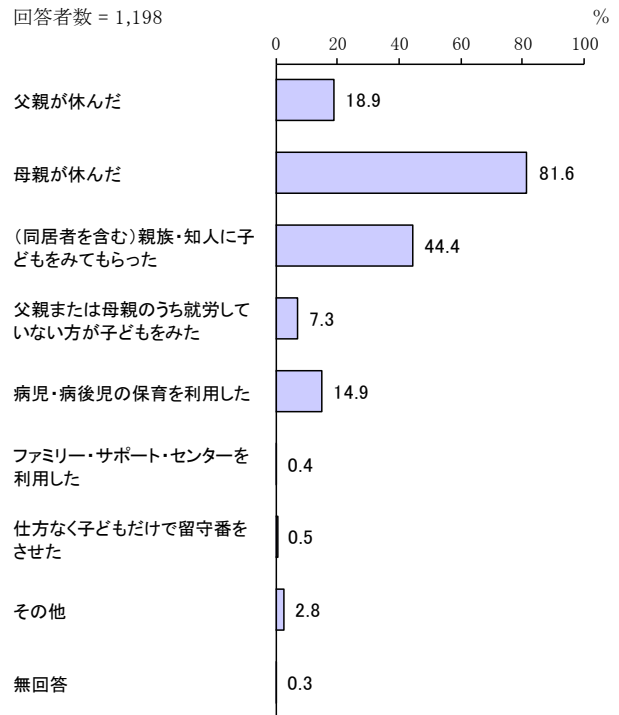
圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校で「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
錦城中学校	268	89.6	9.3	1.1
橋立中学校	45	91.1	6.7	2.2
片山津中学校	177	87.6	9.6	2.8
東和中学校	371	86.3	11.6	2.2
山代中学校	387	84.0	12.9	3.1
山中中学校	128	85.9	11.7	2.3

ア. 1年間の対処方法【複数選択可】

「母親が休んだ」の割合が81.6%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が44.4%、「父親が休んだ」の割合が18.9%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、3歳以上に比べ、2歳以下で「母親が休んだ」「病児・病後児の保育を利用した」の割合が高くなっています。また、他に比べ、1歳で「父親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった(同居者を含む)親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	157	19.1	85.4	45.2	9.6	17.8	1.9	—	3.8	—
1歳	205	29.3	85.9	41.5	7.8	18.0	—	0.5	2.4	0.5
2歳	220	21.8	86.4	43.2	7.3	17.7	0.5	—	2.7	0.5
3歳	213	10.8	79.3	46.9	6.1	11.7	—	0.5	3.8	0.5
4歳	197	14.2	80.2	46.2	4.1	13.7	—	1.0	2.0	—
5歳	178	18.5	74.2	44.4	8.4	11.2	—	1.1	2.8	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「母親が休んだ」の割合が高くなっています。また、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった (同居者を含む) 親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	572	23.6	80.4	53.3	3.8	18.4	0.5	—	3.3	0.2
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	24	29.2	83.3	37.5	12.5	16.7	—	—	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	491	13.0	90.4	38.3	3.7	11.4	0.2	1.2	2.0	0.2
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	16	12.5	93.8	25.0	12.5	12.5	—	—	12.5	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	66	9.1	36.4	16.7	59.1	10.6	1.5	—	3.0	1.5
これまで就労したことがない	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—

【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。また、錦城中学校で「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった (同居者を含む) 親族・知人に	父親または母親のうち就労して いない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ファミリー・サポート・ センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番を させた	その他	無回答
錦城中学校	240	22.1	80.4	49.6	10.0	16.3	—	0.4	3.8	—
橋立中学校	41	17.1	85.4	56.1	2.4	14.6	—	2.4	—	—
片山津中学校	155	18.1	81.9	44.5	7.1	15.5	—	0.6	0.6	—
東和中学校	320	20.9	84.7	43.4	7.5	16.6	0.9	0.9	3.8	0.3
山代中学校	325	14.8	77.2	39.4	7.7	13.2	0.3	—	3.4	0.6
山中中学校	110	20.9	86.4	46.4	0.9	10.9	0.9	—	0.9	—

1年間の対処方法（年間日数）

1年間の対処方法（年間日数）について、『ア. 父親が休んだ』で「1日」の割合が、『オ. 病児・病後児の保育を利用した』で「5日～9日」の割合が高くなっています。また、『イ. 母親が休んだ』で「10日～29日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日～9日	10日～29日	30日以上	無回答
ア. 父親が休んだ	226	28.8	19.0	17.3	5.3	15.0	7.1	-	7.5
イ. 母親が休んだ	978	7.5	8.8	11.3	3.7	22.9	31.8	5.5	8.5
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	532	8.3	13.0	16.9	3.8	19.9	25.6	2.8	9.8
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	87	6.9	10.3	9.2	3.4	21.8	29.9	8.0	10.3
オ. 病児・病後児の保育を利用した	178	16.9	15.2	9.6	7.3	25.3	18.0	2.2	5.6
カ. ファミリー・サポート・センターを利用した	5	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6	33.3	16.7	-	-	50.0	-	-	-
ク. その他	34	5.9	8.8	23.5	-	35.3	20.6	-	5.9

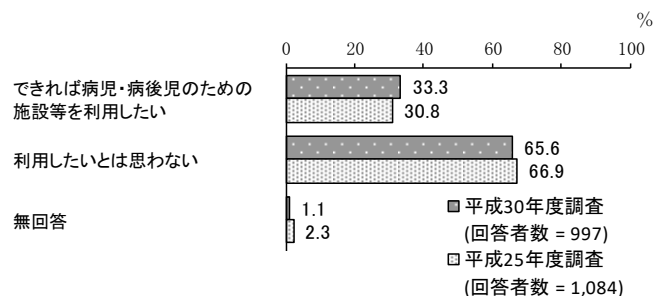
問 22-1 問 22 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思われましたか。思われた場合は利用希望延べ日数を口内に数字（1 枠に 1 字）で記入し、利用したい事業形態について、当てはまる記号すべてに○をつけてください。思わなかった場合は、その理由について、当てはまる記号すべてに○をつけてください。

病気の際の意向【1つ選択】

「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」の割合が 33.3%、「利用したいとは思わない」の割合が 65.6%となっています。

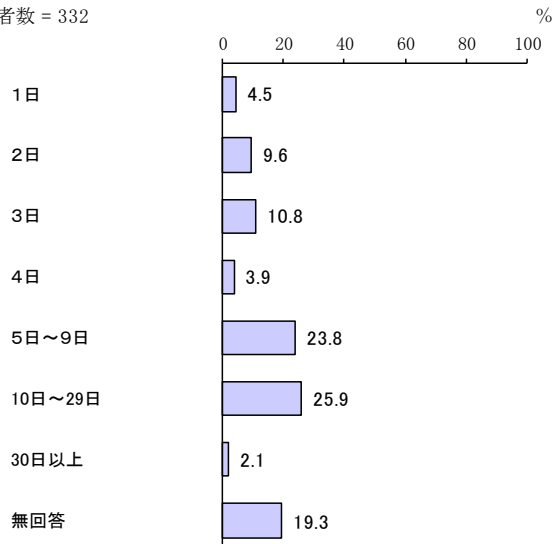
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. できれば病児・病後児のための施設等を利用したい 希望延べ日数

「10日～29日」の割合が25.9%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が23.8%、「3日」の割合が10.8%となっています。

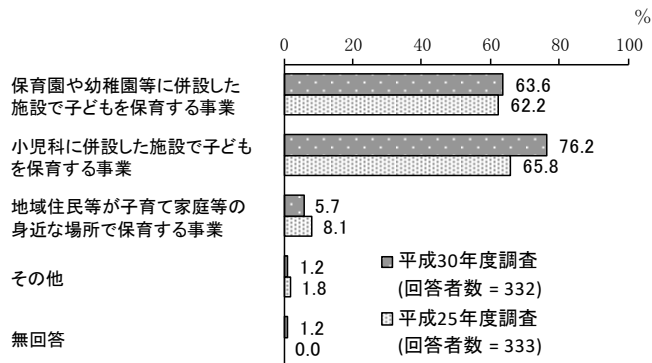
回答者数 = 332



イ. 希望する事業形態【複数選択可】

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が76.2%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が63.6%となっています。

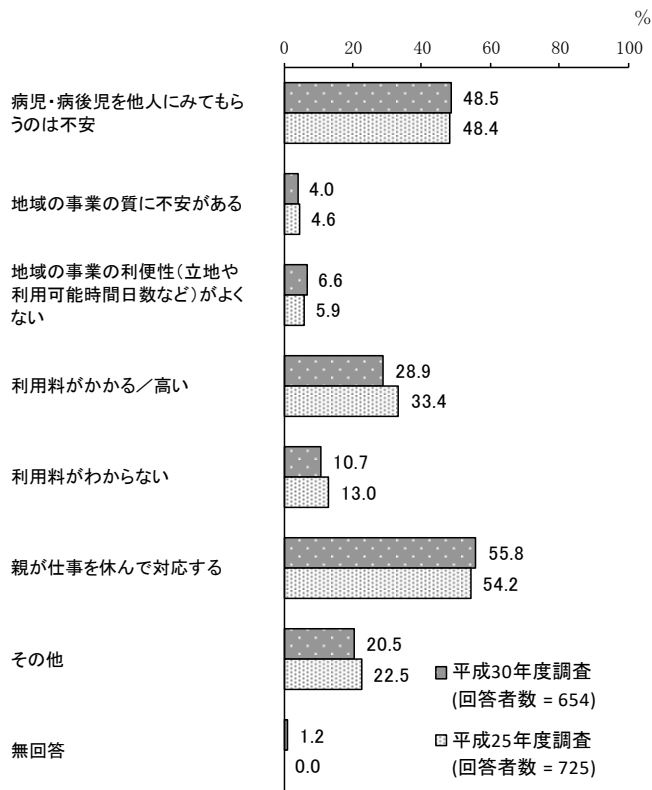
平成25年度調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。



ウ. 思わなかった理由【複数選択可】

「親が仕事を休んで対応する」の割合が55.8%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が48.5%、「利用料がかかる／高い」の割合が28.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



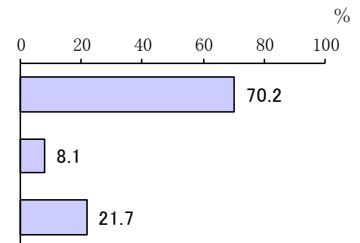
問 22-2 問 22 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思われましたか。思われた場合は仕事を休んで看護したい希望延べ日数を口内に数字(1 枠に1 字)で記入し、休んで看護することができない理由に当てはまる記号すべてに○をつけてください。

希望の有無【1つ選択】

「できれば仕事を休んで看護したい」の割合が 70.2%、「仕事を休んで看護したいとは思わない」の割合が 8.1%となっています。

回答者数 = 739

できれば仕事を休んで看護したい
仕事を休んで看護したいとは思わない
無回答

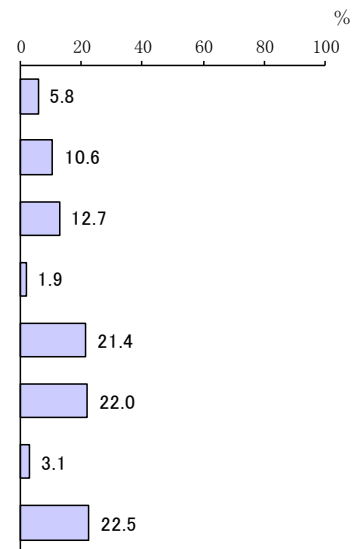


ア. できれば仕事を休んで看護したい 希望延べ日数

「10 日～29 日」の割合が 22.0%と最も高く、次いで「5 日～9 日」の割合が 21.4%、「3 日」の割合が 12.7%となっています。

回答者数 = 519

1日
2日
3日
4日
5日～9日
10日～29日
30日以上
無回答

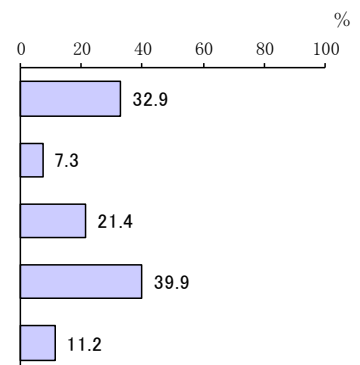


イ. 休んで看護することができない理由【複数選択可】

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「休假日数が足りないので休めない」の割合が 21.4%となっています。

回答者数 = 519

子どもの看護を理由に休みがとれない
自営業なので休めない
休假日数が足りないので休めない
その他
無回答



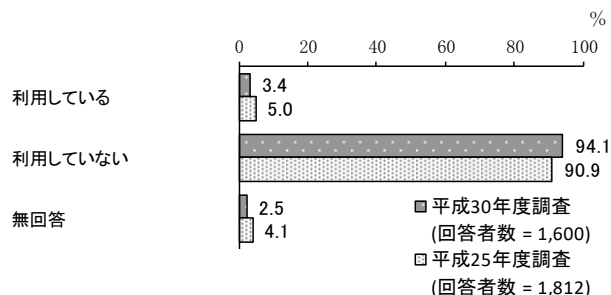
(8) 不定期の保育・教育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している保育・教育の事業はありますか。ある場合は、利用している事業について、当てはまる記号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も口内に数字（1枠に1字）で記入してください。利用していない場合は、その理由に当てはまる記号すべてに○をつけてください。

利用の有無【1つ選択】

「利用している」の割合が3.4%、「利用していない」の割合が94.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

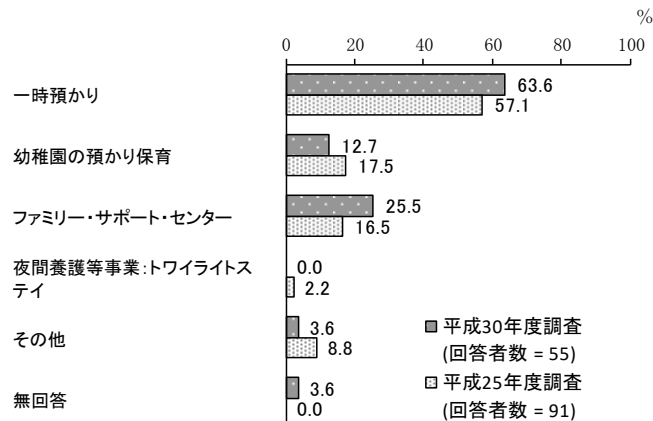


※「利用している」は平成25年度調査では「利用した」の割合。

ア. 利用している事業【複数選択可】

「一時預かり」の割合が63.6%と最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」の割合が25.5%、「幼稚園の預かり保育」の割合が12.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「一時預かり」「ファミリー・サポート・センター」の割合が増加しています。



イ. 利用事業別年間延べ日数

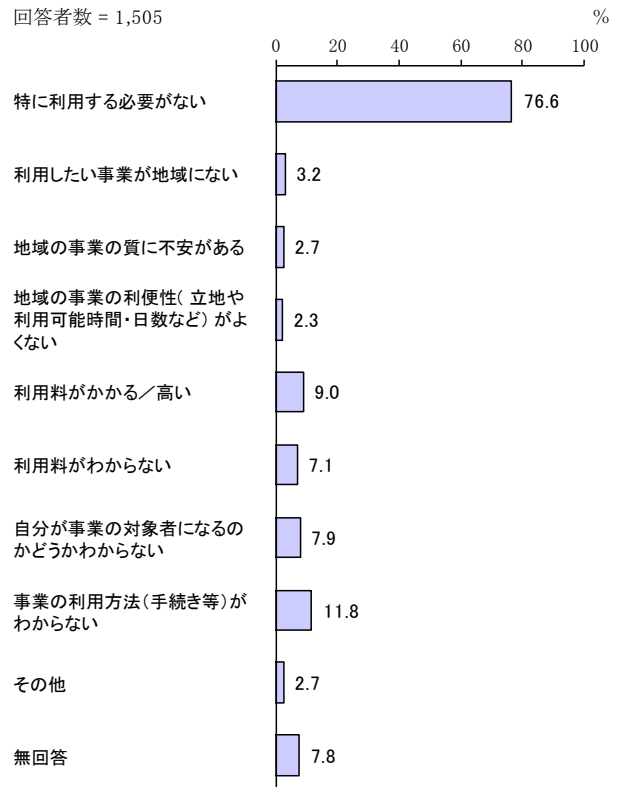
利用事業別年間延べ日数については、ア. 一時預かり、ウ. ファミリー・サポート・センターで「1日」の割合が高くなっています。また、ウ. ファミリー・サポート・センターでは「2日」の割合も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日～9日	10日～29日	30日以上	無回答
ア. 一時預かり	35	22.9	17.1	20.0	2.9	5.7	11.4	8.6	11.4
イ. 幼稚園の預かり保育	7	14.3	14.3	—	—	14.3	57.1	—	—
ウ. ファミリー・サポート・センター	14	28.6	28.6	—	7.1	—	28.6	—	7.1
エ. 夜間養護等事業:トワイライトステイ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オ. その他	2	—	—	—	—	—	50.0	—	50.0

ウ. 事業を利用していない理由【複数選択可】

「特に利用する必要がない」の割合が76.6%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が11.8%となっています。

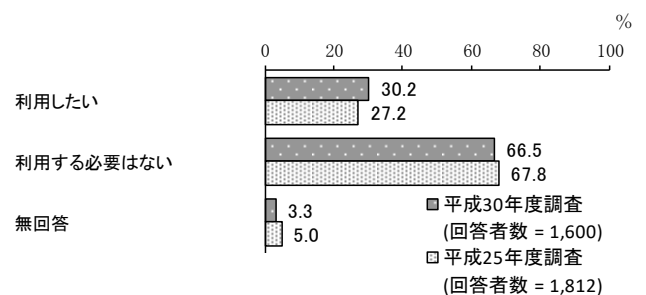


問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等のために、一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。利用したい場合は、利用目的と事業形態について、当てはまる記号すべてに○をつけ、目的別の1年間のおおよその利用希望日数も口内に数字（1枠に1字）で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

利用希望の有無【1つ選択】

「利用したい」の割合が30.2%、「利用する必要はない」の割合が66.5%となっています。

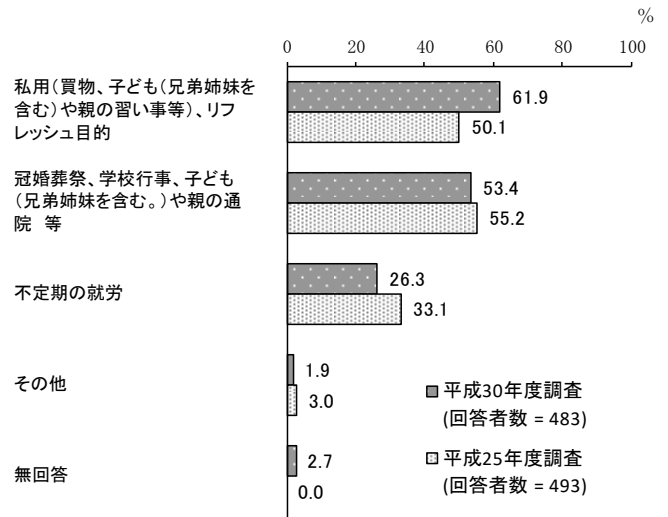
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 利用目的【複数選択可】

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が61.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む。）や親の通院 等」の割合が53.4%、「不定期の就労」の割合が26.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が増加しています。一方、「不定期の就労」の割合が減少しています。



イ. 目的別年間希望日数

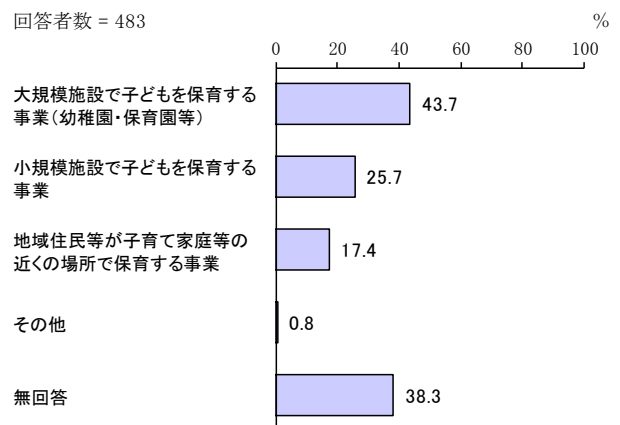
『ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的』、『ウ. 不定期の就労』で「10日～29日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日～9日	10日～29日	30日以上	無回答
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	299	6.0	7.0	13.4	2.3	24.4	32.1	3.0	11.7
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む。)や親の通院 等	258	5.4	8.5	18.2	1.6	27.9	19.4	-	19.0
ウ. 不定期の就労	127	0.8	3.1	8.7	3.1	25.2	29.1	8.7	21.3
エ. その他	9	-	-	11.1	-	22.2	33.3	11.1	22.2

ウ. 希望する事業形態【複数選択可】

「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育園等）」の割合が43.7%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が25.7%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」の割合が17.4%となっています。

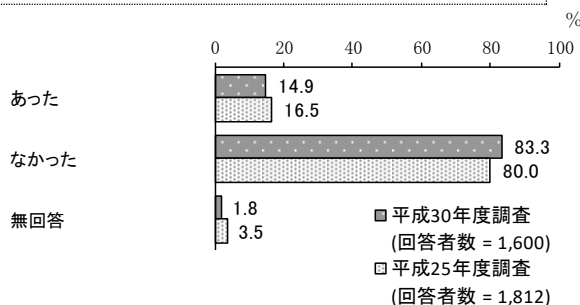


問 25 この1年間に保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字（1枠に1字）で記入してください。

必要性の有無【1つ選択】

「あった」の割合が14.9%、「なかった」の割合が83.3%となっています。

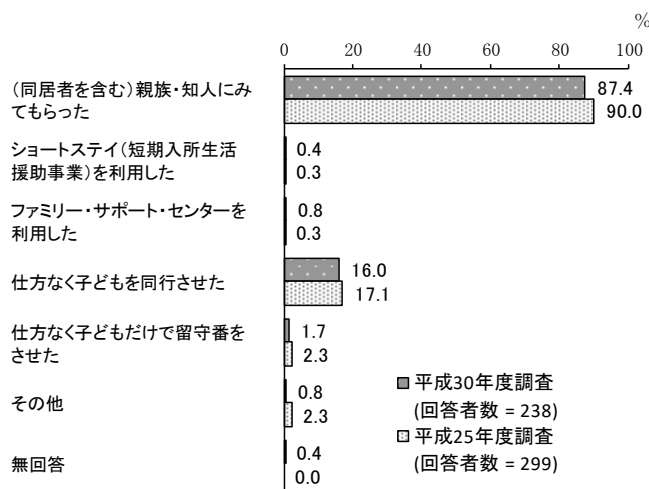
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 1年間の対処法【複数選択可】

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が87.4%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が16.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 対処法別年間日数

対処法別年間日数については、ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった、エ. 仕方なく子どもを同行させたともに「1泊」の割合が高くなっています。

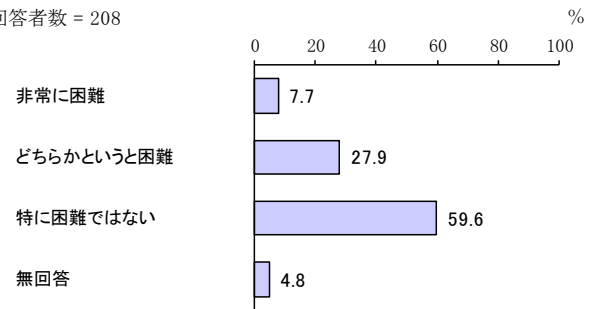
単位：%

区分	回答者数(件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊～9泊	10泊～29泊	30泊以上	無回答
ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	208	36.5	15.4	9.6	3.4	12.0	13.0	1.4	8.7
イ. ショートステイ(短期入所生活援助事業)を利用した	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-
ウ. ファミリー・サポート・センターを利用した	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
エ. 仕方なく子どもを同行させた	38	21.1	15.8	15.8	-	15.8	10.5	-	21.1
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	-
カ. その他	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0

問 25-1 問 25 で「ア. 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてく
ださい。

「特に困難ではない」の割合が 59.6% と最も高
く、次いで「どちらかというと困難」の割合が
27.9% となっています。

回答者数 = 208

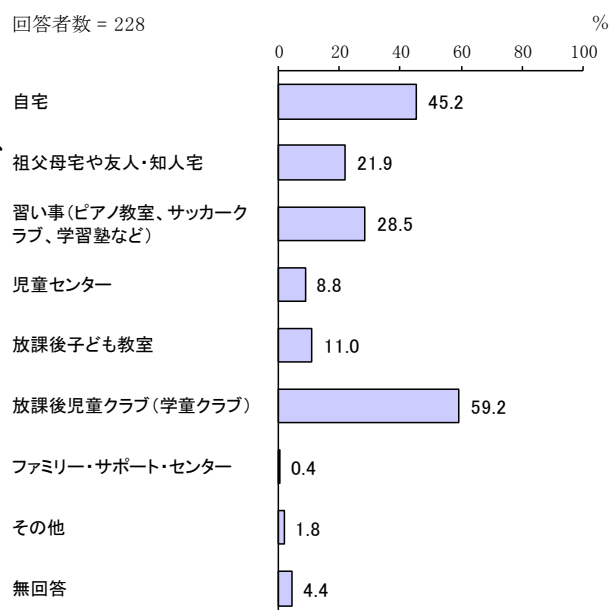


(9) 放課後の過ごし方

問 26 宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字（1枠に1字）で記入してください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字（1枠に1字）で記入してください。時間は（例）09時～18時のように24時間制で記入してください。

希望する場所【複数選択可】

「放課後児童クラブ（学童クラブ）」の割合が59.2%と最も高く、次いで「自宅」の割合が45.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が28.5%となっています。



【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、東和中学校で「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「児童センター」の割合が高くなっています。また、片山津中学校で「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ(学童クラブ)	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
錦城中学校	47	42.6	23.4	25.5	4.3	14.9	63.8	—	—	4.3
橋立中学校	4	100.0	—	25.0	—	—	25.0	—	—	—
片山津中学校	29	37.9	31.0	24.1	6.9	10.3	51.7	—	3.4	3.4
東和中学校	53	50.9	18.9	37.7	17.0	15.1	60.4	—	—	5.7
山代中学校	71	43.7	19.7	25.4	4.2	8.5	59.2	—	2.8	4.2
山中中学校	23	43.5	21.7	30.4	13.0	4.3	60.9	4.3	4.3	4.3

ア. 希望する場所別週当たりの希望日数

希望する場所別週当たりの希望日数について、『1. 自宅』、『6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）』で「5日」の割合が高くなっています。また、『3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「1日」「2日」の割合が高くなっています。

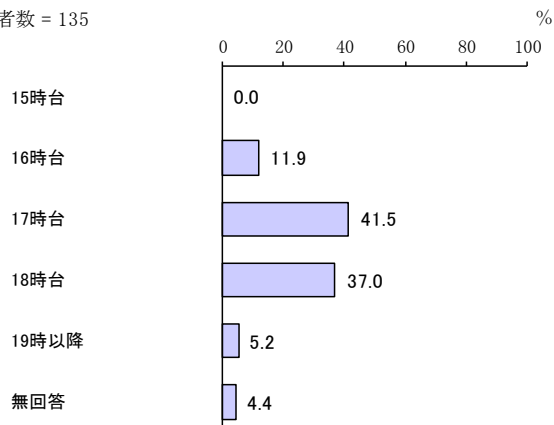
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	103	5.8	13.6	13.6	5.8	50.5	2.9	-	7.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	50	30.0	20.0	10.0	2.0	28.0	2.0	-	8.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	65	41.5	36.9	13.8	-	3.1	-	-	4.6
4. 児童センター	20	35.0	25.0	20.0	-	5.0	-	-	15.0
5. 放課後子ども教室	25	36.0	20.0	16.0	4.0	24.0	-	-	-
6. 放課後児童クラブ(学童クラブ)	135	2.2	4.4	10.4	7.4	65.2	5.9	-	4.4
7. ファミリー・サポート・センター	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
8. その他	4	50.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-

放課後児童クラブ（学童クラブ） 希望利用終了時刻

「17時台」の割合が41.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が37.0%、「16時台」の割合が11.9%となっています。

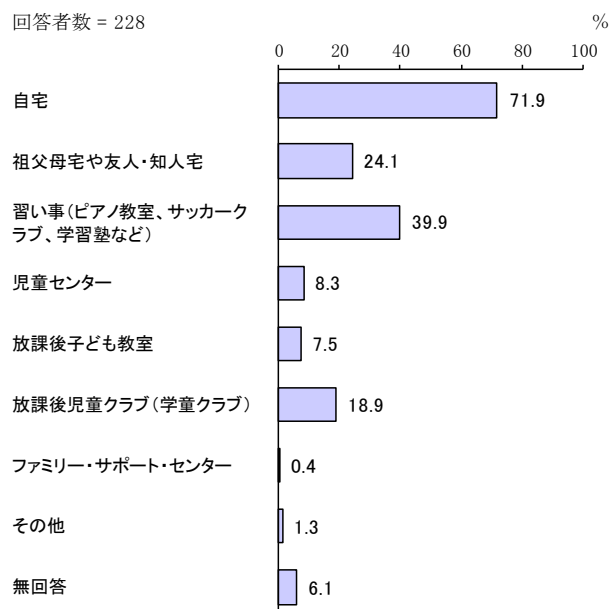
回答者数 = 135



問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字（1枠に1字）で記入してください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字（1枠に1字）で記入してください。時間は（例）09時～18時のように24時間制で記入してください。

希望する場所【複数選択可】

「自宅」の割合が71.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が39.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が24.1%となっています。



【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校、東和中学校で「自宅」の割合が高くなっています。また、東和中学校で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ(学童クラブ)	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
錦城中学校	47	68.1	29.8	42.6	4.3	12.8	21.3	—	—	8.5
橋立中学校	4	100.0	—	25.0	—	—	—	—	—	—
片山津中学校	29	75.9	17.2	27.6	3.4	10.3	17.2	—	3.4	6.9
東和中学校	53	79.2	24.5	47.2	15.1	7.5	7.5	—	—	5.7
山代中学校	71	66.2	23.9	39.4	4.2	4.2	23.9	—	1.4	5.6
山中中学校	23	69.6	26.1	39.1	17.4	4.3	26.1	4.3	4.3	4.3

希望する場所別週当たりの希望日数

希望する場所別週当たりの希望日数について、『1. 自宅』、『6. 放課後児童クラブ(学童クラブ)』で「5日」の割合が高くなっています。また、『3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)』で「2日」の割合が、『5. 放課後子ども教室』で「1日」の割合が高くなっています。

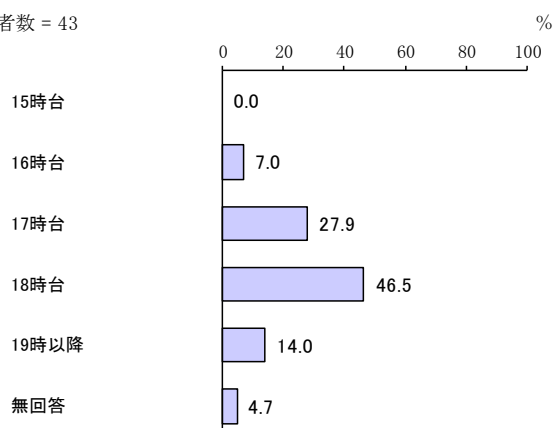
単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	164	1.8	11.0	13.4	6.1	54.3	3.7	3.0	6.7
2. 祖父母宅や友人・知人宅	55	23.6	23.6	12.7	1.8	25.5	5.5	-	7.3
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	91	23.1	41.8	24.2	1.1	4.4	-	-	5.5
4. 児童センター	19	31.6	15.8	21.1	5.3	5.3	-	-	21.1
5. 放課後子ども教室	17	41.2	23.5	17.6	5.9	5.9	-	-	5.9
6. 放課後児童クラブ(学童クラブ)	43	2.3	9.3	14.0	7.0	55.8	7.0	-	4.7
7. ファミリー・サポート・センター	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
8. その他	3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	33.3

放課後児童クラブ(学童クラブ) 希望利用終了時刻

「18時台」の割合が46.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が27.9%、「19時以降」の割合が14.0%となっています。

回答者数 = 43

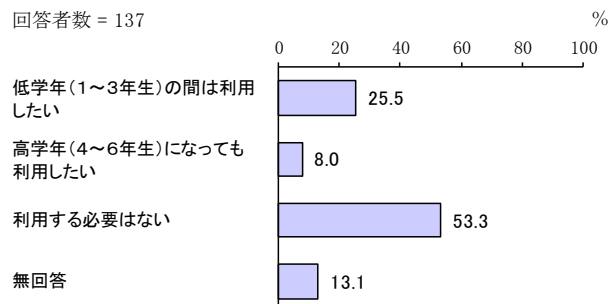


問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」に○をつけた方
うかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期
の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号そ
れぞれ1つに○をつけてください。利用を希望する（「1」または「2」の）場合
は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制で□内に数字（1
枠に1字）で記入してください。

（1）土曜日

「利用する必要はない」の割合が53.3%と最も
高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用
したい」の割合が25.5%となっています。



【圏域（中学校区）別】

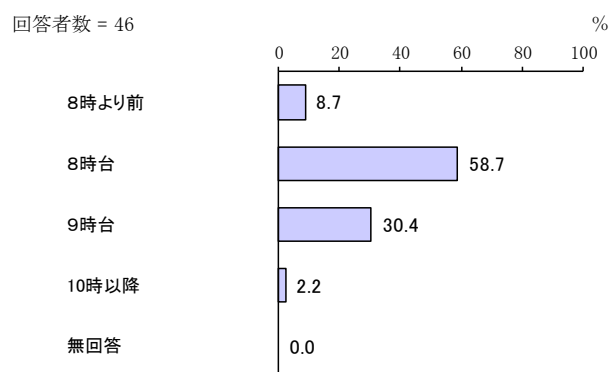
圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「利用する必要はない」の割合が高
くなっています。また、山代中学校で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が高
くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	低学年(1~3年生) の間は利用したい	高学年(4~6年生) になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
錦城中学校	30	26.7	3.3	53.3	16.7
橋立中学校	1	—	—	—	100.0
片山津中学校	17	5.9	5.9	70.6	17.6
東和中学校	32	25.0	9.4	50.0	15.6
山代中学校	42	35.7	9.5	47.6	7.1
山中中学校	14	21.4	14.3	57.1	7.1

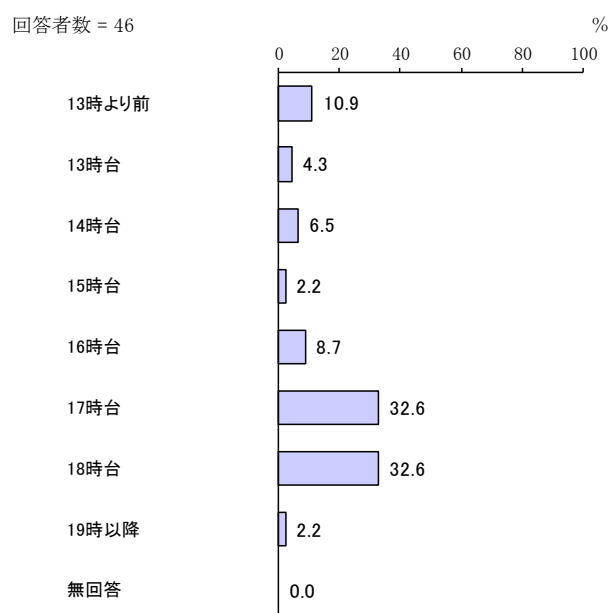
ア. 利用希望時間 利用開始時刻

「8時台」の割合が58.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が30.4%となっています。



イ. 利用希望時間 利用終了時刻

「17時台」、「18時台」の割合が32.6%と最も高く、次いで「13時より前」の割合が10.9%となっています。



(2) 日・祝日

「利用する必要はない」の割合が71.5%と最も高くなっています。

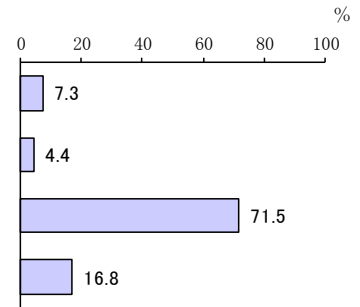
回答者数 = 137

低学年(1~3年生)の間は利用したい

高学年(4~6年生)になっても利用したい

利用する必要はない

無回答



ア. 利用希望時間 利用開始時刻

「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が31.3%、「10時以降」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 16

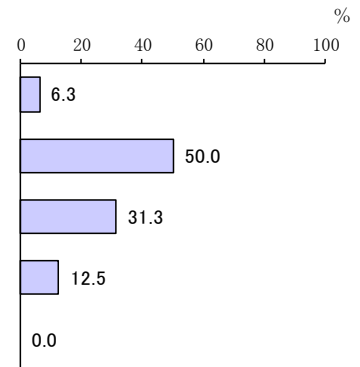
8時より前

8時台

9時台

10時以降

無回答



イ. 利用希望時間 利用終了時刻

「17時台」、「18時台」の割合が37.5%と最も高く、次いで「16時台」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 16

13時より前

13時台

14時台

15時台

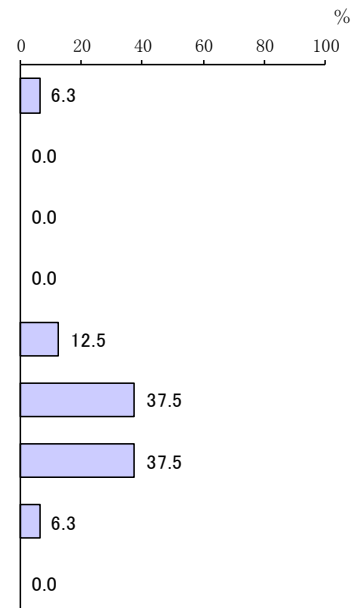
16時台

17時台

18時台

19時以降

無回答

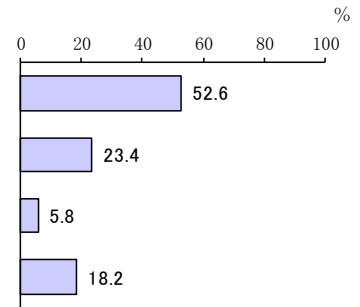


(3) 長期休暇(春・夏・冬休み)

「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が52.6%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が23.4%となっています。

回答者数 = 137

低学年(1～3年生)の間は利用したい
高学年(4～6年生)になっても利用したい
利用する必要はない
無回答

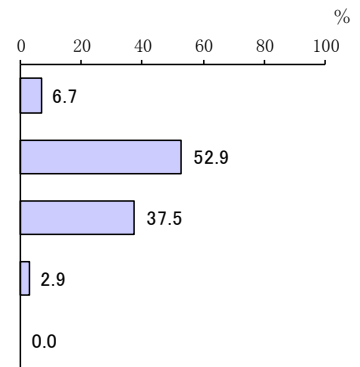


ア. 利用希望時間 利用開始時刻

「8時台」の割合が52.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が37.5%となっています。

回答者数 = 104

8時より前
8時台
9時台
10時以降
無回答

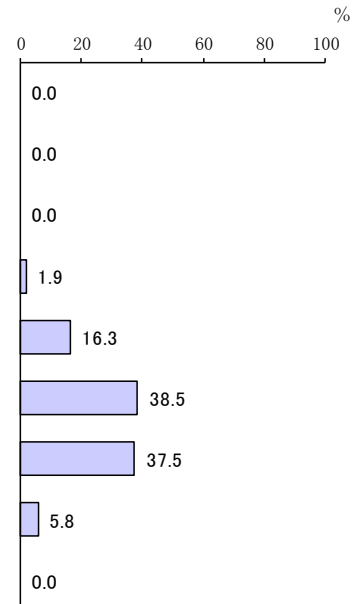


イ. 利用希望時間 利用終了時刻

「17時台」の割合が38.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が37.5%、「16時台」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 104

13時より前
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
19時以降
無回答



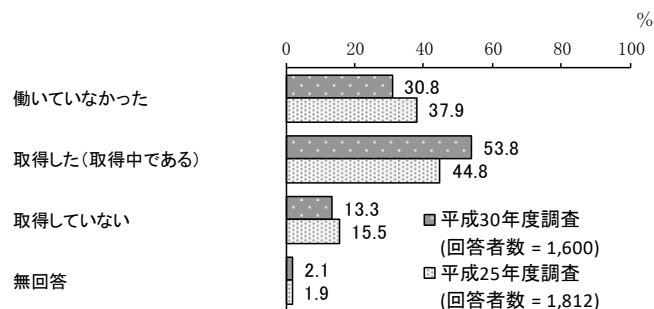
(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

問 29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3. 取得していない」場合は、その理由に当てはまる番号を下欄から選び、〔 〕内に数字で記入してください。

母親【1つ選択】

「取得した（取得中である）」の割合が53.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が30.8%、「取得していない」の割合が13.3%となっています。

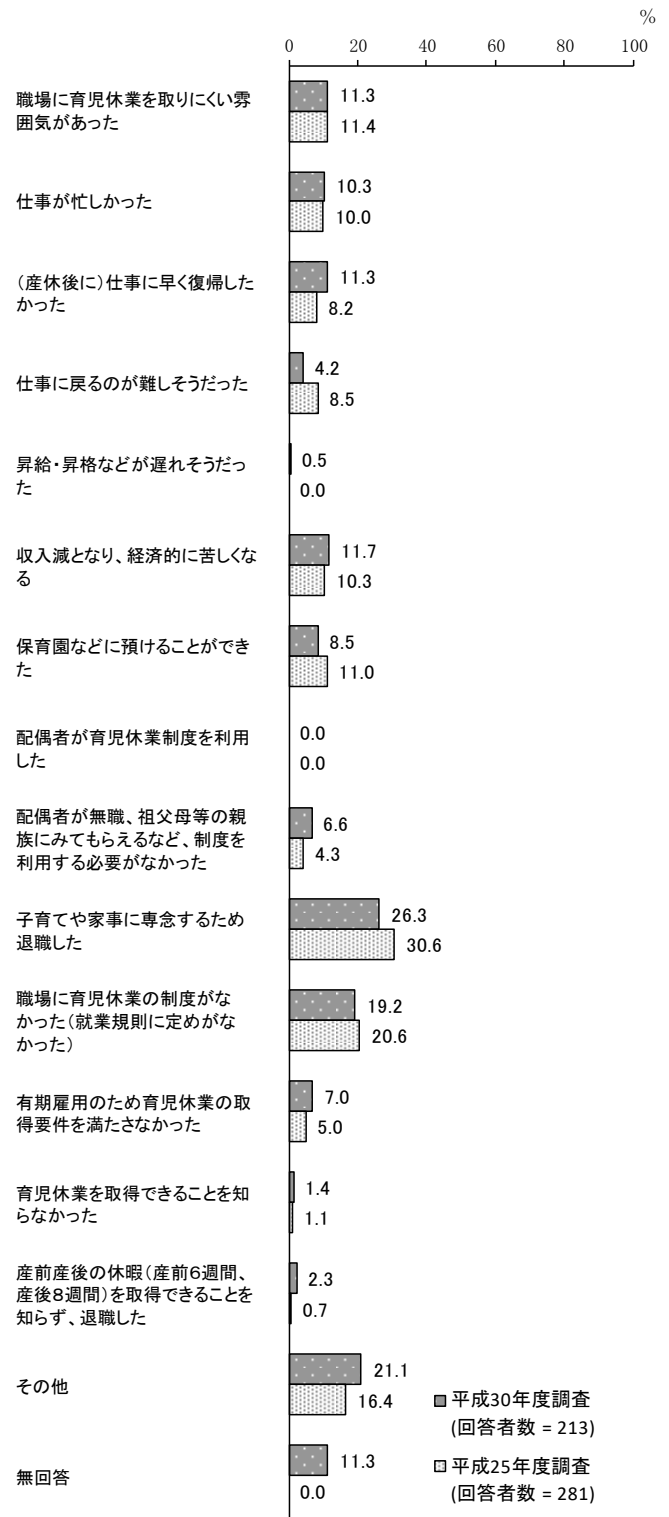
平成25年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



取得していない理由（下から当てはまる番号をすべて選んで記入してください）

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が26.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が19.2%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が11.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



父親【1つ選択】

「取得していない」の割合が83.4%と最も高くなっています。

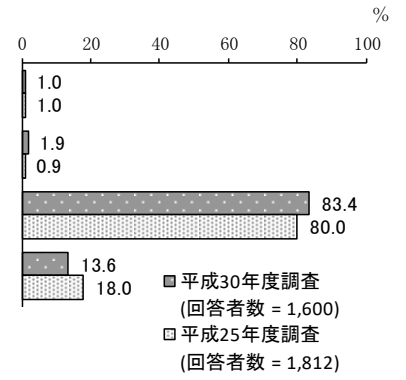
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

働いていなかった

取得した(取得中である)

取得していない

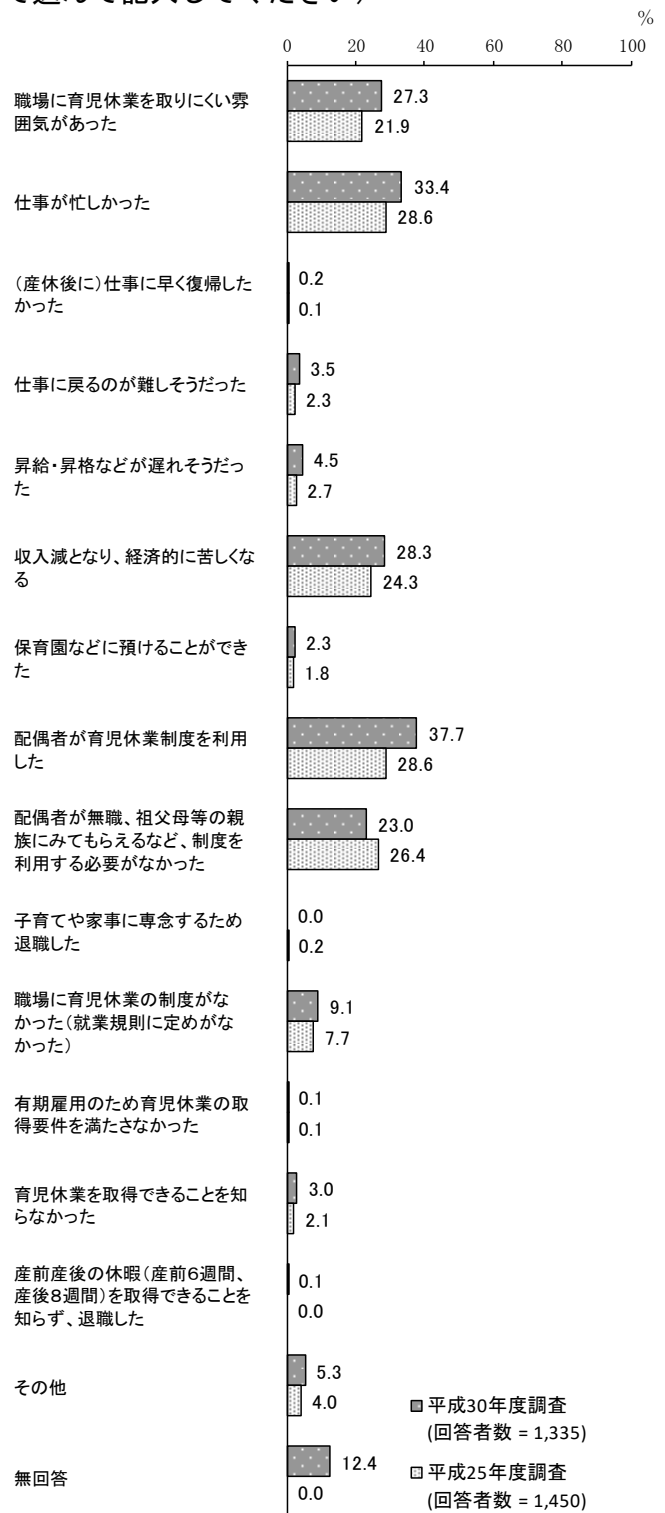
無回答



取得していない理由（下から当てはまる番号をすべて選んで記入してください）

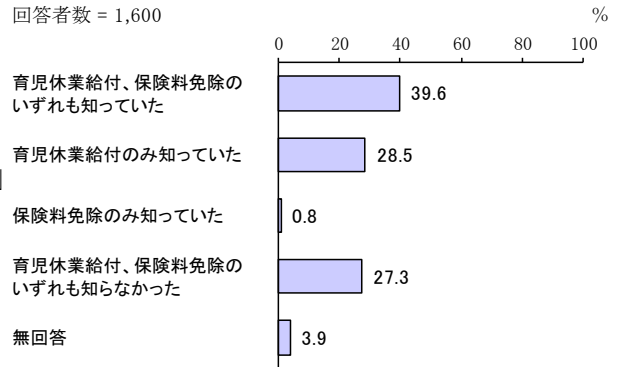
「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が37.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が33.4%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が28.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。



問 29-1 子どもが原則1歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

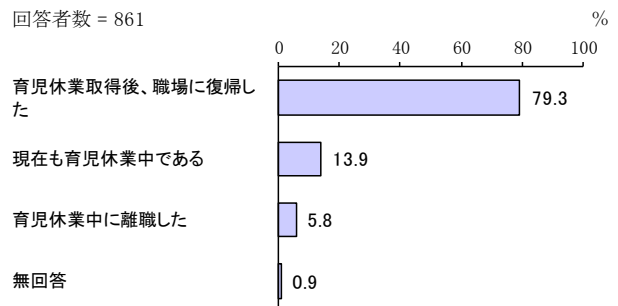
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が39.6%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」の割合が28.5%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が27.3%となっています。



問 29-2 問 29 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

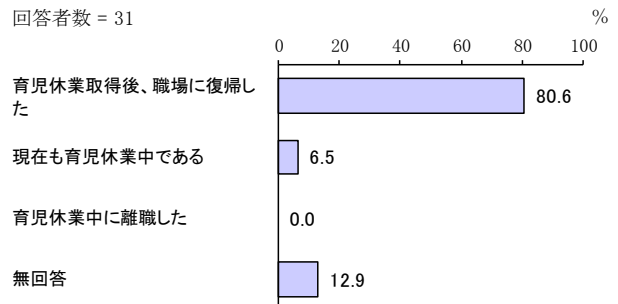
ア. 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が79.3%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が13.9%となっています。



イ. 父親

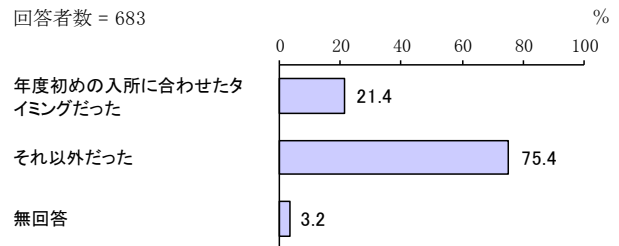
「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が80.6%と最も高くなっています。



問 29-3 問 29-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

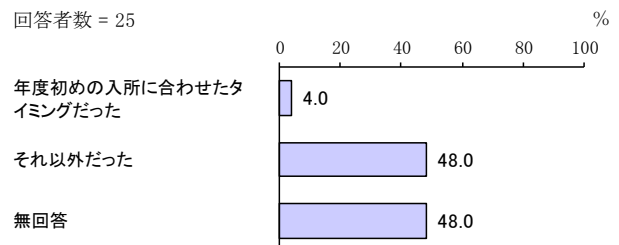
ア. 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が21.4%、「それ以外だった」の割合が75.4%となっています。



イ. 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が4.0%、「それ以外だった」の割合が48.0%となっています。

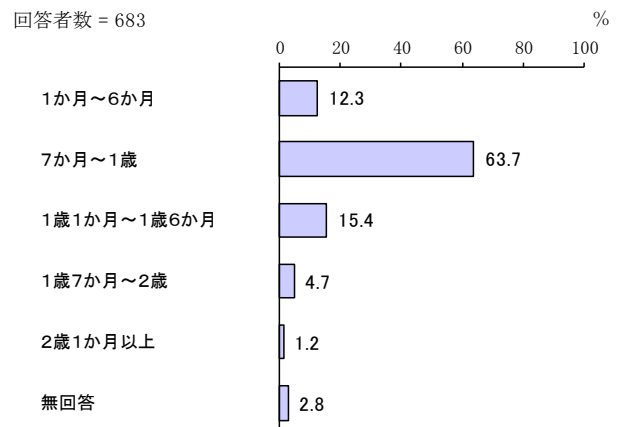


問 29-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字（1枠に1字）で記入してください。

ア. 母親

(ア) 実際の取得期間

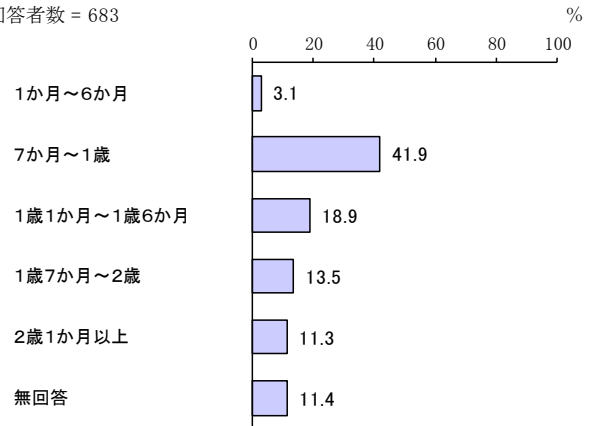
「7か月～1歳」の割合が63.7%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が15.4%、「1か月～6か月」の割合が12.3%となっています。



(イ) 希望

「7か月～1歳」の割合が41.9%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が18.9%、「1歳7か月～2歳」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 683

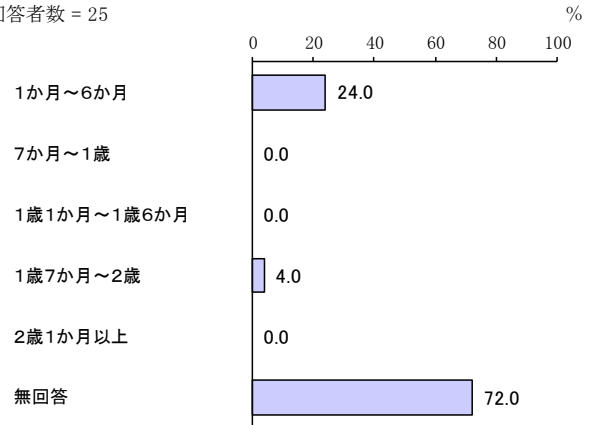


イ. 父親

(ア) 実際の取得期間

「1か月～6か月」の割合が24.0%と最も高くなっています。

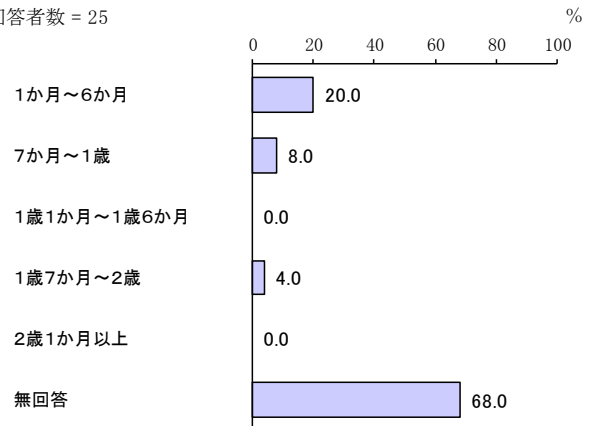
回答者数 = 25



(イ) 希望

「1か月～6か月」の割合が20.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 25

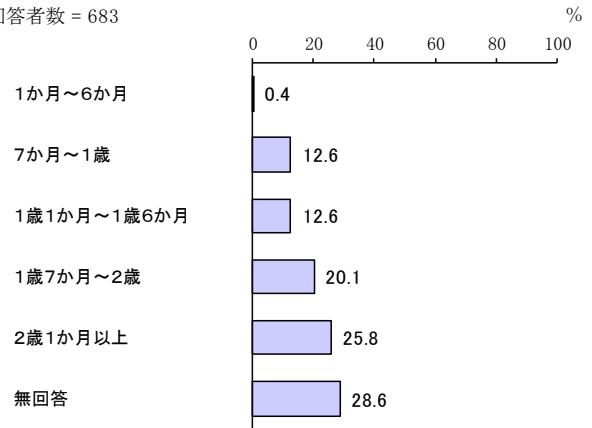


問 29-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字（1枠に1字）で記入してください。

ア. 母親

「2歳1か月以上」の割合が25.8%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が20.1%、「7か月～1歳」、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が12.6%となっています。

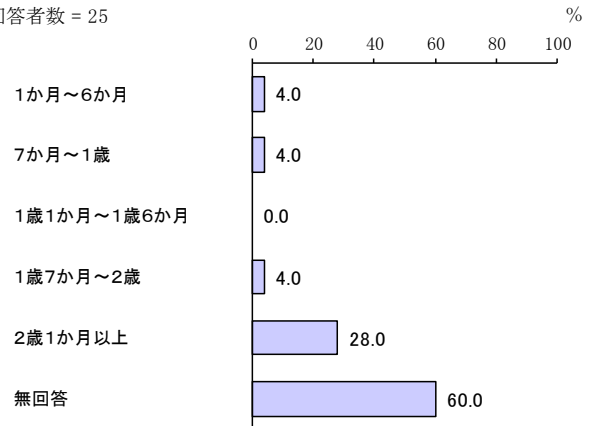
回答者数 = 683



イ. 父親

「2歳1か月以上」の割合が28.0%と最も高くなっています。

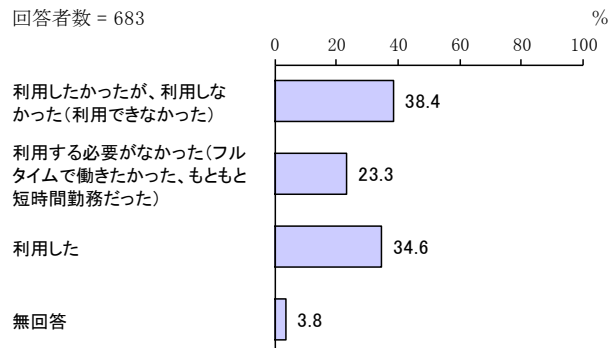
回答者数 = 25



問 29-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「1. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ場合は、その理由について当てはまる記号すべてに○をつけてください。

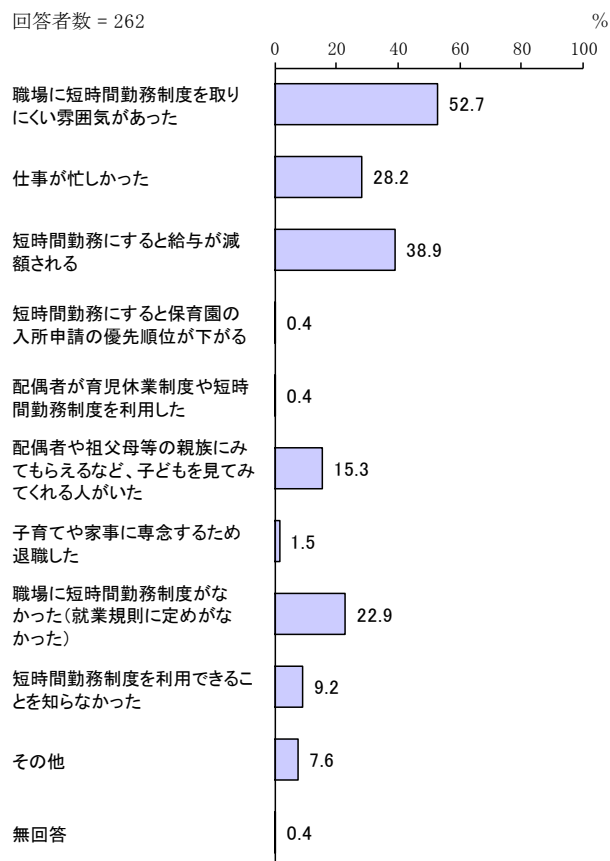
ア. 母親

「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が38.4%と最も高く、次いで「利用した」の割合が34.6%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が23.3%となっています。



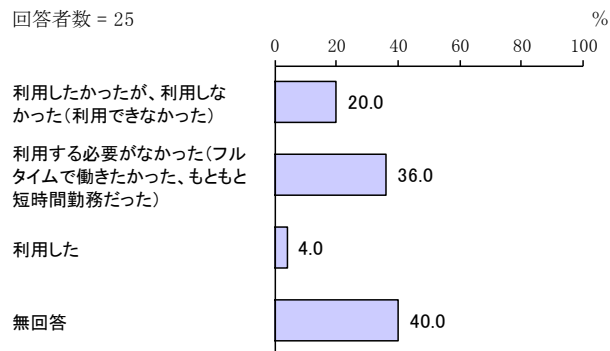
理由【複数選択可】

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が52.7%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が38.9%、「仕事が忙しかった」の割合が28.2%となっています。



イ. 父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が36.0%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が20.0%となっています。



理由【複数選択可】

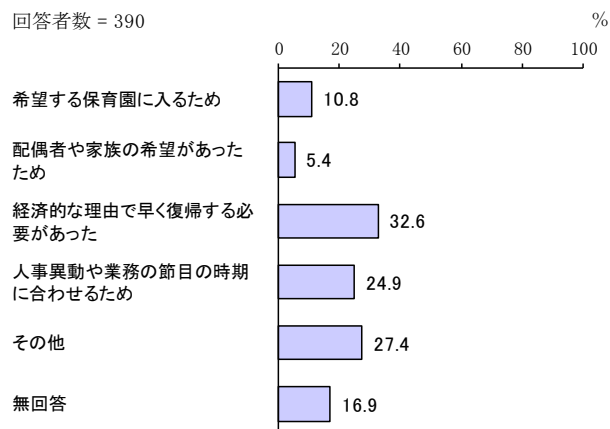
「仕事が忙しかった」が3件となっています。また、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」、「配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもを見てみてくれる人がいた」が1件となっています。

問 29-7 問 29-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

ア. 「希望」より早く復帰した（当てはまる番号すべてに○をつけてください。）

(ア) 母親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が32.6%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が24.9%、「希望する保育園に入るため」の割合が10.8%となっています。



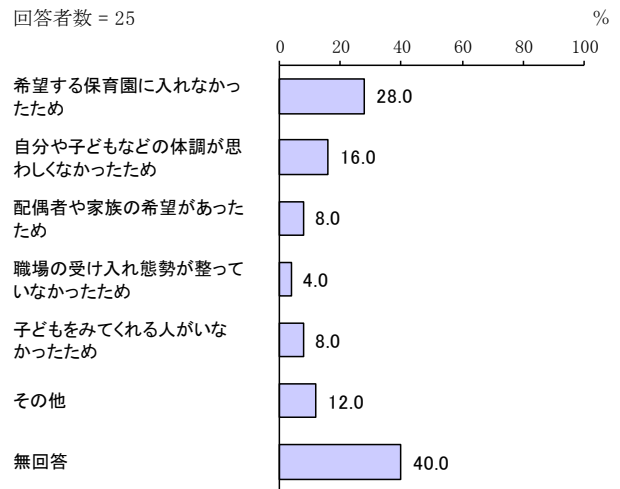
(イ) 父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が2件となっています。また、「配偶者や家族の希望があったため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が1件となっています。

イ. 「希望」より遅く復帰した（当てはまる番号すべてに○をつけてください。）

(ア) 母親

「希望する保育園に入れなかったため」の割合が28.0%と最も高く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」の割合が16.0%となっています。



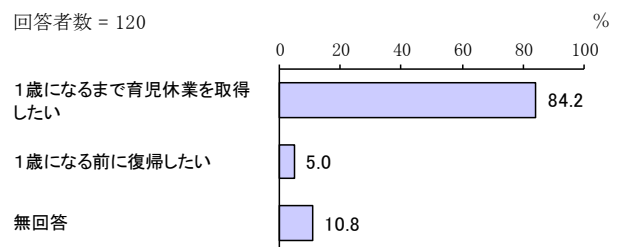
(イ) 父親

有効回答がありませんでした。

問 29-8 問 29-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育・教育の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア. 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が84.2%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が5.0%となっています。



イ. 父親

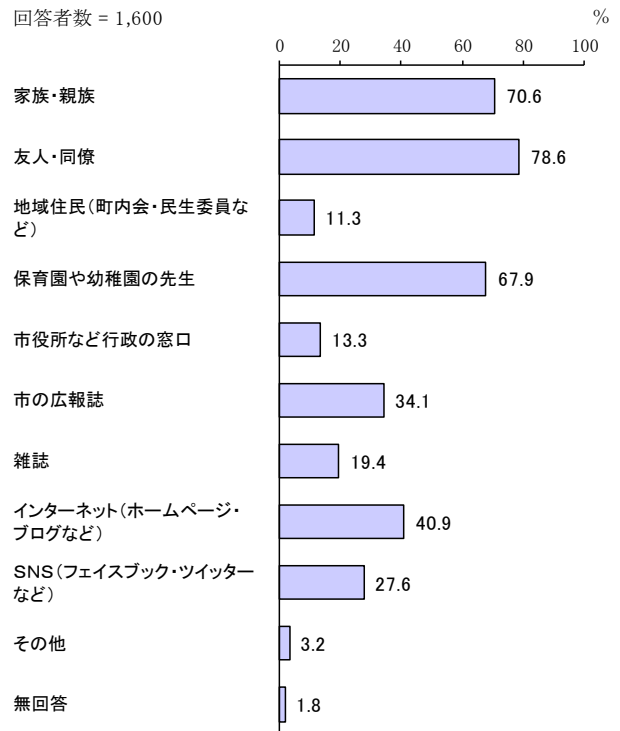
「1歳になるまで育児休業を取得したい」、「1歳になる前に復帰したい」が1件となっています。

(11) 子育てに関する意識等

問 30 あなたは、子育てに関する情報を誰（どこ）から手に入れますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

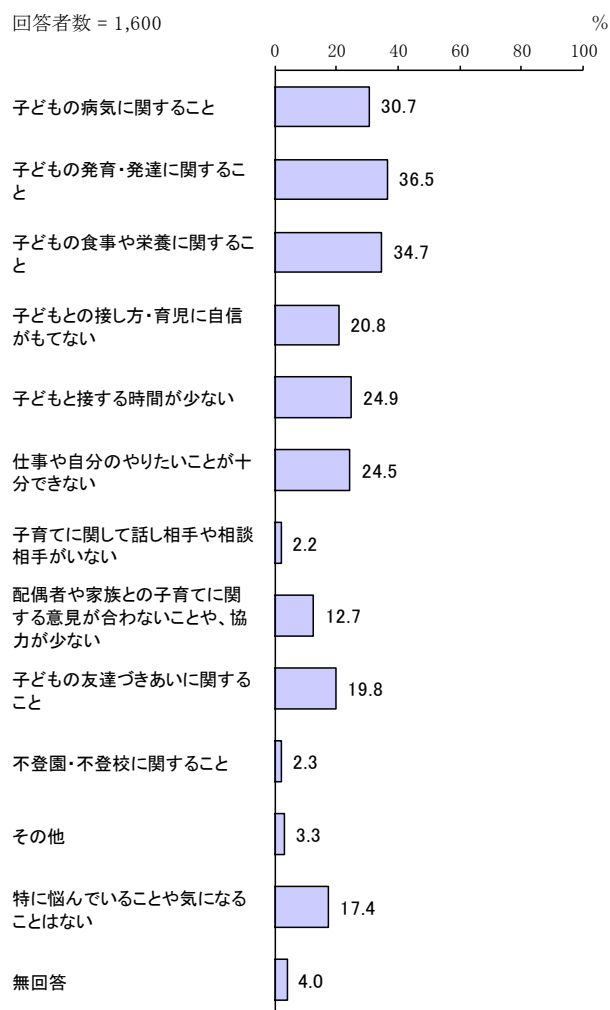
「友人・同僚」の割合が78.6%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が70.6%、「保育園や幼稚園の先生」の割合が67.9%となっています。

回答者数 = 1,600



問 31 子育てについて、日頃悩んでいることや不安に思っていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

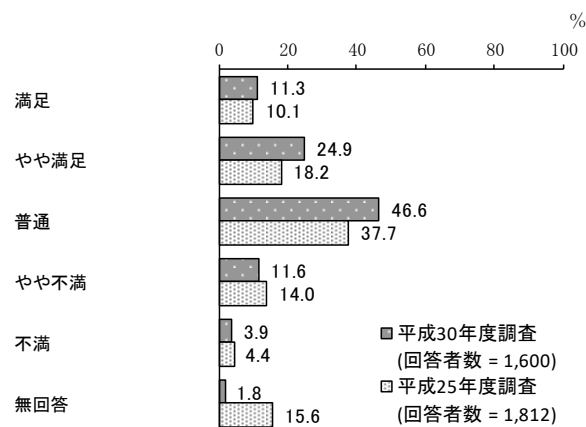
「子どもの発育・発達に関すること」の割合が36.5%と最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」の割合が34.7%、「子どもの病気に関すること」の割合が30.7%となっています。



問 32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が36.2%、「普通」の割合が46.6%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が15.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、“満足”、“普通”の割合が増加しています。

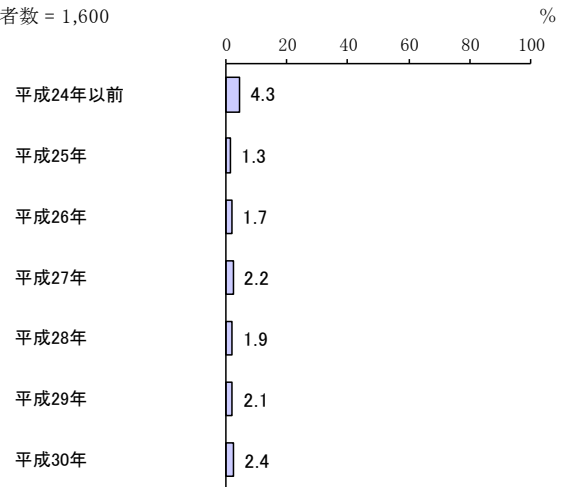


問 33 最後に、加賀市の保育・教育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

転入の時期

「平成 24 年以前」の割合が 4.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,600



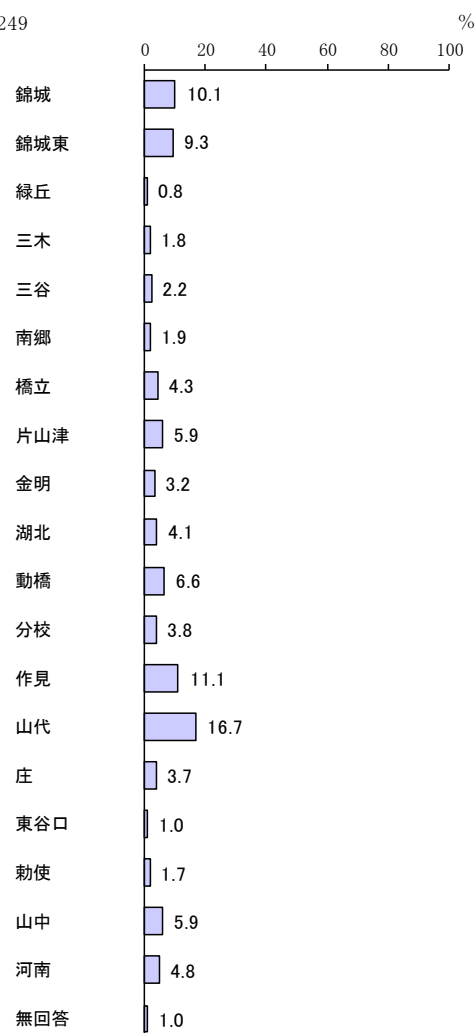
2 小学生の保護者

(1) 子どもと家族の状況

問1 お住まいの小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

「山代」の割合が16.7%と最も高く、次いで「作見」の割合が11.1%、「錦城」の割合が10.1%となっています。

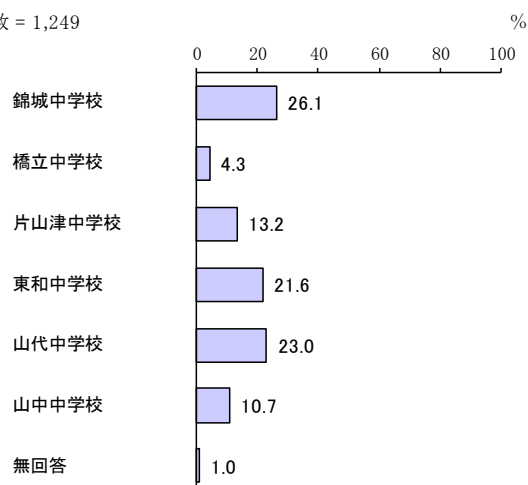
回答者数 = 1,249



圏域（中学校区別）

圏域については、「錦城中学校」の割合が26.1%と最も高く、次いで「山代中学校」の割合が23.0%、「東和中学校」の割合が21.6%となっています。

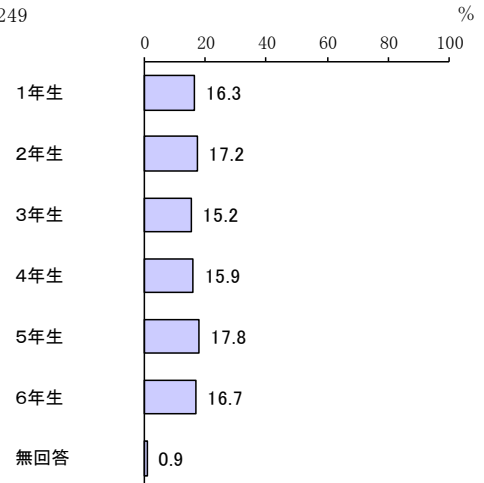
回答者数 = 1,249



問2 宛名のお子さんの学年を口内に数字（1枠に1字）で記入してください。

「5年生」の割合が17.8%と最も高く、次いで「2年生」の割合が17.2%、「6年生」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 1,249

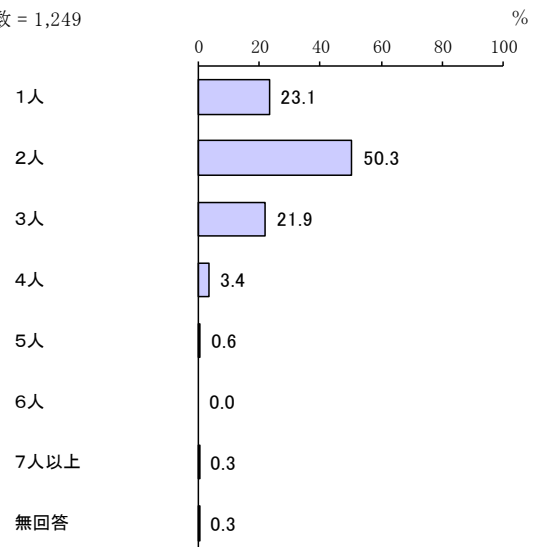


問3 宛名のお子さんを含めて、あなたのお子さんは何人いらっしゃいますか。それぞれのお子さんの生年月も合わせて口内に数字（1枠に1字）で記入してください。

ア. 子どもの人数

「2人」の割合が50.3%と最も高く、次いで「1人」の割合が23.1%、「3人」の割合が21.9%となっています。

回答者数 = 1,249

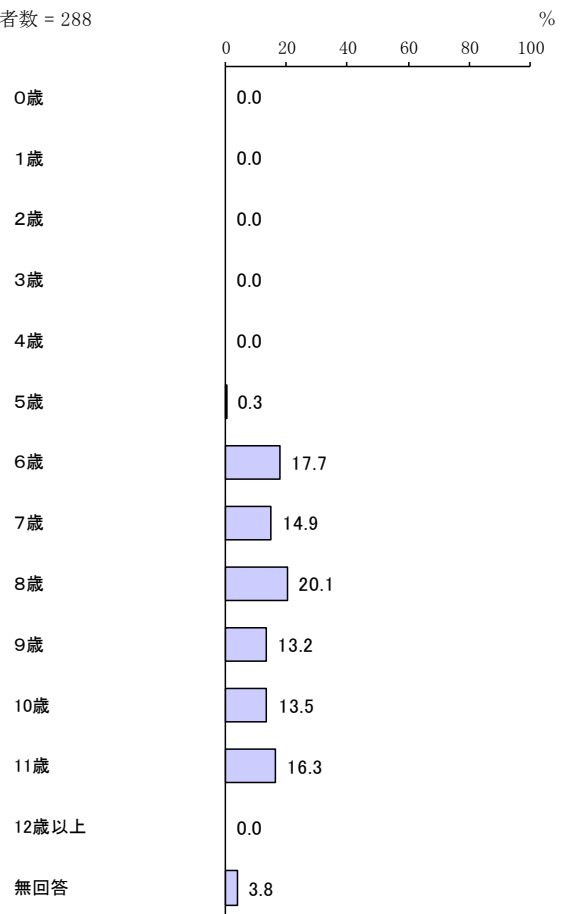


イ. 子どもの年齢

(ア) 1番上の子

「8歳」の割合が20.1%と最も高く、次いで「6歳」の割合が17.7%、「11歳」の割合が16.3%となっています。

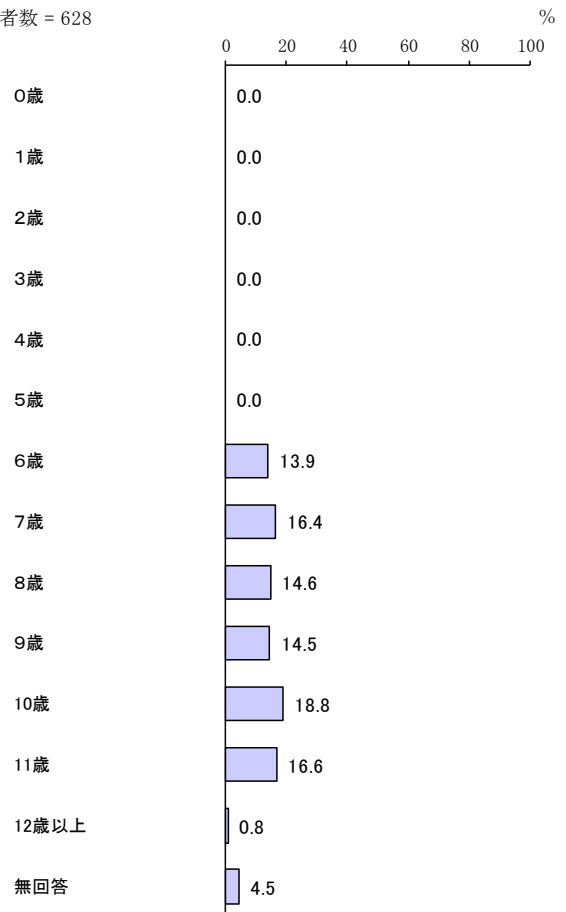
回答者数 = 288



(イ) 上から2番目の子

「10歳」の割合が18.8%と最も高く、次いで「11歳」の割合が16.6%、「7歳」の割合が16.4%となっています。

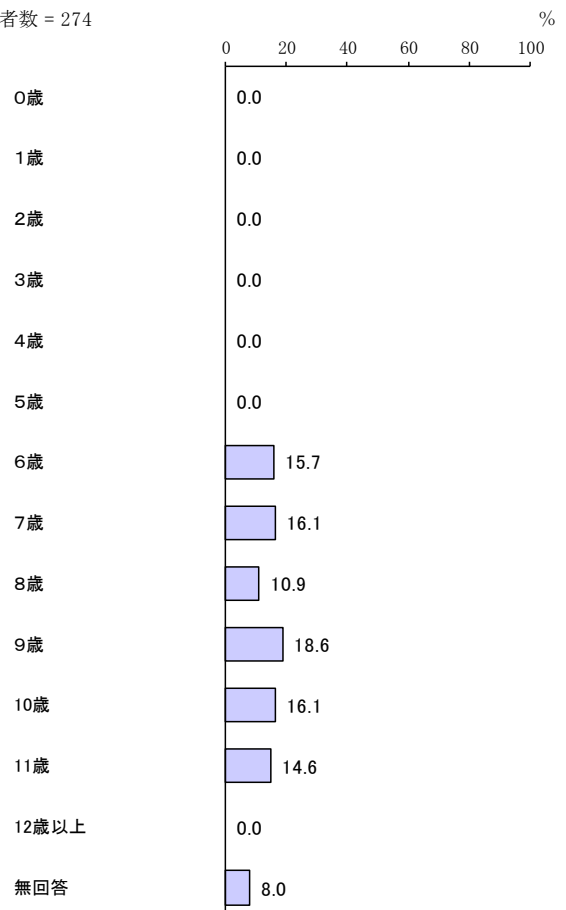
回答者数 = 628



(ウ) 上から3番目の子

「9歳」の割合が18.6%と最も高く、次いで「7歳」、「10歳」の割合が16.1%となっています。

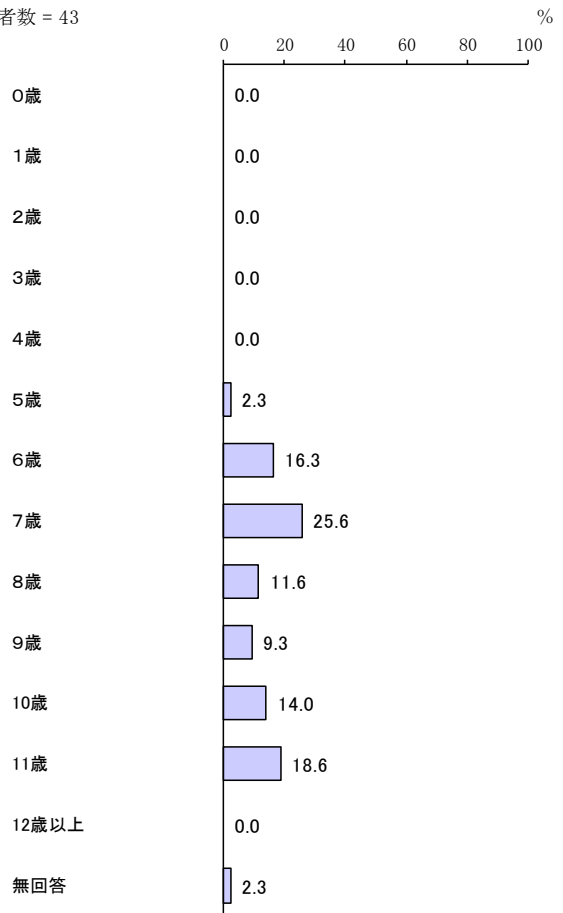
回答者数 = 274



(エ) 上から4番目の子

「7歳」の割合が25.6%と最も高く、次いで「11歳」の割合が18.6%、「6歳」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 43



(オ) 上から5番目の子

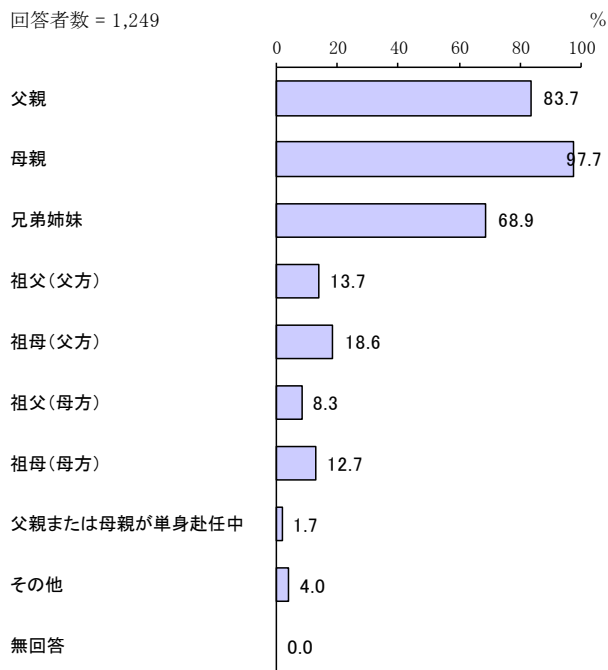
「9歳」が3件となっています。「8歳」が2件、「6歳」、「10歳」が1件となっています。

(カ) 上から6番目の子

有効回答がありませんでした。

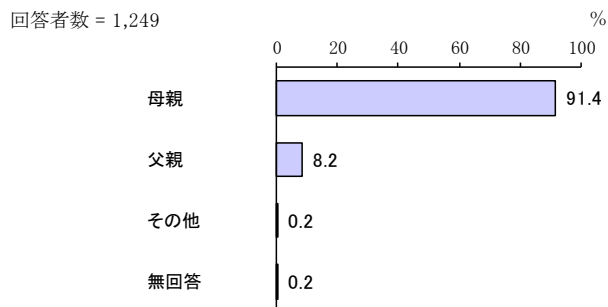
問4 宛名のお子さんからみた世帯構成について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「母親」の割合が 97.7%と最も高く、次いで「父親」の割合が 83.7%、「兄弟姉妹」の割合が 68.9%となっています。



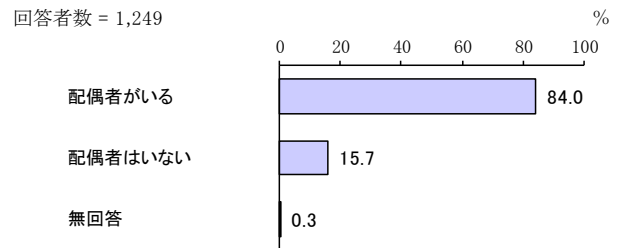
問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が 91.4%、「父親」の割合が 8.2%となっています。



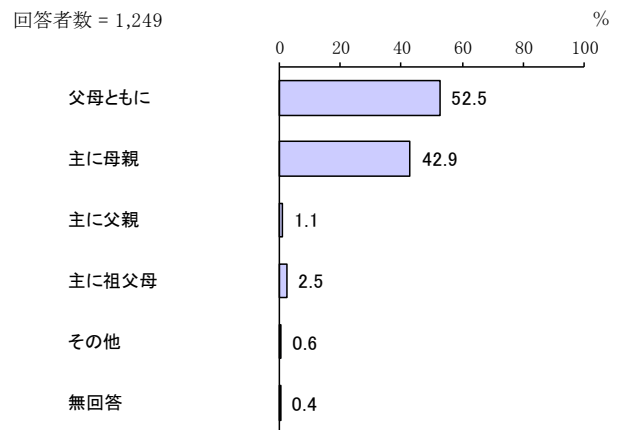
問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が84.0%、「配偶者がいない」の割合が15.7%となっています。



問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が52.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が42.9%となっています。

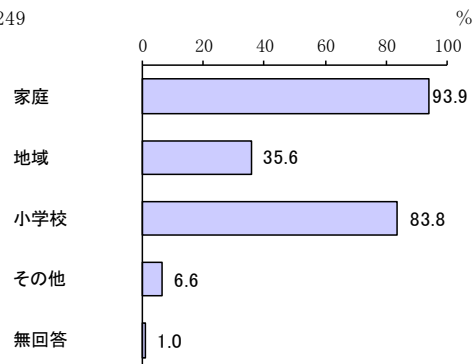


(2) 子どもの育ちをめぐる環境

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が93.9%と最も高く、次いで「小学校」の割合が83.8%、「地域」の割合が35.6%となっています。

回答者数 = 1,249

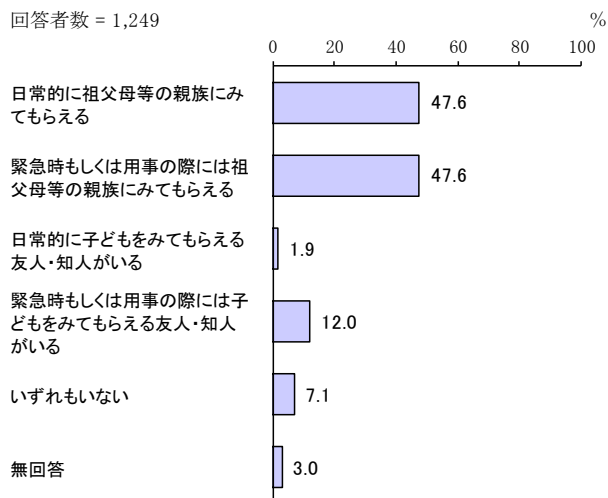


問9 両親以外で、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」～「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方は、預かってもらうことに関する負担の状況について当てはまる記号すべてに○をつけてください。

預かってもらえる人の有無

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が47.6%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が12.0%となっています。

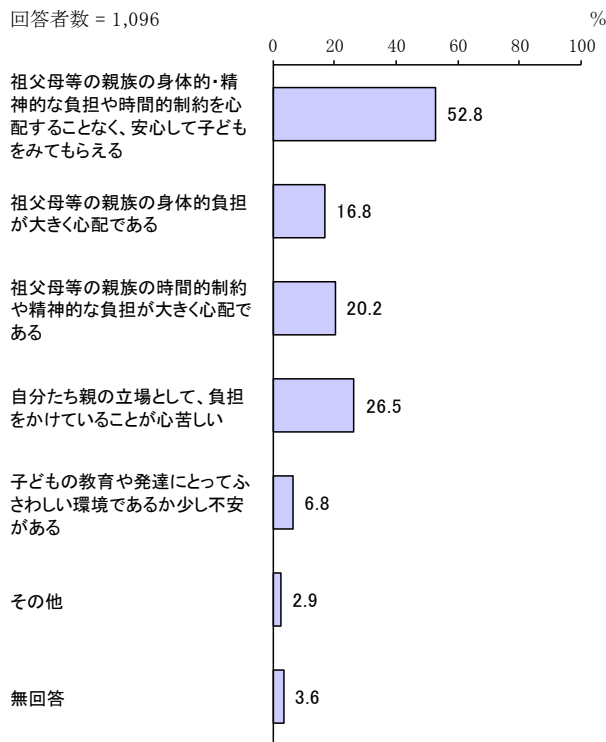
回答者数 = 1,249



ア. 預かってもらうことに関する負担の状況【複数選択可】

（「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した人）

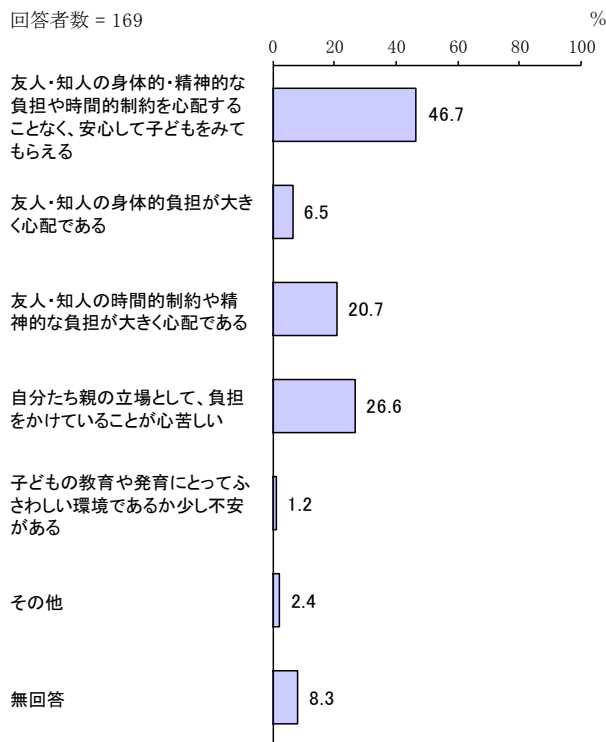
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が52.8%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が26.5%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が20.2%となっています。



イ. 預かってもらうことに関する負担の状況【複数選択可】

（「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」、「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した人）

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が46.7%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が26.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が20.7%となっています。

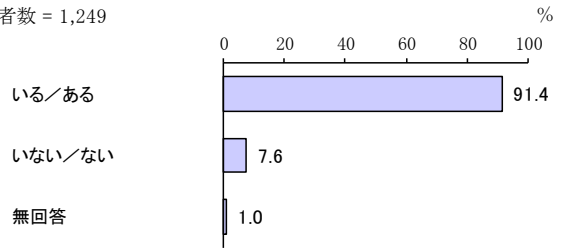


問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所
 がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。ある場合は、相談先
 は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

相談先の有無【1つ選択】

「いる／ある」の割合が91.4%、「いない／ない」の割合が7.6%となっています。

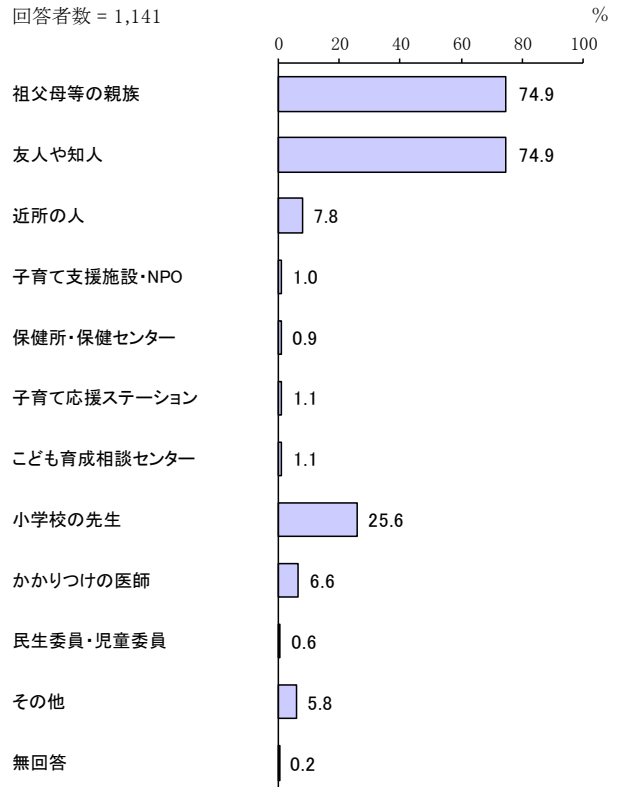
回答者数 = 1,249



相談相手（場所）【複数選択可】

「祖父母等の親族」、「友人や知人」の割合が74.9%と最も高く、次いで「小学校の先生」の割合が25.6%となっています。

回答者数 = 1,141



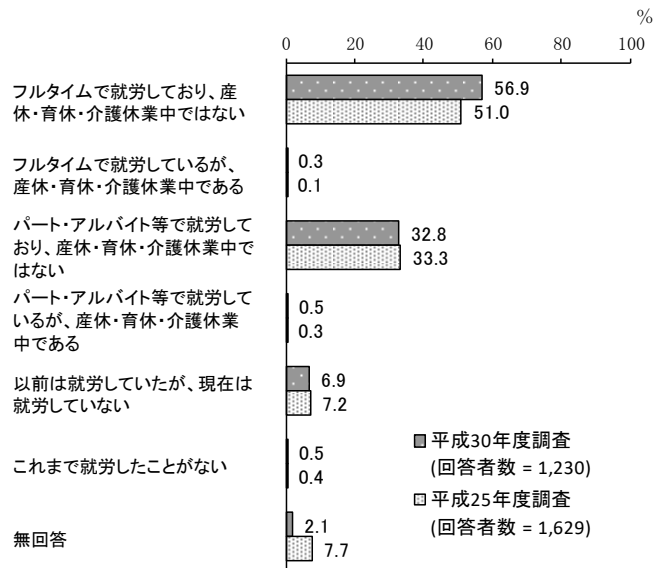
(3) 保護者の就労状況

問 11 母親の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。時間は、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制で□内に数字 (1 枠に 1 字) を記入してください。

母親の就労状況【1つ選択】

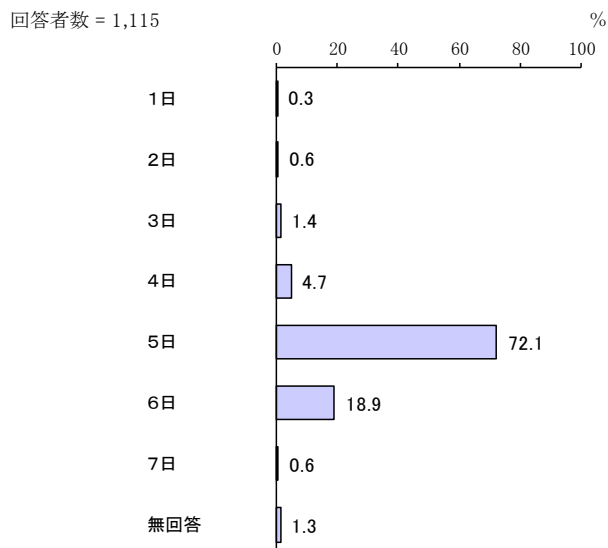
「フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 56.9% と最も高く、次いで「パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 32.8% となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



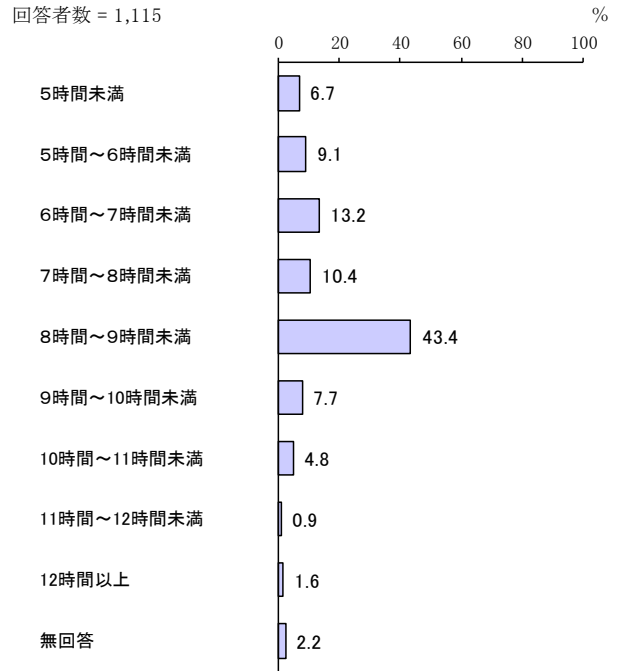
ア. 1 週当たりの日数

「5 日」の割合が 72.1% と最も高く、次いで「6 日」の割合が 18.9% となっています。



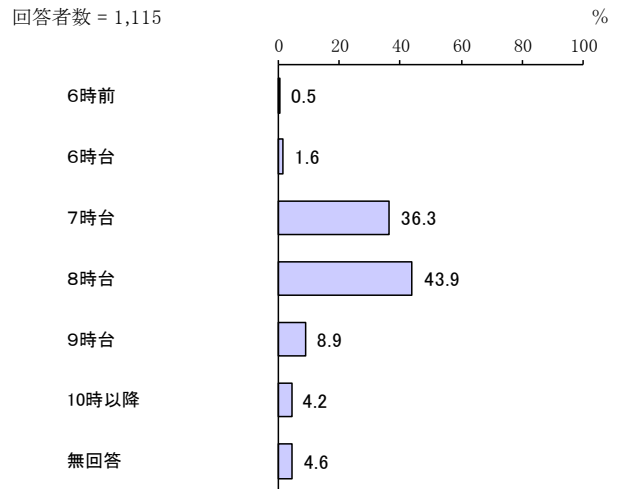
イ. 1日当たりの時間数

「8時間～9時間未満」の割合が43.4%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が13.2%、「7時間～8時間未満」の割合が10.4%となっています。



ウ. 家を出る時間

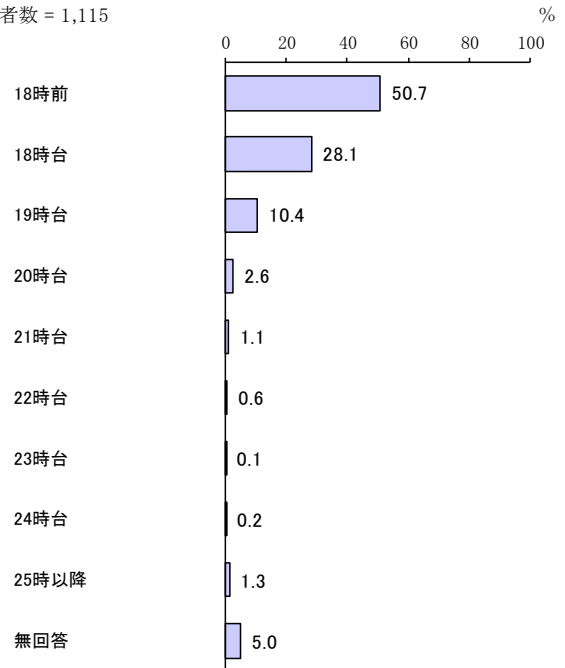
「8時台」の割合が43.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が36.3%となっています。



エ. 帰宅時間

「18 時前」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 28.1%、「19 時台」の割合が 10.4%となっています。

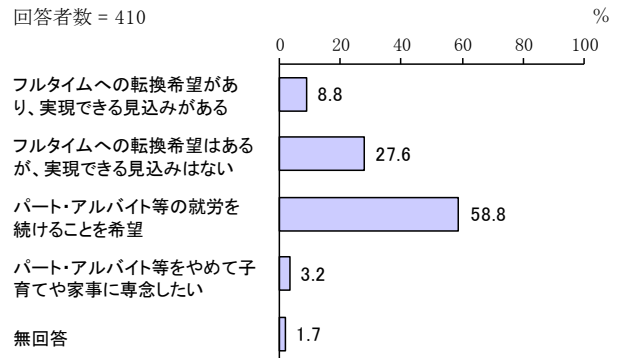
回答者数 = 1,115



問 11-1 問 11 で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

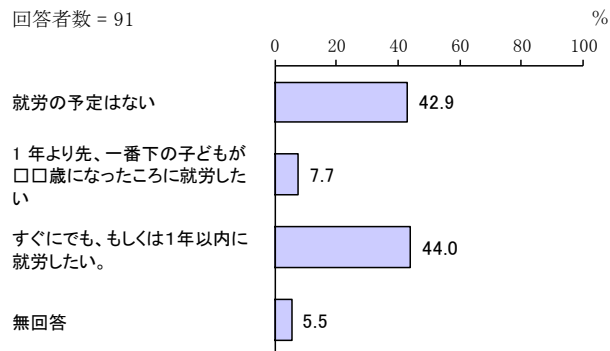
「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 27.6%となっています。

回答者数 = 410



問 11-2 問 11 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内に数字（1枠に1字）を記入してください。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい。」の割合が44.0%と最も高く、次いで「就労の予定はない」の割合が42.9%となっています。



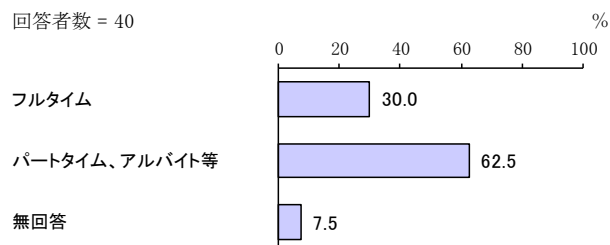
ア. 就労したいときの子どもの年齢

（「1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい」と回答した人）

「12歳～13歳」が4件、「10歳～11歳」が2件、「6歳～7歳」が1件となっています。

イ. 希望する就労形態

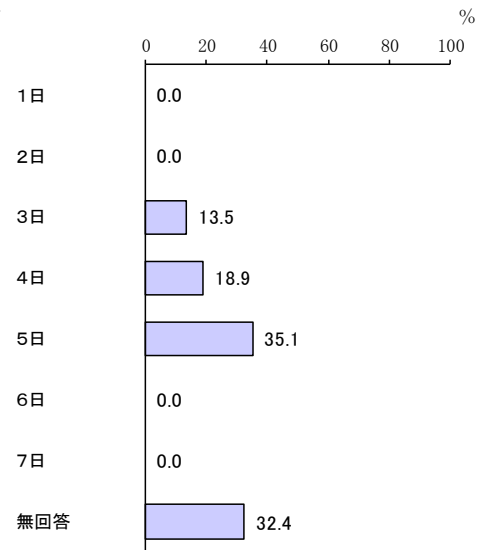
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が30.0%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が62.5%となっています。



(ア) 1週当たりの日数

「5日」の割合が35.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が18.9%、「3日」の割合が13.5%となっています。

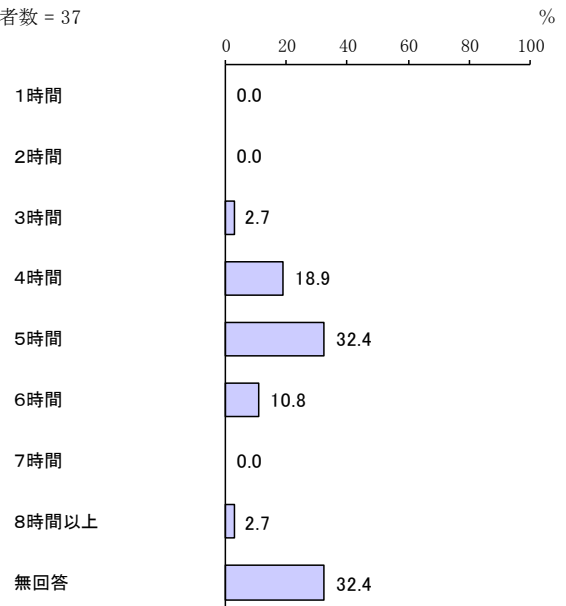
回答者数 = 37



(イ) 1日当たりの時間数

「5時間」の割合が32.4%と最も高く、次いで「4時間」の割合が18.9%、「6時間」の割合が10.8%となっています。

回答者数 = 37

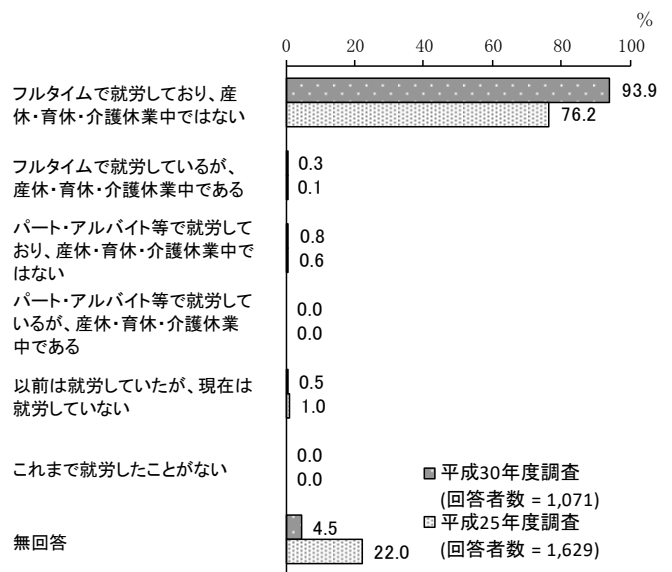


問 12 父親の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合はもっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。時間は、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制で口内に数字 (1 枠に 1 字) を記入してください。

父親の就労状況【1つ選択】

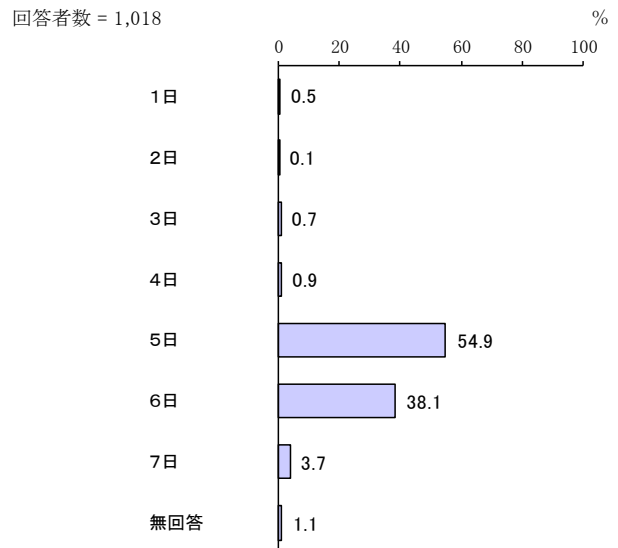
「フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 93.9%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



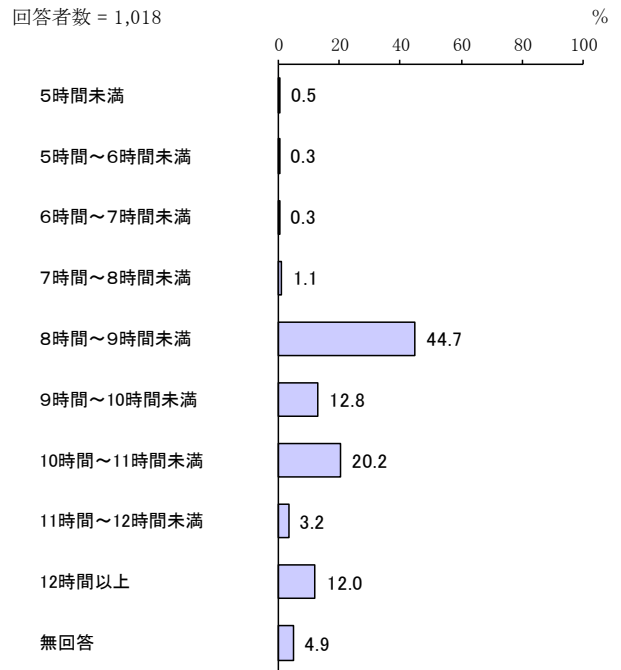
ア. 1 週当たりの日数

「5 日」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「6 日」の割合が 38.1%となっています。



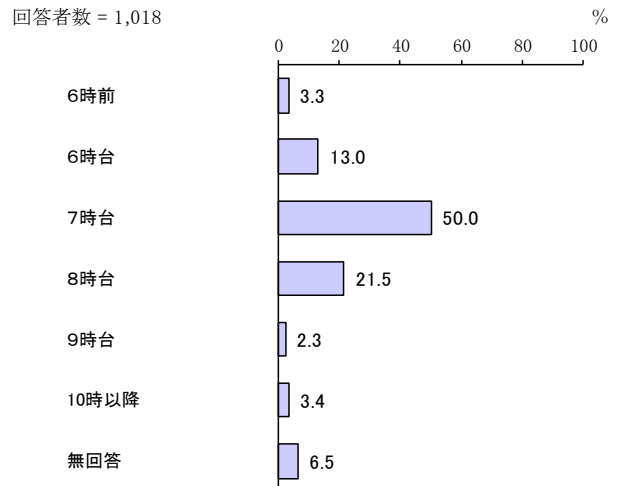
イ. 1日当たりの時間数

「8時間～9時間未満」の割合が44.7%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が20.2%、「9時間～10時間未満」の割合が12.8%となっています。



ウ. 家を出る時間

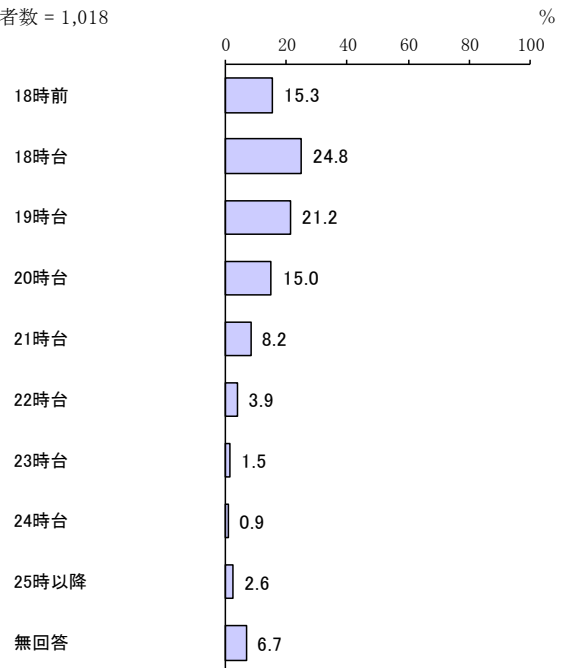
「7時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.5%、「6時台」の割合が13.0%となっています。



エ. 帰宅時間

「18 時台」の割合が 24.8%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 21.2%、「18 時前」の割合が 15.3%となっています。

回答者数 = 1,018



問 12-1 問 12 で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 7 件となっています。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 1 件となっています。

問 12-2 問 12 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。
当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する□内に数字（1 枠に 1 字）を記入してください。

「すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 2 件、「就労の予定はない」、「1 年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい」が 1 件となっています。

2. 就労したいときの子どもの年齢

(「1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい」と回答した人)
有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

「フルタイム」が2件となっています。

(ア) 1週当たりの日数

有効回答がありませんでした。

(イ) 1日当たりの時間数

有効回答がありませんでした。

(4) 地域の子育て支援事業の利用状況

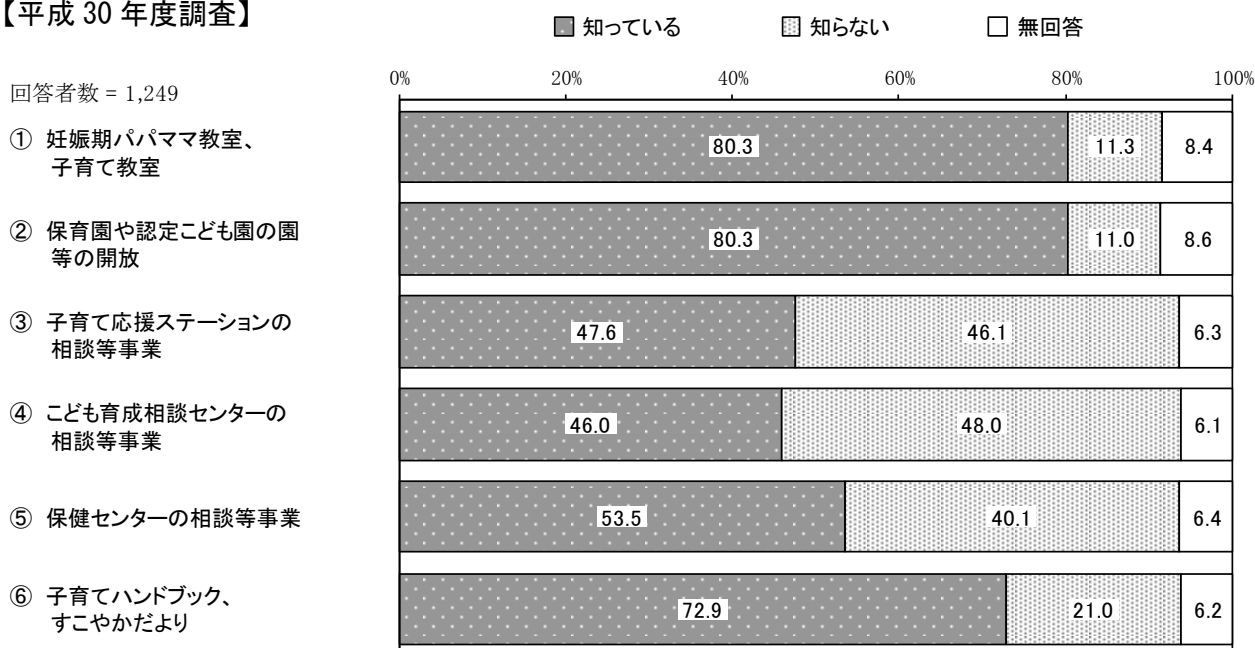
問 13 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

ア. 認知度

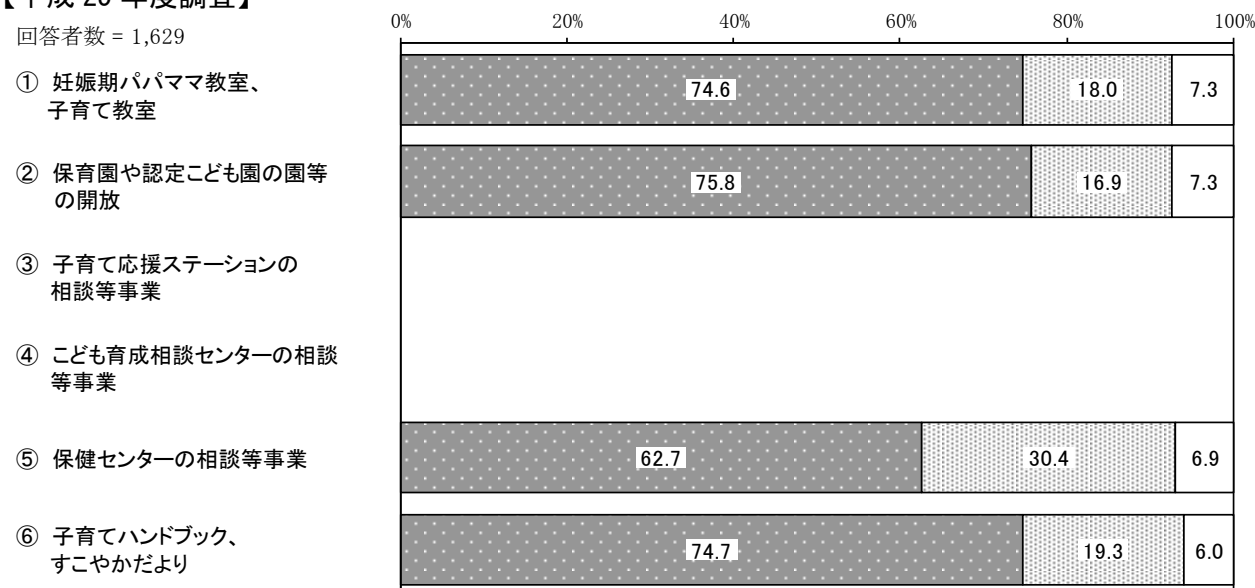
『①妊娠期パパママ教室、子育て教室』『②保育園や認定こども園の園等の開放』で「知っている」の割合が高くなっています。また、『③子育て応援ステーションの相談等事業』『④こども育成相談センターの相談等事業』で「知らない」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、『①妊娠期パパママ教室、子育て教室』で「知っている」の割合が増加している一方、『⑤保健センターの相談等事業』で「知らない」の割合が減少しています。

【平成 30 年度調査】



【平成 25 年度調査】



※『③ 子育て応援ステーションの相談等事業』『④ こども育成相談センター相談等事業』は平成 30 年度調査で新たに追加した。

【圏域（中学校区）別】

① 妊娠期パパママ教室、子育て教室

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校、片山津中学校、山代中学校で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	326	81.3	9.8	8.9
橋立中学校	54	77.8	14.8	7.4
片山津中学校	165	80.0	13.9	6.1
東和中学校	270	83.0	9.6	7.4
山代中学校	287	76.3	13.2	10.5
山中中学校	134	84.3	9.0	6.7

② 保育園や認定こども園の園等の開放

圏域（中学校区）別でみると、橋立中学校、山中中学校で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	326	81.3	11.3	7.4
橋立中学校	54	75.9	16.7	7.4
片山津中学校	165	83.0	9.7	7.3
東和中学校	270	80.4	10.7	8.9
山代中学校	287	80.1	8.4	11.5
山中中学校	134	78.4	14.9	6.7

③ 子育て応援ステーションの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	326	46.6	48.5	4.9
橋立中学校	54	46.3	48.1	5.6
片山津中学校	165	53.3	40.6	6.1
東和中学校	270	48.1	45.9	5.9
山代中学校	287	43.9	47.4	8.7
山中中学校	134	48.5	46.3	5.2

④ こども育成相談センターの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校、片山津中学校、山中中学校で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	326	47.9	46.9	5.2
橋立中学校	54	42.6	48.1	9.3
片山津中学校	165	49.7	44.8	5.5
東和中学校	270	46.3	48.9	4.8
山代中学校	287	41.1	50.9	8.0
山中中学校	134	47.8	47.0	5.2

⑤ 保健センターの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	326	54.9	39.6	5.5
橋立中学校	54	57.4	35.2	7.4
片山津中学校	165	52.7	42.4	4.8
東和中学校	270	54.4	40.0	5.6
山代中学校	287	50.5	40.4	9.1
山中中学校	134	54.5	40.3	5.2

⑥ 子育てハンドブック、すこやかだより

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

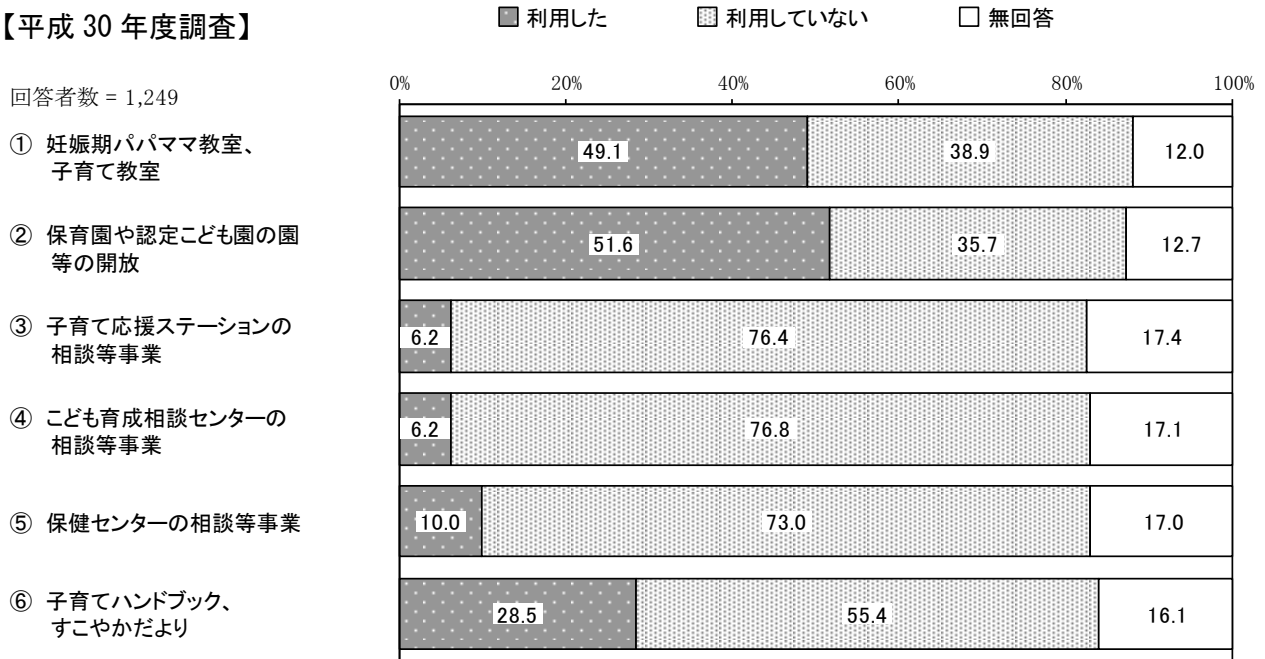
区分	有効回答数 (件)	知っている	知らない	無回答
錦城中学校	326	75.8	18.7	5.5
橋立中学校	54	77.8	14.8	7.4
片山津中学校	165	70.3	24.2	5.5
東和中学校	270	73.0	22.2	4.8
山代中学校	287	69.3	22.3	8.4
山中中学校	134	76.1	18.7	5.2

イ. 利用状況

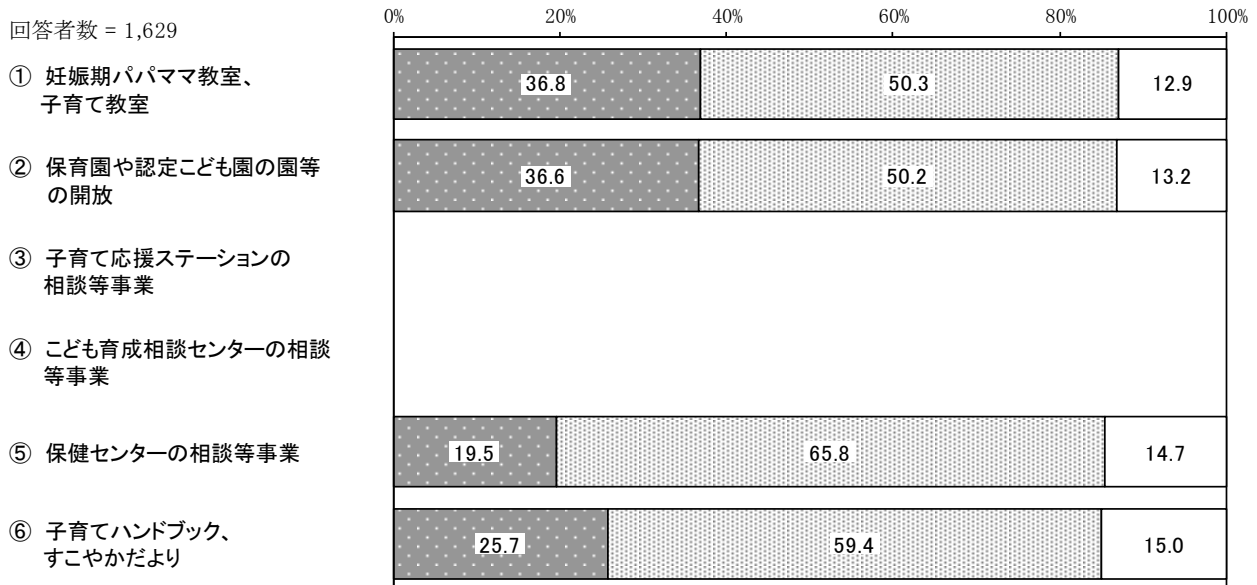
『①妊娠期パパママ教室、子育て教室』、『②保育園や認定こども園の園等の開放』で「利用した」の割合が高くなっています。また、『③子育て応援ステーションの相談等事業』『④こども育成相談センターの相談等事業』で「利用していない」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、『①妊娠期パパママ教室、子育て教室』『②保育園や認定こども園の園等の開放』で「はい」の割合が増加している一方、『⑤ 保健センターの相談等事業』で「利用した」の割合が減少しています。

【平成 30 年度調査】



【平成 25 年度調査】



※『③ 子育て応援ステーションの相談等事業』『④ こども育成相談センター相談等事業』は平成 30 年度調査で新たに追加した。

【圏域（中学校区）別】

① 妊娠期パパママ教室、子育て教室

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校で「利用した」の割合が高くなっています。また、片山津中学校で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用した	利用していない	無回答
錦城中学校	326	55.5	36.2	8.3
橋立中学校	54	50.0	38.9	11.1
片山津中学校	165	42.4	46.7	10.9
東和中学校	270	48.5	36.7	14.8
山代中学校	287	47.0	40.4	12.5
山中中学校	134	47.8	40.3	11.9

② 保育園や認定こども園の園等の開放

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「利用した」の割合が高くなっています。また、山代中学校、山中中学校で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用した	利用していない	無回答
錦城中学校	326	50.0	38.3	11.7
橋立中学校	54	51.9	33.3	14.8
片山津中学校	165	61.8	27.9	10.3
東和中学校	270	54.1	31.9	14.1
山代中学校	287	48.1	39.7	12.2
山中中学校	134	46.3	40.3	13.4

③ 子育て応援ステーションの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、東和中学校、山中中学校で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用した	利用していない	無回答
錦城中学校	326	3.4	81.3	15.3
橋立中学校	54	9.3	68.5	22.2
片山津中学校	165	10.9	74.5	14.5
東和中学校	270	3.7	77.0	19.3
山代中学校	287	8.4	74.2	17.4
山中中学校	134	6.7	77.6	15.7

④ こども育成相談センターの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、錦城中学校、片山津中学校で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用した	利用していない	無回答
錦城中学校	326	5.2	80.4	14.4
橋立中学校	54	5.6	75.9	18.5
片山津中学校	165	7.9	78.2	13.9
東和中学校	270	6.3	74.4	19.3
山代中学校	287	4.2	76.7	19.2
山中中学校	134	11.2	75.4	13.4

⑤ 保健センターの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校で「利用していない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用した	利用していない	無回答
錦城中学校	326	11.0	74.8	14.1
橋立中学校	54	11.1	68.5	20.4
片山津中学校	165	9.1	77.0	13.9
東和中学校	270	8.5	72.6	18.9
山代中学校	287	9.4	72.1	18.5
山中中学校	134	12.7	72.4	14.9

⑥ 子育てハンドブック、すこやかだより

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、山中中学校で「利用した」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用した	利用していない	無回答
錦城中学校	326	28.8	57.7	13.5
橋立中学校	54	27.8	57.4	14.8
片山津中学校	165	29.7	58.2	12.1
東和中学校	270	28.9	53.0	18.1
山代中学校	287	25.4	56.8	17.8
山中中学校	134	33.6	50.0	16.4

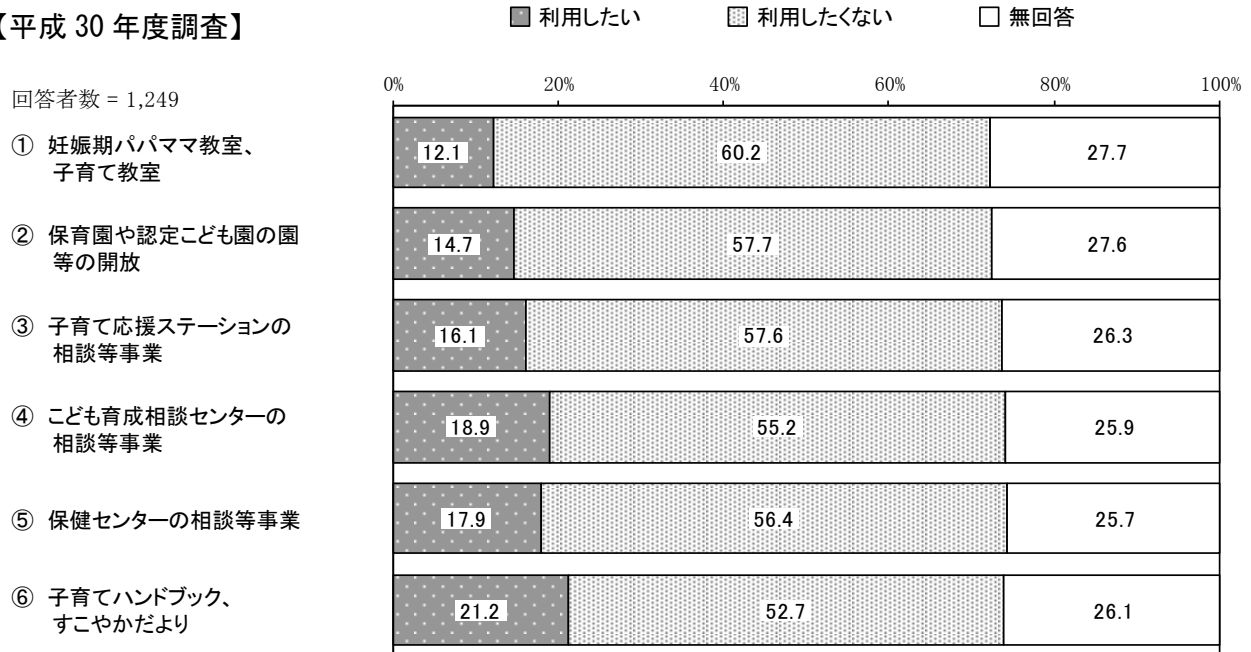
ウ. 今後の利用意向

『⑥ 子育てハンドブック、すこやかだより』で、他に比べ、「利用したい」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

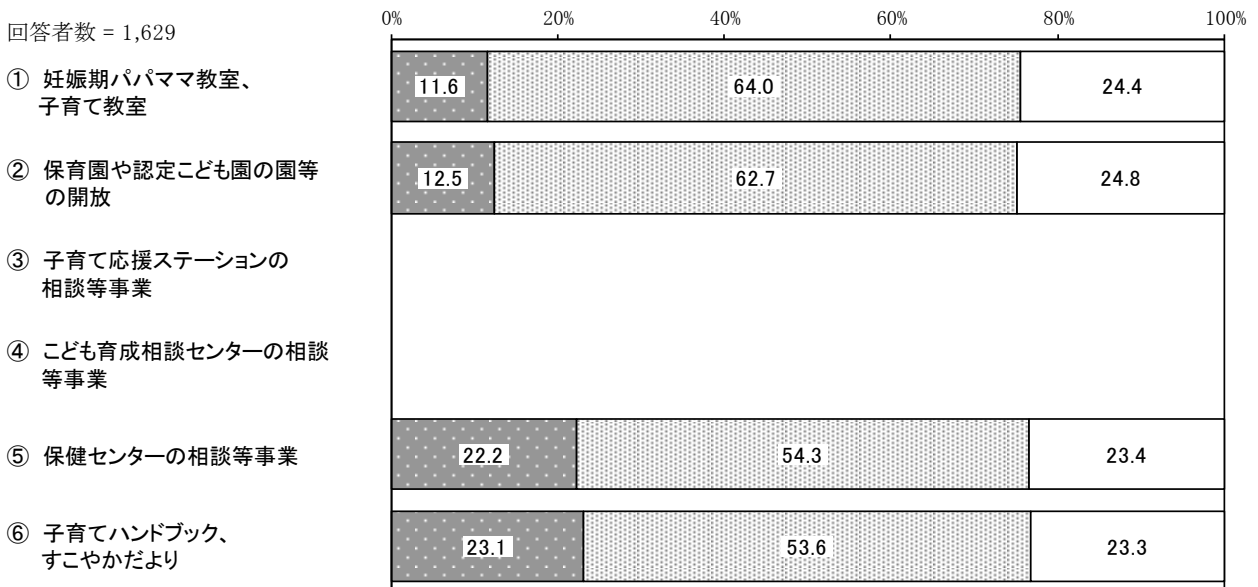
【平成 30 年度調査】

回答者数 = 1,249



【平成 25 年度調査】

回答者数 = 1,629



※ 『③ 子育て応援ステーションの相談等事業』『④ こども育成相談センター相談等事業』は平成 30 年度調査で新たに追加した。

【圏域（中学校区）別】

① 妊娠期パパママ教室、子育て教室

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校で「利用したくない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	326	12.0	63.2	24.8
橋立中学校	54	11.1	55.6	33.3
片山津中学校	165	15.2	63.6	21.2
東和中学校	270	13.0	57.0	30.0
山代中学校	287	12.2	58.2	29.6
山中中学校	134	8.2	64.2	27.6

② 保育園や認定こども園の園等の開放

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校、山中中学校で「利用したい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	326	14.4	60.7	24.8
橋立中学校	54	11.1	59.3	29.6
片山津中学校	165	17.0	58.8	24.2
東和中学校	270	15.6	54.4	30.0
山代中学校	287	15.7	56.1	28.2
山中中学校	134	11.2	61.2	27.6

③ 子育て応援ステーションの相談等事業

圏域（中学校区）別で見ると、他に比べ、片山津中学校、東和中学校、山代中学校で「利用したい」の割合が高くなっています。また、錦城中学校で「利用したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	326	13.2	63.5	23.3
橋立中学校	54	13.0	57.4	29.6
片山津中学校	165	17.0	57.6	25.5
東和中学校	270	18.1	54.8	27.0
山代中学校	287	19.5	53.3	27.2
山中中学校	134	13.4	60.4	26.1

④ こども育成相談センターの相談等事業

圏域（中学校区）別で見ると、他に比べ、錦城中学校で「利用したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	326	17.2	59.2	23.6
橋立中学校	54	16.7	55.6	27.8
片山津中学校	165	20.0	56.4	23.6
東和中学校	270	19.6	53.0	27.4
山代中学校	287	20.9	52.6	26.5
山中中学校	134	17.9	56.0	26.1

⑤ 保健センターの相談等事業

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、山代中学校で「利用したい」の割合が高くなっています。また、錦城中学校、片山津中学校で「利用したくない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	326	16.9	60.4	22.7
橋立中学校	54	16.7	55.6	27.8
片山津中学校	165	15.8	60.0	24.2
東和中学校	270	18.1	54.8	27.0
山代中学校	287	20.9	52.3	26.8
山中中学校	134	17.9	56.7	25.4

⑥ 子育てハンドブック、すこやかだより

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、東和中学校、山中中学校で「利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	利用したい	利用したくない	無回答
錦城中学校	326	19.3	57.4	23.3
橋立中学校	54	18.5	53.7	27.8
片山津中学校	165	21.8	53.9	24.2
東和中学校	270	24.4	48.9	26.7
山代中学校	287	19.9	51.9	28.2
山中中学校	134	23.9	50.7	25.4

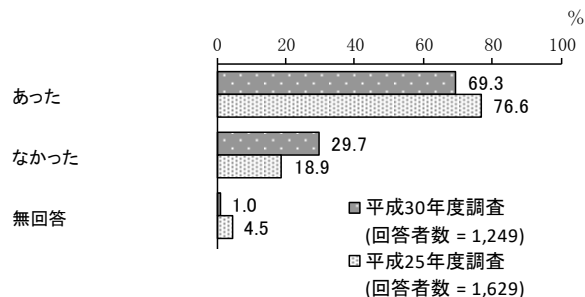
(5) 子どもの病気の際の対応

問 14 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありますか。あった場合、どうされましたか。当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字（1枠に1字）で記入してください。

休んだこと【1つ選択】

「あった」の割合が69.3%、「なかった」の割合が29.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「あった」の割合が減少し、「なかった」の割合が増加しています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、2年生、3年生で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
1年生	203	58.1	40.9	1.0
2年生	215	77.7	22.3	—
3年生	190	74.2	23.7	2.1
4年生	199	69.8	29.1	1.0
5年生	222	67.1	31.5	1.4
6年生	209	67.9	31.1	1.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、『パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』で「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	701	67.0	31.8	1.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	75.0	25.0	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	404	75.5	24.3	0.2
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	66.7	33.3	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	85	64.7	35.3	—
これまで就労したことがない	6	83.3	16.7	—

【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、橋立中学校で「あった」の割合が高くなっています。

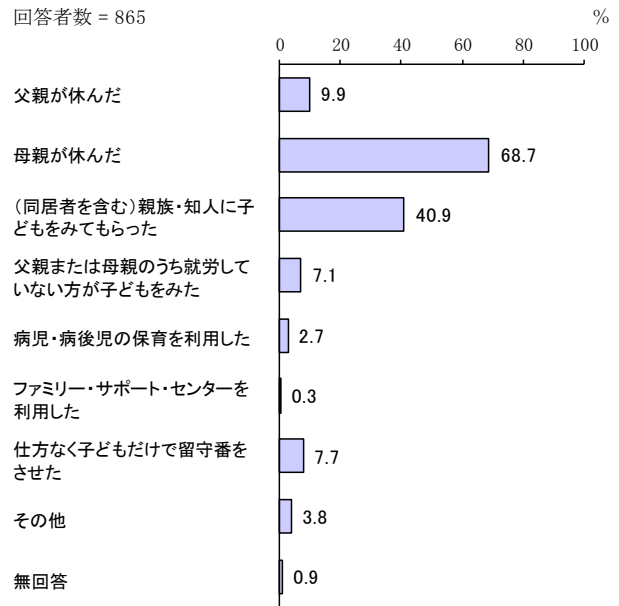
単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
錦城中学校	326	66.0	33.4	0.6
橋立中学校	54	90.7	9.3	—
片山津中学校	165	67.3	31.5	1.2
東和中学校	270	75.6	23.7	0.7
山代中学校	287	63.8	34.1	2.1
山中中学校	134	68.7	30.6	0.7

ア. 1年間の対処方法【複数選択可】

「母親が休んだ」の割合が68.7%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が40.9%となっています。

回答者数 = 865



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、1年生で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった (同居者を含む) 親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
1年生	118	16.1	78.0	37.3	7.6	3.4	0.8	2.5	3.4	—
2年生	167	10.2	69.5	44.9	8.4	3.6	0.6	5.4	1.2	0.6
3年生	141	7.8	71.6	46.1	3.5	3.5	—	7.8	5.0	0.7
4年生	139	8.6	69.1	40.3	5.0	2.2	0.7	12.2	5.8	0.7
5年生	149	8.1	63.8	45.0	7.4	—	—	6.0	2.7	2.0
6年生	142	9.9	62.0	31.0	10.6	2.8	—	12.7	5.6	1.4

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、『パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。また、『以前は就労していたが、現在は就労していない』で「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」人も割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった (同居者を含む)親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	470	12.6	68.5	47.9	3.2	4.0	0.4	8.3	3.6	0.6
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	33.3	100.0	33.3	—	—	—	33.3	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	305	5.9	79.7	35.4	2.0	1.0	0.3	7.9	3.6	0.7
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	—	100.0	25.0	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	55	—	29.1	10.9	60.0	—	—	3.6	5.5	3.6
これまで就労したことがない	5	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—

1年間の対処方法（年間日数）

1年間の対処方法（年間日数）について、『ア. 父親が休んだ』で「1日」の割合が、『キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた』で「2～3日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2～3日	4～5日	6～9日	10～19日	20日以上	無回答
ア. 父親が休んだ	86	51.2	33.7	4.7	1.2	—	—	9.3
イ. 母親が休んだ	594	26.6	36.4	13.5	7.6	6.9	1.3	7.7
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	354	33.3	35.6	13.3	5.9	4.5	0.3	7.1
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	61	11.5	34.4	18.0	9.8	6.6	1.6	18.0
オ. 病児・病後児の保育を利用した	23	34.8	34.8	8.7	4.3	4.3	4.3	8.7
カ. ファミリー・サポート・センターを利用した	3	—	—	33.3	—	—	—	66.7
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	67	26.9	40.3	9.0	7.5	6.0	1.5	9.0
ク. その他	33	21.2	27.3	3.0	9.1	6.1	—	33.3

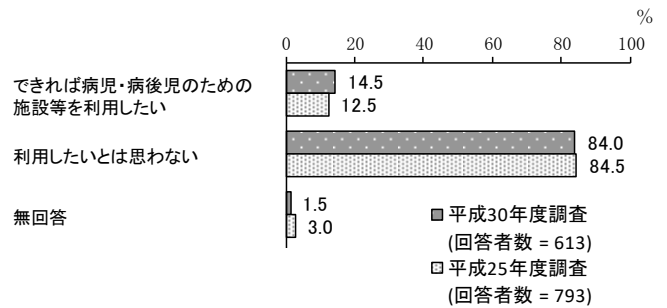
問 14-1 問 14 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方
 にかがいます。

その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思われ
 ましたか。思われた場合は、利用希望延べ日数を口内に数字（1 枠に 1 字）で
 記入し、利用したい事業形態について、当てはまる記号すべてに○をつけて
 ください。思わなかった場合は、その理由について、当てはまる記号すべて
 に○をつけてください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。
 また、利用前にかかりつけ医の受診が必要になる場合があります。

病気の際の意向【1つ選択】

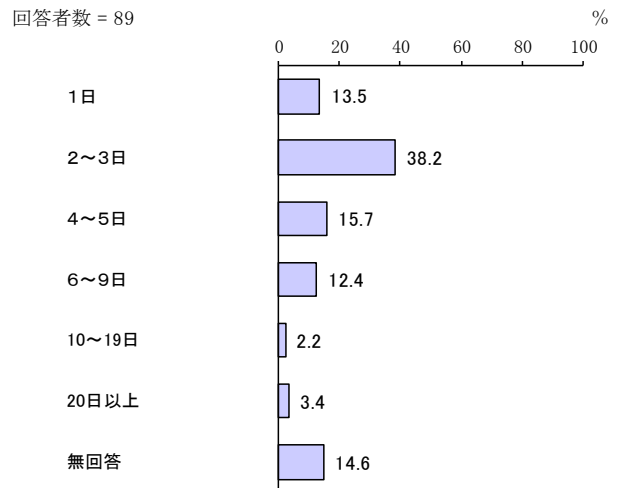
「できれば病児・病後児のための施設等を利用
 したい」の割合が 14.5%、「利用したいとは思わ
 ない」の割合が 84.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
 みられません。



ア. 希望延べ日数

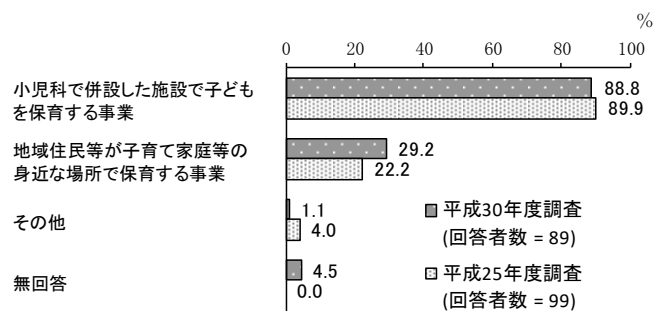
「2～3日」の割合が 38.2%と最も高く、次い
 で「4～5日」の割合が 15.7%、「1日」の割合
 が 13.5%となっています。



イ. 希望する事業形態【複数選択可】

「小児科で併設した施設で子どもを保育する
 事業」の割合が 88.8%、「地域住民等が子育て家
 庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が
 29.2%となっています。

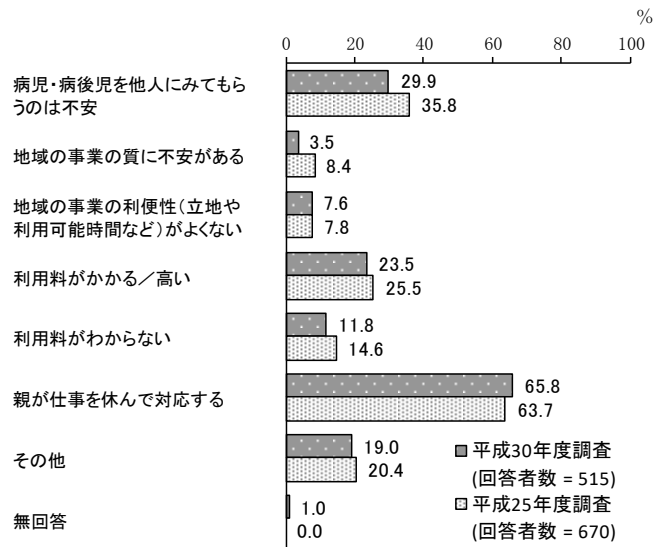
平成 25 年度調査と比較すると、「地域住民等が
 子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割
 合が増加しています。



ウ. 思わなかった理由【複数選択可】

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 29.9%、「利用料がかかる／高い」の割合が 23.5%となっています。

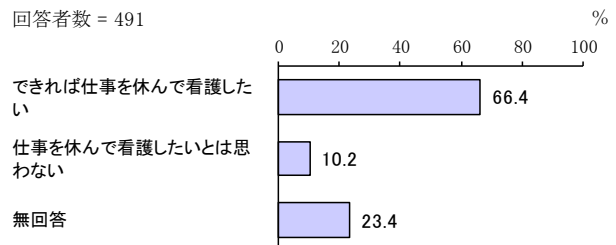
平成 25 年度調査と比較すると、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が減少しています。



問 14-2 問 14 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思われましたか。思われた場合は仕事を休んで看護したい希望延べ日数を口内に数字（1 枠に 1 字）で記入し、休んで看護することができない理由に当てはまる記号すべてに○をつけてください。

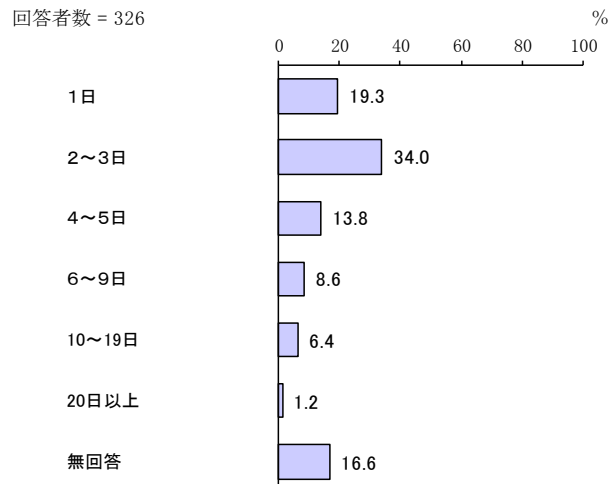
希望の有無【1つ選択】

「できれば仕事を休んで看護したい」の割合が 66.4%、「仕事を休んで看護したいとは思わない」の割合が 10.2%となっています。



ア. 希望延べ日数

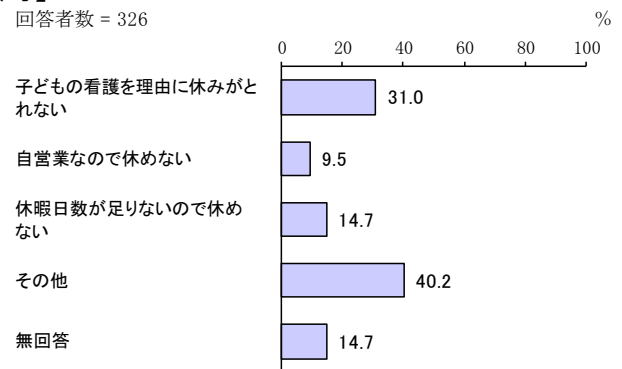
「2～3日」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が 19.3%、「4～5日」の割合が 13.8%となっています。



イ. 休んで看護することができない理由【複数選択可】

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が31.0%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が14.7%となっています。

回答者数 = 326



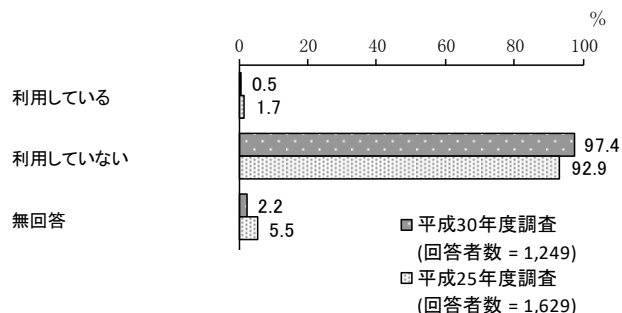
(6) 一時預かりの利用

問 15 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等のために、利用している事業はありますか。ある場合は、利用している事業について、当てはまる記号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も□内に数字（1枠に1字）で記入してください。利用していない場合は、その理由に当てはまる記号すべてに○をつけてください。

利用の有無【1つ選択】

「利用している」の割合が0.5%、「利用していない」の割合が97.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※「利用している」は平成25年度調査では「利用した」の割合。

ア. 利用している事業【複数選択可】

「ファミリー・サポート・センター」、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」が1件となっています。

利用事業別年間延べ日数

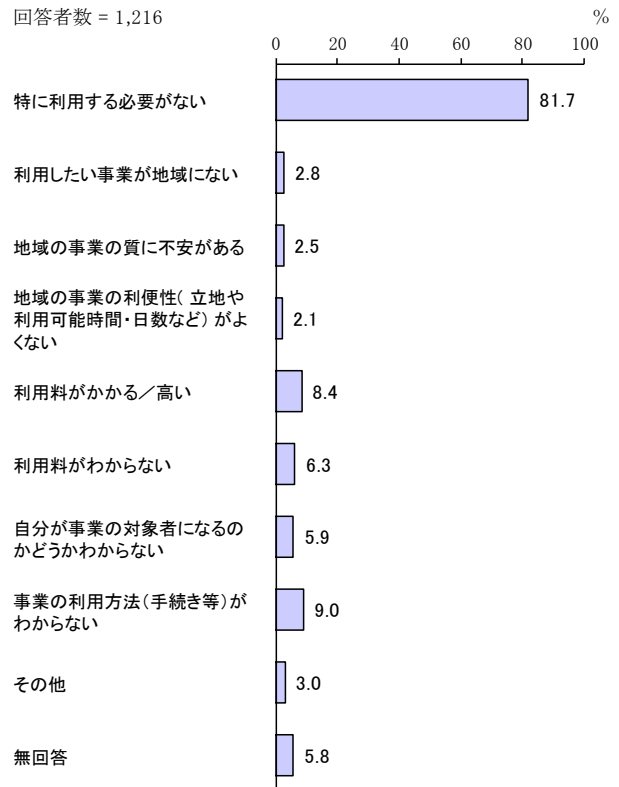
利用している事業（年間延べ日数）については、有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2 ～ 3日	4 ～ 5日	6 ～ 9日	10 ～ 19日	20日以上	無回答
ア. ファミリー・サポート・センター	1	-	-	-	100.0	-	-	-
イ. 夜間養護等事業：トワイライトステイ	1	-	100.0	-	-	-	-	-
ウ. その他	4	-	-	-	-	25.0	50.0	25.0

イ. 利用していない理由【複数選択可】

「特に利用する必要がない」の割合が81.7%と最も高くなっています。

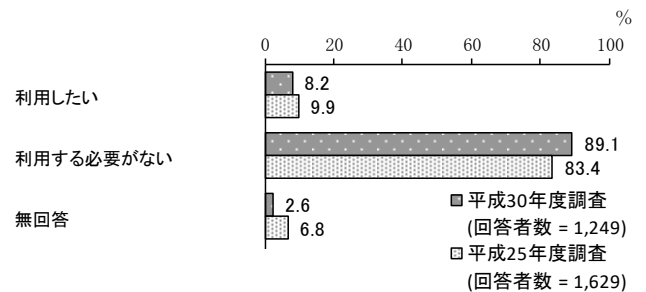


問 16 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等のために、一時的な預かり事業を利用したいと思いませんか。利用したい場合は、利用目的と事業形態について、当てはまる記号すべてに○をつけ、目的別の1年間のおおよその利用希望日数も口内に数字(1枠に1字)で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

利用希望の有無【1つ選択】

「利用したい」の割合が8.2%、「利用する必要がない」の割合が89.1%となっています。

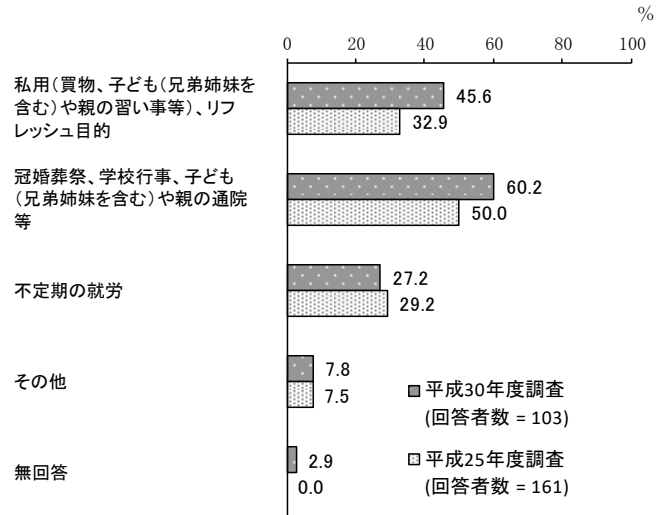
平成25年度調査と比較すると、「利用する必要がない」の割合が増加しています。



ア. 希望する利用目的【複数選択可】

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の割合が60.2%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が45.6%、「不定期の就労」の割合が27.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の割合が増加しています。



イ. 目的別年間希望日数

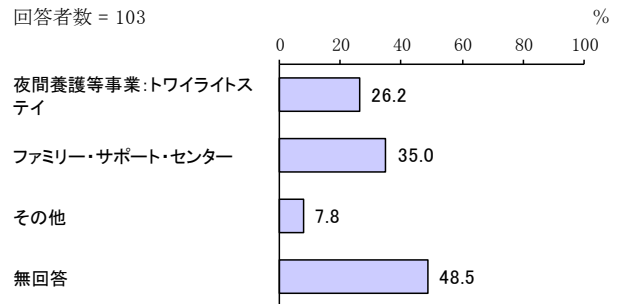
目的別年間日数については、『ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的』で「6～9日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2～3日	4～5日	6～9日	10～19日	20日以上	無回答
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	47	12.8	17.0	17.0	14.9	14.9	6.4	17.0
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	62	8.1	21.0	16.1	4.8	14.5	3.2	32.3
ウ. 不定期の就労	28	10.7	21.4	17.9	3.6	10.7	3.6	32.1
エ. その他	8	-	25.0	-	12.5	12.5	-	50.0

ウ. 希望する事業形態【複数選択可】

「夜間養護等事業：トワイライトステイ」の割合が26.2%、「ファミリー・サポート・センター」の割合が35.0%となっています。

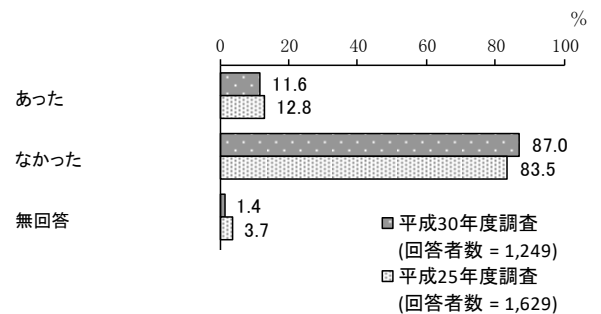


問 17 この1年間に保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字（1枠に1字）で記入してください。

必要性の有無【1つ選択】

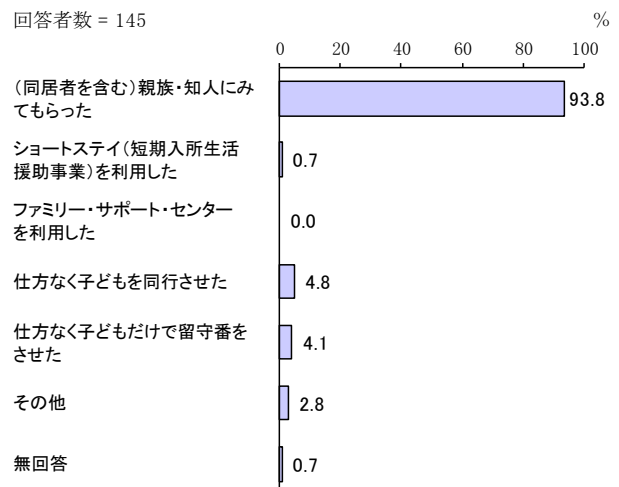
「あった」の割合が11.6%、「なかった」の割合が87.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 1年間の対処法【複数選択可】

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が93.8%と最も高くなっています。



1年間の対処法（年間日数）

1年間の対処法（年間日数）について、有効回答数が少ないため、コメントは差し控えます。

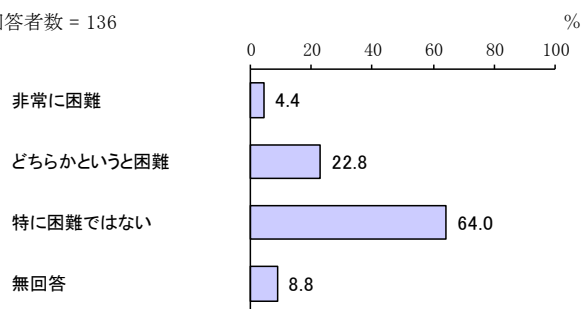
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2 ～ 3日	4 ～ 5日	6 ～ 9日	10 ～ 19日	20日 以上	無回答
ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	136	43.4	27.2	8.1	5.1	4.4	2.2	9.6
イ. ショートステイ(短期入所生活援助事業)を利用した	1	-	-	-	-	-	-	100.0
ウ. ファミリー・サポート・センター を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
エ. 仕方なく子どもを同行させた	7	42.9	14.3	14.3	-	-	-	28.6
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6	66.7	16.7	-	-	-	-	16.7
カ. その他	4	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0

問17-1 問17で「ア. 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
その場合の困難度はどの程度でしたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」の割合が64.0%と最も高く、次いで「どちらかという困難」の割合が22.8%となっています。

回答者数 = 136



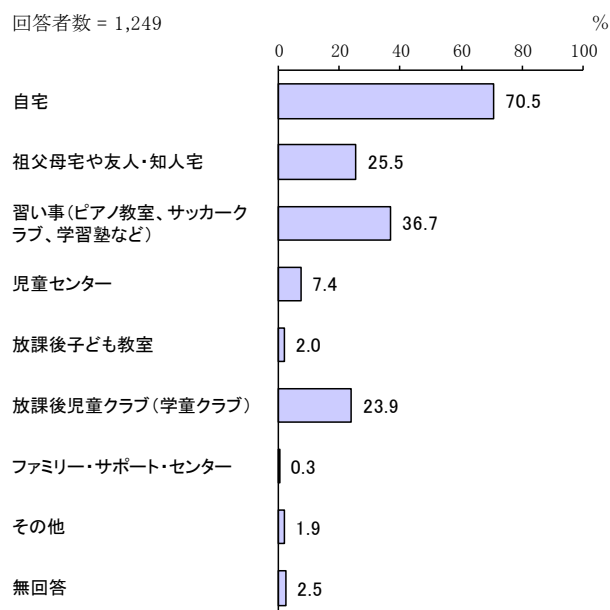
(7) 放課後の過ごし方

問 18 宛名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を口内に数字（1枠に1字）で記入してください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」の場合には、利用している時間も口内に数字（1枠に1字）で記入してください。時間は（例）09時～18時のように24時間制で記入してください。

過ごす場所【複数選択可】

「自宅」の割合が70.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が36.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が25.5%となっています。

回答者数 = 1,249



【学年別】

学年別でみると、学年が低くなるにつれ「放課後児童クラブ(学童クラブ)」の割合が高くなる、学年が高くなるにつれ「自宅」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、4年生で「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ(学童クラブ)	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
1年生	203	45.8	17.7	23.6	3.4	4.4	57.6	0.5	1.0	2.0
2年生	215	56.7	25.6	29.8	7.4	0.9	41.4	1.4	1.9	2.3
3年生	190	64.2	26.3	39.5	6.8	3.7	31.1	—	2.6	1.6
4年生	199	80.9	24.6	48.7	10.6	2.0	9.5	—	2.0	3.0
5年生	222	87.4	27.9	43.7	6.8	0.9	1.4	—	1.8	3.6
6年生	209	88.0	31.1	36.4	9.6	0.5	2.4	—	2.4	2.4

【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、片山津中学校で「自宅」の割合が高くなっています。また、錦城中学校、片山津中学校、東和中学校で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ（学童クラブ）	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
錦城中学校	326	71.8	26.7	40.2	4.6	0.9	18.7	—	3.4	2.5
橋立中学校	54	66.7	29.6	24.1	—	—	20.4	—	1.9	3.7
片山津中学校	165	75.8	29.1	37.6	9.7	—	25.5	1.2	0.6	3.0
東和中学校	270	67.8	28.5	39.3	13.7	5.2	25.9	—	1.1	4.8
山代中学校	287	70.4	21.3	34.1	3.8	2.4	26.5	0.3	1.7	0.7
山中中学校	134	68.7	19.4	32.8	9.0	0.7	26.9	0.7	1.5	—

過ごす場所別週当たりの日数

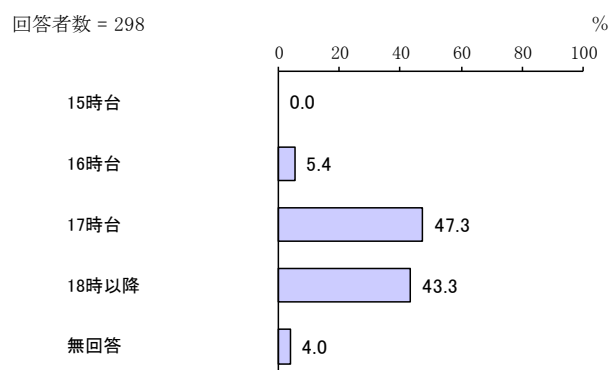
過ごす場所別週当たりの日数について、『6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）』で「5日」の割合が高くなっています。また、『5. 放課後子ども教室』で「1日」の割合が、『3. 習い事』『4. 児童センター』で「2日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	881	7.5	10.2	14.8	9.4	52.4	5.7
2. 祖父母宅や友人・知人宅	318	28.9	22.6	10.7	5.0	29.2	3.5
3. 習い事	459	23.3	31.4	19.2	12.9	11.5	1.7
4. 児童センター	92	28.3	29.3	14.1	14.1	7.6	6.5
5. 放課後子ども教室	25	40.0	—	24.0	8.0	16.0	12.0
6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）	298	3.4	6.4	8.7	9.7	68.8	3.0
7. ファミリー・サポート・センター	4	—	—	—	—	100.0	—
8. その他	24	29.2	33.3	20.8	4.2	8.3	4.2

放課後児童クラブ（学童クラブ） 利用時間

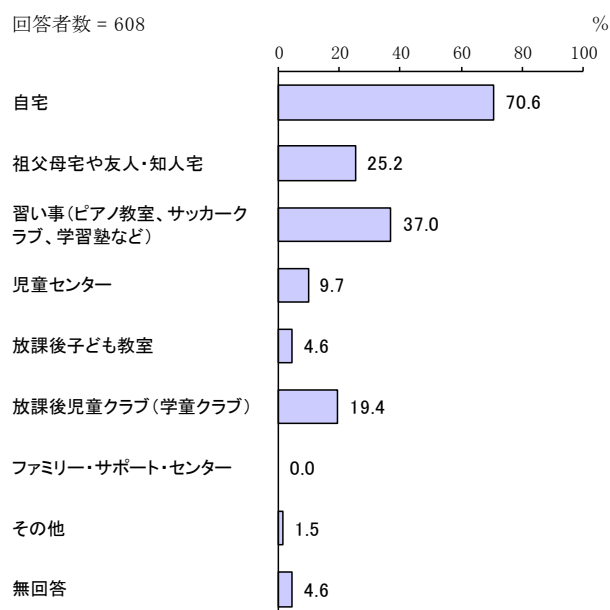
「17 時台」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「18 時以降」の割合が 43.3%となっています。



問 19 宛名のお子さんが小学校 1～3 年生の方にうかがいます。宛名のお子さんが、小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字（1 枠に 1 字）で記入してください。また、「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字（1 枠に 1 字）で記入してください。時間は（例）09 時～18 時のように 24 時間制で記入してください。

希望する場所【複数選択可】

「自宅」の割合が 70.6%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 37.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 25.2%となっています。



【学年別】

学年別でみると、学年が低くなるにつれ「放課後児童クラブ（学童クラブ）」の割合が高く、学年が高くなるにつれ「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ（学童クラブ）	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
1年生	203	69.0	21.2	32.0	8.9	6.4	22.7	—	1.0	6.4
2年生	215	72.6	26.5	35.3	10.2	2.8	18.6	—	1.4	3.3
3年生	190	70.0	27.9	44.2	10.0	4.7	16.8	—	2.1	4.2

【圏域（中学校区）別】

圏域（中学校区）別でみると、他に比べ、山中中学校で「放課後児童クラブ（学童クラブ）」の割合が高くなっています。また、錦城中学校、東和中学校で「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター	放課後子ども教室	放課後児童クラブ（学童クラブ）	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
錦城中学校	149	72.5	30.9	42.3	8.1	4.7	17.4	—	0.7	3.4
橋立中学校	25	80.0	16.0	40.0	—	4.0	28.0	—	—	—
片山津中学校	86	79.1	18.6	31.4	16.3	4.7	15.1	—	3.5	11.6
東和中学校	138	66.7	32.6	38.4	15.9	8.7	16.7	—	1.4	4.3
山代中学校	146	71.2	21.9	34.9	5.5	2.1	19.2	—	1.4	3.4
山中中学校	57	54.4	14.0	33.3	5.3	1.8	35.1	—	—	3.5

希望する場所別（週当たりの希望日数）

希望する場所別（週当たりの希望日数）について、『1. 自宅』、『6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）』で「5日」の割合が高くなっています。また、『5. 放課後子ども教室』で「1日」の割合が、『3. 習い事』で「2日」の割合が高くなっています。

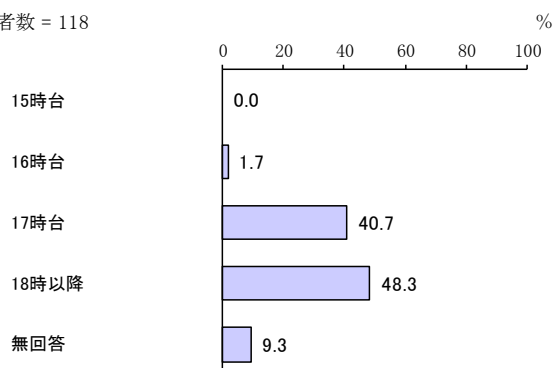
単位：%

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
1. 自宅	429	7.0	11.4	13.1	8.2	55.0	5.4
2. 祖父母宅や友人・知人宅	153	23.5	17.6	11.1	4.6	35.9	7.2
3. 習い事	225	27.1	38.7	17.3	7.1	6.2	3.6
4. 児童センター	59	20.3	23.7	22.0	8.5	13.6	11.9
5. 放課後子ども教室	28	46.4	7.1	21.4	-	7.1	17.9
6. 放課後児童クラブ(学童クラブ)	118	2.5	9.3	14.4	5.1	59.3	9.3
7. ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-
8. その他	9	-	-	11.1	11.1	33.3	44.4

放課後児童クラブ（学童クラブ） 利用時間

「18 時以降」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 40.7%となっています。

回答者数 = 118



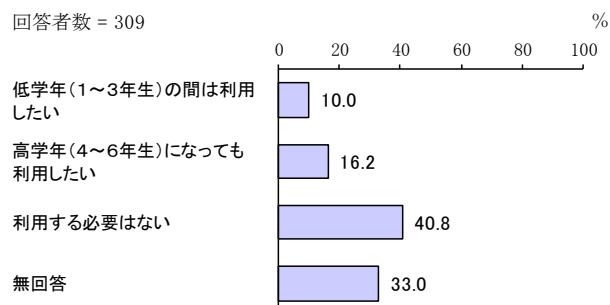
問 20 問 18 または問 19 で「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。利用を希望する（「1」または「2」の場合）は、利用したい時間帯を、（例）09 時～18 時のように 24 時間制で□内に数字（1 枠に 1 字）で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

ア. 土曜日

「利用する必要はない」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」の割合が 16.2%、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」の割合が 10.0%となっています。

回答者数 = 309

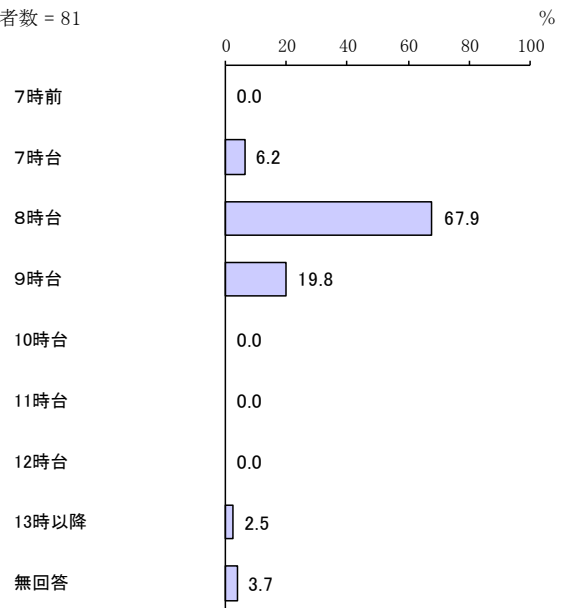


利用したい時間帯

(ア) 開始時刻

「8時台」の割合が67.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が19.8%となっています。

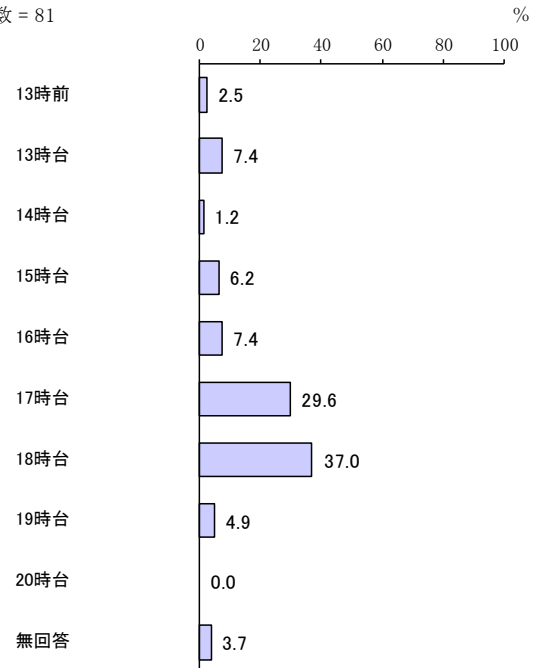
回答者数 = 81



(イ) 終了時刻

「18 時台」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 29.6%となっています。

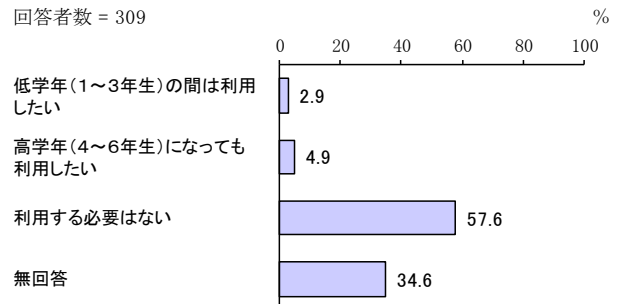
回答者数 = 81



イ. 日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 57.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 309

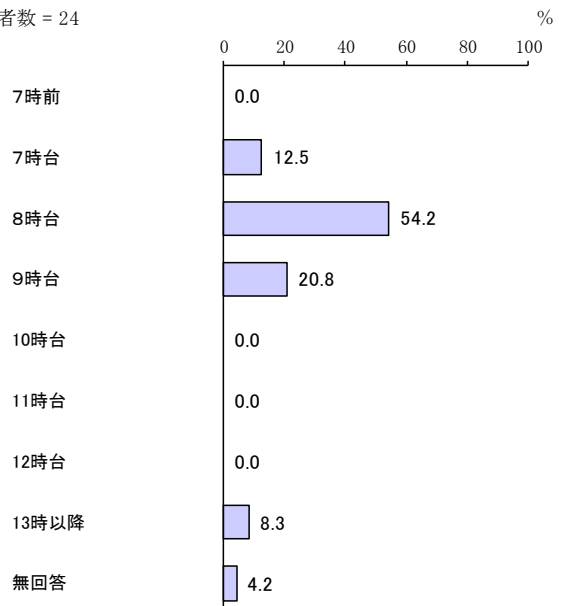


利用したい時間帯

(ア) 開始時刻

「8 時台」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 20.8%、「7 時台」の割合が 12.5%となっています。

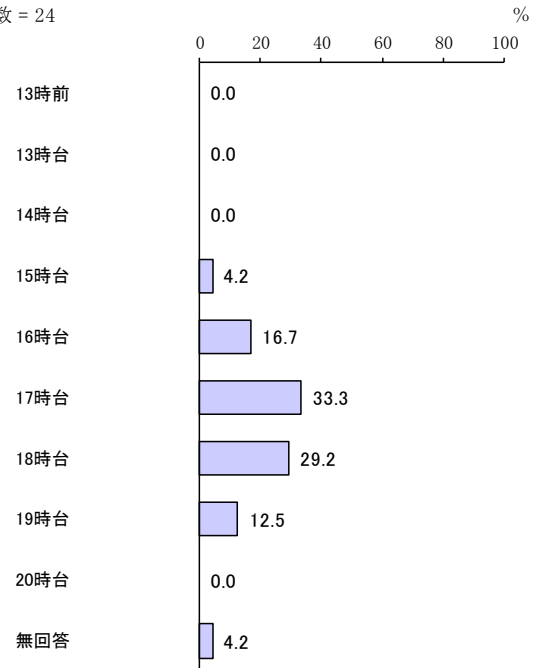
回答者数 = 24



(イ) 終了時刻

「17 時台」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 29.2%、「16 時台」の割合が 16.7%となっています。

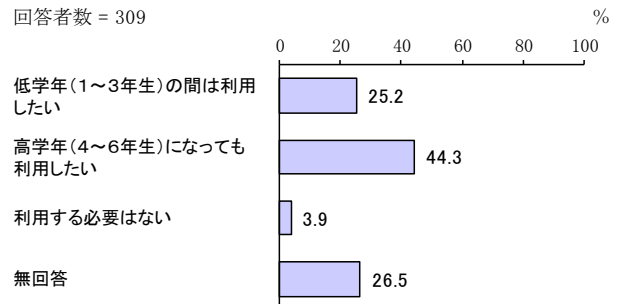
回答者数 = 24



ウ. 長期休暇(春・夏・冬休み)

「高学年(4~6年生)になっても利用したい」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」の割合が 25.2%となっています。

回答者数 = 309

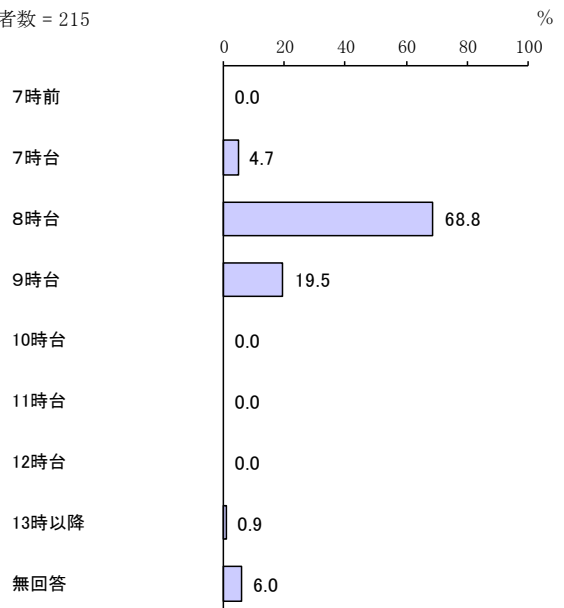


利用したい時間帯

(ア) 開始時刻

「8 時台」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 19.5%となっています。

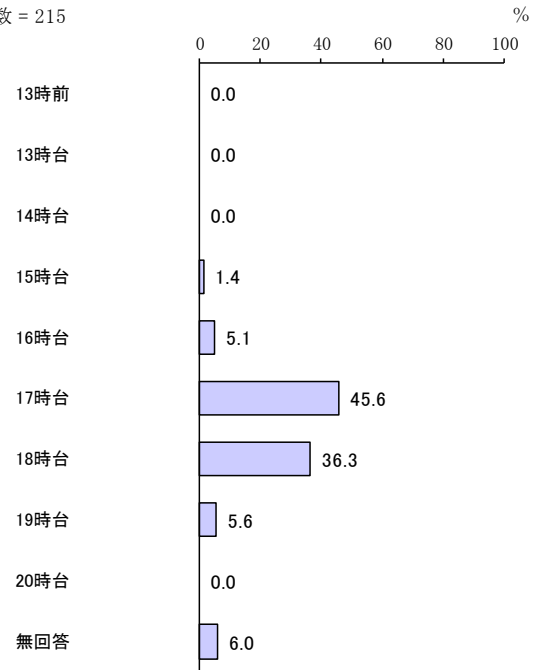
回答者数 = 215



(イ) 終了時刻

「17 時台」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 36.3%となっています。

回答者数 = 215

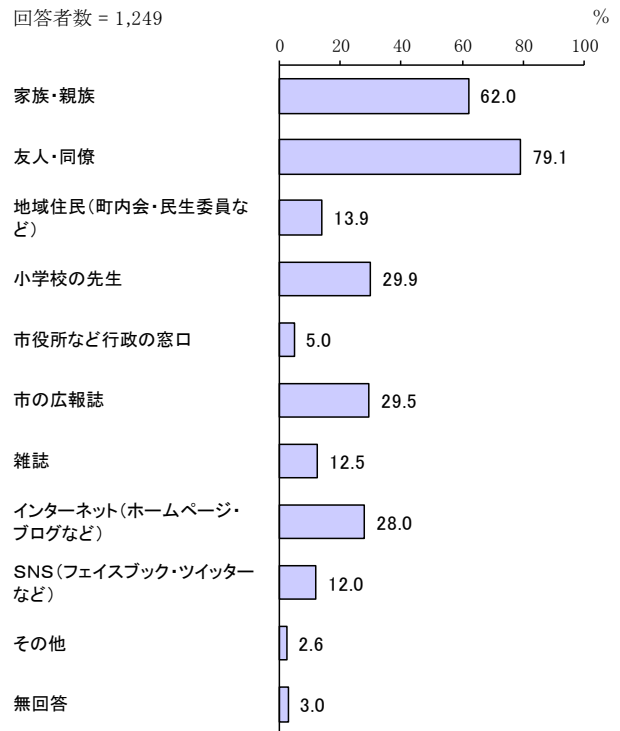


(8) 子育てに関する意識等

問 21 あなたは、子育てに関する情報を誰（どこ）から手に入れますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

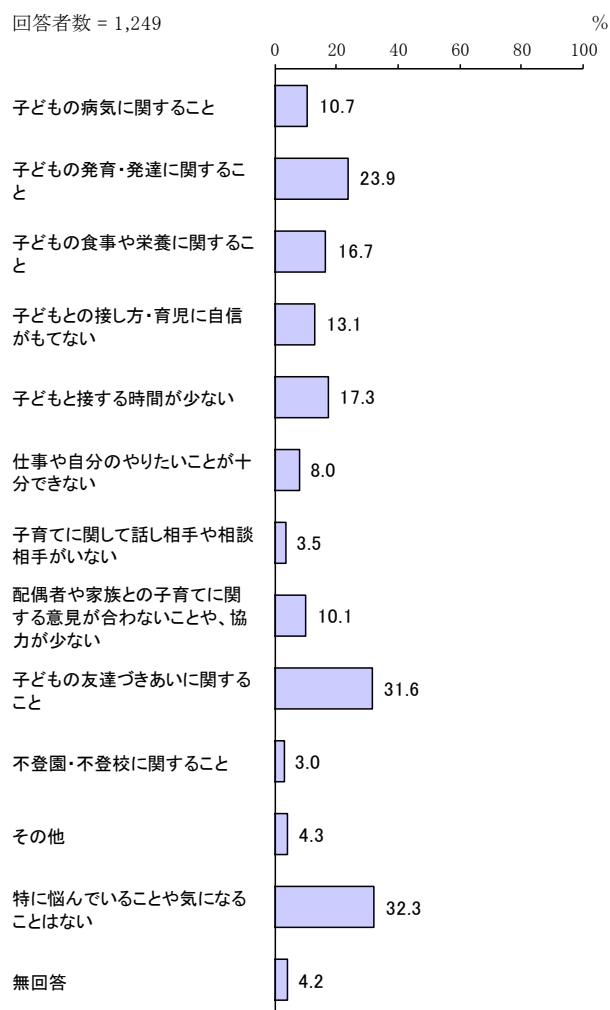
「友人・同僚」の割合が79.1%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が62.0%、「小学校の先生」の割合が29.9%となっています。

回答者数 = 1,249



問 22 子育てについて、日頃悩んでいることや不安に思っていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

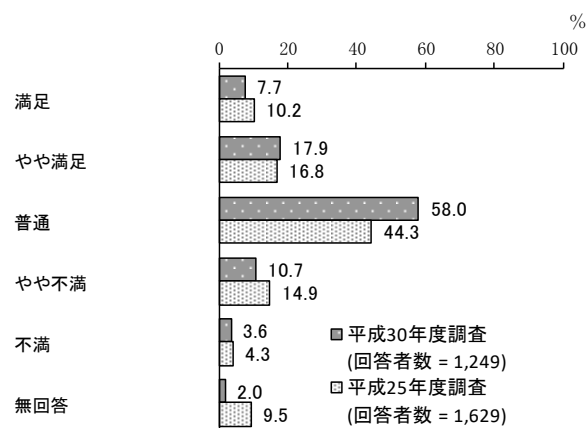
「特に悩んでいることや気になることはない」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「子どもの友達つきあいに関する事」の割合が 31.6%、「子どもの発育・発達に関する事」の割合が 23.9%となっています。



問 23 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 25.6%、「普通」の割合が 58.0%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が 14.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「普通」の割合が増加し、“不満”の割合が減少しています。

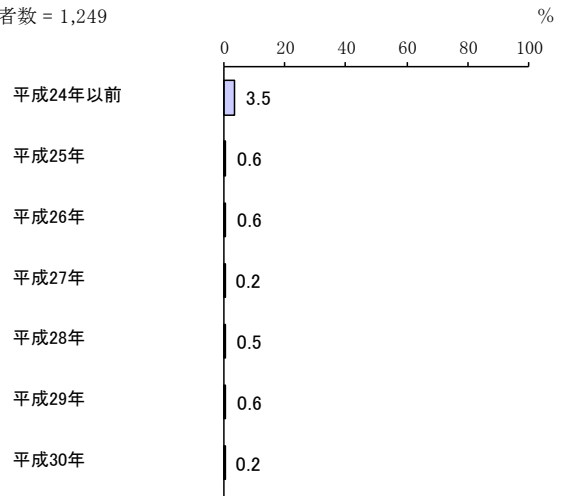


問 24 最後に、加賀市の教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。いつ頃転入されましたか。

転入時期

「平成 24 年以前」の割合が 3.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,249



3 自由意見

[1] 就学前の保護者

アンケート調査票の自由記述欄において、合計 716 件の意見を寄せていただきました。意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。

【分類別の主な意見】

(1) 幼稚園・保育園・認定こども園について

① 園の受入れについて

- ・幼稚園が少ないと感じます。
- ・保育士の先生方の負担がもう少し少なくなるように環境を整えて行ってほしいです。
- ・私立も公立と同じ保育時間で保育してほしいです。
- ・保育園の入所に関しては待機児童が少ないので子育てしやすいです。
- ・2歳未満の子どもが入園できないので対応してほしいです。
- ・延長保育に入る時間帯も長めにしてほしいです。

② 施設整備について

- ・保育園の児童数の偏りも気になります。
- ・園の床とトイレを新しくしてほしいです。
- ・保育園が古過ぎると感じます。

③ 夜間・休日、長期休暇の受け入れ

- ・大型連休等に少しでも預けられる所があるといいなと思います。
- ・保育園も土曜日の午後もみてほしいです。
- ・土曜日にリフレッシュ目的等で保育園にもっと気軽に預けることができるようにしてほしいです。

④ 保育料金について

- ・保育料の免除（4人目）がとても助かっています。
- ・学童料金、給食費、医療費無料は本当に助かっています。
- ・無償化より、職員1人あたりに対する子どもの数を減らしてほしいです。
- ・所得制限なく保育料無償化になるのかなど分からないことが多いです。

⑤ 保育条件について

- ・地域によって保育園を預けれる年齢がバラバラなのはよくないと思います。
- ・こども園の庭園の開放が少なすぎる。
- ・公立保育園はお昼ご飯に白いご飯を持たせないといけないので負担です。

(2) 小学校就学後の生活について

① 小学校について

- ・子どもの通学路心配なのでもう少し街灯も増やしてほしいです。
- ・エアコンや暖房の設備をしてほしいです。
- ・スクールバスの手配をしてほしいです。
- ・小学校統合の話が今後どうなるのかも気になります。
- ・小学校、中学校の給食費が無料になると、さらにありがたいです。

② 児童館・学童クラブについて

- ・学童保育の時間延長と高学年でも利用できるようにしてほしいです。
- ・学童クラブの利用料金が高いなと感じております。
- ・希望している学童が現段階で定員いっぱいではありません。
- ・スポーツ教室や英会話などの習い事をするのが難しいです。

(3) 子育て支援全般について

① 地域子育てセンター、広場について

- ・子育て支援センターの数も少ないです。
- ・ファミサポ制度なども含めて、他市と同じような環境が整っていると思います。
- ・小さい子向けのイベントをもっと増やしてほしいです。
- ・イベントがあったらその際にどの位の子が対象のものか教えてほしいです。
- ・体を動かす機会が少ないので、野外で体の動かし方を教えてもらえる教室などがあればよいです。

② 病児・病後児保育事業について

- ・病児保育などの施設が少ないので充実させてほしいです。
- ・病児保育の定員が少なく預けたい時に預けられない時があります。
- ・病児ケア、休日、夜間もまとめて全部みられるような保育園がほしいです。
- ・病児保育にもお金がかかるので負担が大きいです。

③ その他の子育て支援サービスについて

- ・障害を持つ子どもでも保育園に預けることができる環境を今以上に整えてほしいです。
- ・低所得者に対しての支援をもっと考えてほしいです。
- ・子どもを育てている家庭にとって手厚いサービスが多くあるのでありがたく思っています。
- ・一時預かりはあるが、使用方法等が不透明です。
- ・乳幼児だけでなく小学校や中学校も、もう少し援助してもらえると助かります。

④ 子育て支援に関する情報について

- ・一時預かりのできる保育園やファミサポの情報があまり出回ってないと感じます。
- ・加賀市のホームページの子育てに関する情報をもっと見やすく、たくさん載せてほしいです。
- ・保育園、小学校の統廃合の予定があるようですが、早めの情報開示をお願いします。
- ・イベントや子育てに関する情報をメールなどで配信して頂けたりすると嬉しいです。
- ・支援や補助があるなら分かりやすい書面などで周知してほしいです。

⑤ 子育てに関する相談先について

- ・育成センターなどの相談もよく利用させてもらっていますが職員の方は親身になってくれます。
- ・検診の時の相談をもっと丁寧に子育て経験のある方が相談にのって頂きたいです。
- ・いつも親身に相談を受けてくださる保育園の先生方など感謝しています。
- ・小学校で分からない事、育児で相談したい事など色々あるのでそういった機関があれば利用したいと思いました。

(4) 子育て環境について

① 公園・遊び場について

- ・もう少し近くに大きい公園、遊び場ができるとうれしいです。
- ・にこにこパークのような雨天でも利用できる遊具施設が増えるとうれしいです。
- ・外でもっと子どもが自由に体を動かせる遊び場を増やしてほしいです。
- ・中央公園に遊具が増えてとても嬉しいです。

② 公共施設等について

- ・低料金で移動できる交通手段を考えてほしいです。
- ・中高生が学習できるスペースがないので駅周辺にあると便利です。
- ・公共施設のトイレを洋式化してほしいです。
- ・夜道が暗くて怖いと感じます。
- ・老朽化している施設が多いです。

③ 医療費補助・医療体制について

- ・医療費が18才まで無料なのはありがたいです。
- ・病院が休みの時、加賀市内でも診てくれる病院があるといいです。
- ・予防接種等の補助金が少ないのももう少しあった方がいいと思います。
- ・夜間の小児科医療機関がないため苦慮する場所があるため充実させてほしいです。

④ 母子の保健、地域協力について

- ・もっと地域のイベントとかでどのような活動をしているがアピールした方がいいと感じます。
- ・地域の子育てに対する関心が他市と比べてあると感じました。
- ・健診に時間がかかります。
- ・健診等を午前中にしていただきたいです。

(5) 子育て中の保護者の状況について

- ・就職先を決めるための条件をもっと幅広く考えてほしいです。
- ・子供の行事や病気の時等のために仕事の休みを取りやすい環境が整うと嬉しいです。
- ・母親が子育てと両立して働ける環境がある職場が選択できないと感じます。
- ・オムツのゴミ袋を支給してほしいです。
- ・保育園は仕事のために利用しているが、親や兄弟の通院、行事、リフレッシュなども利用したいです。

[2] 小学生の保護者

アンケート調査票の自由記述欄において、合計 324 件の意見を寄せていただきました。意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

【分類別の主な意見】

(1) 幼稚園・保育園・認定こども園について

- ・ 3人目の保育料などを見直してほしいです。
- ・ 保育園の途中入園が可能だったので助かりました。
- ・ 公立保育園全てにおいて、未満児保育の検討をしてほしいです。
- ・ 幼児期の発達や子育てについての相談、フォローの体制をもっと手厚くした方がよいと思います。
- ・ 質の高い保育、教育内容を維持、向上していただけるのであれば対価は支払ってよいと思います。

(2) 小学校就学後の生活について

①小学校について

- ・ 小学校に早く冷房を設置してほしいです。
- ・ 給食費の免除があり、非常に助かっています。
- ・ 学校の先生も叱る時は叱って、子供に注意してほしいです。
- ・ プログラミング教育を推進しており、よいと思います。
- ・ 通学路の危険場所を見直して、安心して通学できるようにしてほしいです。

②児童館・学童クラブについて

- ・ 学童クラブの利用料が高いです。
- ・ 全校に放課後学童クラブを設置した方がよいです。
- ・ 小学校6年まで学童でお世話になり、大変感謝しています。

(3) 子育て支援全般について

①地域子育てセンター、広場について

- ・ 子どもと参加できるイベントが増えてほしいです。
- ・ 加賀市全体での子どもとの活動やイベントがあるとよいと思います。
- ・ 地域全体で英語検定に向けて取り組める体制になり、とてもありがたいです。

②その他の子育て支援サービスについて

- ・ 発達障害、不登校児への支援を十分行ってほしいです。
- ・ 所得超過により、補助金を受けられないので残念です。
- ・ 子育てしやすい環境づくり（無料児童施設、児童手当など）に力を入れてほしいです。
- ・ 仕事を休めないときに病児、病後児保育室を利用させていただき、大変助かりました。
- ・ 小学校、中学校、高校への入学は経済的負担が大きいいため、助成金があると嬉しいです。

③子育てに関する情報について

- ・ もっと多くの人に、便利な施設や支援の情報を周知した方がよいと思います。
- ・ 加賀市内の相談センターにおいて、子どもの発達について対応してもらえるか心配です。
- ・ 日頃から事業内容を把握しておくことが重要だと思いますが、情報の少なさも気になります。

(4) 子育て環境について

①子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について

- ・ 道路の街灯が暗いので危ないです。
- ・ 気軽に家族で利用出来るスポーツ施設がほしいです。
- ・ 子どもたちのために公園や図書館を充実させてほしいです。
- ・ 北陸は雨や雪が多いので、屋根付きの遊べる場所がほしいです。

②母子の保健について

- ・ 医療費の無料制度はとても助かります。
- ・ 小学生にも予防接種の補助券を出してほしいです。
- ・ 病院（小児科、耳鼻科等）が少ないように感じます。

③地域のつながり、協力等について

- ・ 地域の人たちの、イベントへの参加や登下校の見守りが素晴らしいと思いました。
- ・ 敬老会の方々の挨拶や見回り、分校はとてもありがたいです。

(5) 子育て中の保護者の状況について

- ・ 中学校と高校が自宅から遠く、子どもの送り迎えをしなければならないのが大変です。
- ・ 子どもの安心、安全のためにも、仕事と子育てのバランスがとれる対策が必要だと思います。
- ・ 子育てしたい気持ちはあるが、帰宅時間が遅く、子どもとゆっくり接する余裕がありません。

(6) その他

- ・ 水道料が高くて困ります。
- ・ 中学校の部活動の数が少ないため増やしてほしいです。
- ・ 個々のニーズに対応するような幅広い支援に尽力していただいていると感じます。
- ・ 保育環境や教育について、支援やサービスの向上に努めていただき、ありがとうございます。